

# 履修要項

## 2025



*The Faculty of Health Science Technology*

理学療法学科 作業療法学科 臨床検査学科 看護学科

文京学院大学

# CALENDAR 2025

4

日	月	火	水	木	金	土
.	.	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.

5

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
.	.	.	.	.	.	.

6

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.

7

日	月	火	水	木	金	土
.	.	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	.	.
.	.	.	.	.	.	.

8

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	.	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	.	.	.	.	.	.

9

日	月	火	水	木	金	土
.	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.

10

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	.
.	.	.	.	.	.	.

11

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	.	.	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	.	.	.	.	.	.

12

日	月	火	水	木	金	土
.	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.

1 2026

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
.	.	.	.	.	.	.

2

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.

3

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.

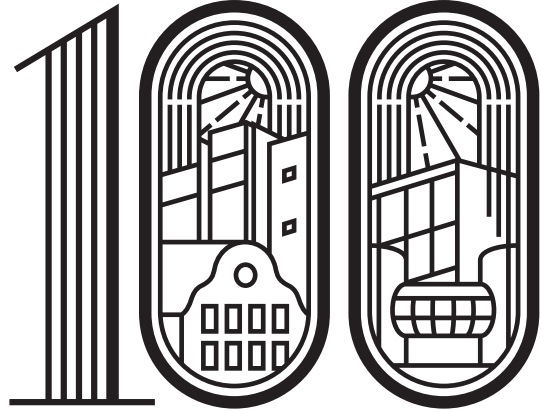
## 国民の祝日

4月29日 昭和の日  
 5月3日 憲法記念日  
 5月4日 みどりの日  
 5月5日 こどもの日  
 5月6日 振替休日  
 7月21日 海の日  
 8月11日 山の日

9月15日 敬老の日  
 9月23日 秋分の日  
 10月13日 スポーツの日  
 11月3日 文化の日  
 11月23日 勤労感謝の日  
 11月24日 振替休日

1月1日 元日  
 1月12日 成人の日  
 2月11日 建国記念日  
 2月23日 天皇誕生日  
 3月20日 春分の日

※祝日法などの改正により、祝日や休日に変更になる場合があります。



ANNIVERSARY



## 保健医療技術学部の特徴

保健医療技術学部 学部長・教授 神 作 一 実

文京学院大学保健医療技術学部は、人間性が豊かでコミュニケーション能力を有し、チーム医療の中で自らの技術や知識を発揮して保健・医療・福祉分野に貢献することができる専門家を育成することを教育目標としています。

皆さんが自らの人間性を高めるために、教員はもとより、教務、学生支援、学習支援、キャリア、総務、GSI（国際交流）、入試広報、保健室などで働く職員がいます。是非、この方々のサポートを受けて多くのことを学んでください。大学で人々と交わり、生涯にわたる友人や恩師と出会うかもしれません。将来への期待と不安を持つ皆さんは、人との出会いをとおして問題を解決し、新しい概念に気づき、自分の思考と行動の枠組みを変えていくことになるでしょう。

保健医療技術学部は理学療法学科、作業療法学科、臨床検査学科、そして看護学科の4学科で一学年300名の学生から成り立っています。理学療法学科と作業療法学科は1～4年次をふじみ野キャンパスで、臨床検査学科と看護学科は1年次をふじみ野キャンパスで、2年次以降を本郷キャンパスで過ごすこととなります。卒業時にそれぞれの免許を取得するための国家試験受験資格が与えられます。とはいえ、国家試験だけを目的とせず、伸び伸びと明るく楽しいキャンパスライフを過ごしてください。

皆さんはいつも誰かに見守られています。どうぞ大いに成長してください。応援します。

## 理学療法学科の教育理念

理学療法学科 学科長・教授 柿 崎 藤 泰

○専門領域の高度な知識と技術を身につけ、医療人として高い「共生」の理念に立ち、人の生活を支えていく資質を練り上げる。

○高い倫理的見地に立ち、理学療法の学問の推進とともに技術的發展を自ら行う人を育成する。そのために、

1. 理学療法の修得のために、十分な関心を持つこと。
2. 他人の気持ちを思いやり、理解するコミュニケーション能力を十分に有すること。
3. 責任感があり誠実であること。
4. 基礎的学力、自己学習意欲があり、卒業後も自己研鑽を積む勤勉さを有すること。
5. 集団の中への協調性や適応性を十分有すること。

以上のことを教育理念に掲げます。

## 作業療法学科の教育理念

作業療法学科 学科長・教授 大 橋 幸 子

多岐にわたる、知識・評価治療技術・対人援助技術を身につけ、医療職業人として対象者に高い倫理観を持って誠実に向き合うことができる人材を育成する。

1. 自らが身につけた知識や技術は、自分が提供するリハビリテーションサービスの質を決定してしまうことを自覚すること。
2. 在学中だけでなく、将来にわたって絶え間ない学習を続けていくこと。
3. 他者に対する思いやりの気持ちをもつとともに、相手を受け入れることができる人間に成長すること。
4. 自己に対して客観的に分析を行い、他者との関係に理解を深める努力をすること。
5. 対象者の多様な生活障害を理解し、誠意を持って対象者へのアプローチに尽力できること。

## 臨床検査学科の教育理念

臨床検査学科 学科長・准教授 眞野 容子

○人が豊かな人生を送る手段として有効な臨床検査を提供することで、自立と共生を実現できる人材を育てることを教育理念とする。具体的能力として以下の7つを掲げる。

1. 臨床検査を受ける人のことを思い浮かべることができる。
2. 勇気をもって勉学に励み、自ら知識と技術を磨いて仕事に責任を持つことができる。
3. 自他ともに生き生きとした実りある生活を送るために、最善を尽くすことができる。
4. 理想を高くかかげて挑戦し続けることができる。
5. 驕らず、焦らず、丁寧に、今あることに集中して取り組むことができる。
6. チーム医療の輪をつくることができる。
7. 求められる国際化に対応することができる。

## 看護学科の教育理念

看護学科 学科長・教授 米澤 純子

○「自立と共生」の理念を深く理解し、以下にあげる能力を有する看護専門職者の育成を教育理念とする。

1. 生命の尊厳や人権について深く理解し、人々の意思決定を支え、擁護する行動をとることができる。
2. 人間への幅広い関心を持ち、健康や環境、生活について深く洞察できる。
3. 高い倫理観に基づいた判断や行動をとることができる。
4. 自己を内省することができ、他者とのコミュニケーションを通して、豊かな人間関係を形成できる。
5. 健康を多側面から調和的総合的に捉え、健康の回復、保持・増進に向け看護専門職者が果たすべき役割を理解できる。
6. 対象にとって適切で効果的なケアを探求し、批判的な思考に基づいた判断ができ、根拠のある看護実践を提供できる。
7. 他の職種の特長を理解し尊重でき、様々な職種の人々や地域の住民と連携・協働できる。
8. チーム医療の中で、看護専門職者が担う役割や機能を果たすことができる。
9. 自らの能力を自己評価や他者評価を通して振り返り、自己研鑽を継続できる。

## 《理学療法学科》

### Diploma Policy（学位授与の方針）

建学の精神である「自立と共生」を理念として、医療人としての倫理観をもち、社会に貢献できる理学療法士の育成を教育目標とします。理学療法学科では、以下の能力を身につけた者に「学士（理学療法学）」の学位を授与します。

1. 共感力をもって他者とのコミュニケーションを図ったうえで、自分の考えを表出できる。
2. 理学療法士として必要とされる基本的な知識・技術を有している。
3. 目標を達成するために他者と協調した行動ができる。
4. 課題を発見し、問題解決に向けた分析ができる。
5. 明確な目標を立て、主体的に学修することができる。

### Curriculum Policy（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーを実現するために、理学療法学科では以下のようなカリキュラムを構成しています。

#### 1) 初年次教育・教養教育

大学での学びの姿勢、学修に必要な基本的スキル、保健・医療の専門職として必要な基礎的知識を修得する。

#### 2) 専門教育

医学および理学療法に関する知識・技術について段階的に学修する。また、より発展的な理学療法の考え方や治療技術にも触れ、創造性を養う。

#### 3) キャリア教育

学内での授業および学外での実習を段階的に行い、理学療法士に必要な基本的実践能力を修得する。また、協働して学修する科目を通して、コミュニケーション能力、能動的な学修能力、問題解決能力を高める。

## 《作業療法学科》

### Diploma Policy（学位授与の方針）

建学の精神である「自立と共生」を理念として、倫理観をもち、多くの人と協調しながら、社会に貢献できる作業療法士を育成することを教育目標とします。作業療法学科では、以下の能力を身につけた者に「学士（作業療法学）」の学位を授与します。

1. 他者を尊重し、共感性をもってコミュニケーションを図ることができる。
2. 職業人としての常識的態度を身につけ、幅広い教養と作業療法士に必要な基本的知識・技能を修得し、責任感をもって行動できる。
3. 目標達成に向けて他者と協力し合い、建設的に行動することを努力できる。
4. 課題を見出し、その解決に向けて分析と実践を模索できる
5. 倫理観を養い、自らの能力を高める努力を惜しまず、新たな課題にチャレンジすることができる。

## Curriculum Policy（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーを実現するために、作業療法学科では以下のようなカリキュラムを構成しています。

### 1) 初年次教育・教養教育

大学で学ぶための基本的な姿勢、科学的思考を高め、作業療法士に必要な基礎的知識および多様な人間社会を理解する倫理感を学修する。

### 2) 専門教育

講義、演習、実習をとおして知識と技術を習得し、作業療法のプロセスを学修する。身体、精神、高齢期、発達期の各領域における作業療法の多様な支援について体系的に学修する。

### 3) キャリア教育

学内でのアクティブラーニングと、学外での見学実習、評価実習、総合臨床実習、地域作業療法実習を段階的に行い、作業療法士として働く将来像を捉え、知識、技術とともにコミュニケーション能力、問題解決能力、協働力、主体性を高める。

## 《臨床検査学科》

### Diploma Policy（学位授与の方針）

建学の精神である「自立と共生」を理念として、広い視野をもち、他者と協調しながら、自らが主体となって社会に貢献できる臨床検査技師を育成することを教育目標とします。以下の能力を身につけた者に「学士（臨床検査学）」の学位を授与します。

1. 人として自立し、倫理観と共感性をもって他者に接し、行動に責任を持つことができる。
2. 職業人としての見識と、臨床検査技師として必要な基本的知識・技術を持ち、能力を発揮できる。
3. 患者や他の専門職と適切にコミュニケーションをとり、チームの一員として能動的に協働できる。
4. 自らの専門分野での課題を見出し、解決に向けて行動できる。
5. 自らの目標をたて、主体的に活動して具体的に課題を達成することができる。

## Curriculum Policy（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーを実現するために、臨床検査学科では以下のようなカリキュラムを構成しています。

### 1) 初年次教育・教養教育

科目と連携したグループ学習をとおして主体的かつ協同して学ぶ習慣を身に付ける。常識・社会の洞察力、他者への共感・倫理観を育み、保健医療職を目指す意識・自信を培うために4年間の目標を持ち、達成できるよう学修する。

### 2) 専門教育

専門領域の系統的で連携した講義と実習をとおして、臨床検査技師に必要とされる知識と技術を一体化して学ぶ。各専門領域について4年間の目標をもち、達成できるように学修する。

### 3) キャリア教育

臨地実習をとおして臨床検査の現場感を、卒業研究をとおして臨床検査の課題を、総合科目をとおして知識・技術のつながりを意識して学修する。コミュニケーション力、協働力、論理的思考力・課題解決能力について4年間の目標を持ち、達成できるよう学修する。



## 《看護学科》

### Diploma Policy（学位授与の方針）

建学の精神である「自立と共生」を理念とし、多くの人と協働しながら社会に貢献できる看護実践力の基礎を身につけた者に「学士（看護学）」の学位を授与します。

1. 人間の尊厳を擁護する上での課題に気づく倫理的感受性を持つことができる。
2. 個人、家族および地域社会の人々に対して、専門的知識と技術を用いて、それぞれの健康レベルと個別性に応じた看護を実践できる。
3. 看護専門職としての役割を理解し、関連分野の人々との連携・協働を考えることができる。
4. 人々の健康課題を見出し、本人が解決できるよう支援することができる。
5. 他者からの評価を謙虚に受け止め、自身の課題を見出し、取り組むことができる。

### Curriculum Policy（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーを実現するために、看護学科では以下のようなカリキュラムを構成しています。

#### 1) 初年次教育・教養教育

豊かな人間性を身につけることを目指し、看護専門職者としての倫理観ならびに基礎的な知識を学修する。

#### 2) 専門教育

人間の尊厳と権利を擁護しながら人々の健康保持・増進から回復、安らかな死を支援できる看護専門職としての能力獲得を目指して、看護学の専門的知識・技術に関して基礎から応用へと段階的に学修する。

#### 3) キャリア教育

初年度から配置されている臨地での実習をとおして、エビデンスに基づいた看護実践を展開できる力と自己研鑽を継続できる姿勢を獲得する。看護の対象が抱える健康問題の解決のために論理的な思考力と様々な人々と協働できる共生力を養う。

## アセスメントポリシー

本学では、ディプロマ、カリキュラム、アドミッションの3つのポリシーに即して、学修成果を評価する方針を以下のように定めています。

	入学前・入学時	在学中	卒業時
機関レベル (大学全体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学試験</li> <li>・調査書の記載内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休学率</li> <li>・退学率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業率</li> <li>・就職率</li> <li>・進学率</li> <li>・学位授与数</li> </ul>
教育課程レベル (学部・学科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学試験</li> <li>・入学時アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学修ポートフォリオ</li> <li>・アセスメントテストあるいはルーブリック評価</li> <li>・G P A</li> <li>・修得単位数</li> <li>・GPS - Academic (1・3年次)</li> <li>・学修状況調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学修ポートフォリオ</li> <li>・G P A</li> <li>・修得単位数</li> <li>・資格・免許取得状況</li> <li>・卒業時アンケート (学修成果を含む)</li> </ul>
科目レベル (個々の授業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価</li> <li>・授業アンケート</li> </ul>	

\*機関レベルでは大学レベルでみた学修成果の達成状況を、教育課程レベルでは学部・学科における学修成果を、科目レベルではシラバスで提示された学修目標に対する科目ごとの学修成果を評価します。

# 2025年度 学年暦 ふじみ野キャンパス

※祝日・土曜日に授業・補講・集中講義を実施することがあります。(☆印…日・祝。ただし、授業を実施する場合があります)

4月 April			
1	(火)	1年	入学式(仁愛ホール)
2	(水)	1年	人間共生論(仁愛ホール)
3	(木)		
4	(金)	1年	新入生特別研修
5	(土)		
6	(日)		☆
7	(月)	OT4年	総合臨床実習I開始(～5/24)
8	(火)		
9	(水)		
10	(木)		
11	(金)	全学年	前期授業開始 前期履修登録開始
12	(土)		
13	(日)		☆
14	(月)		
15	(火)		
16	(水)		
17	(木)		
18	(金)	全学年	前期履修登録終了(16:30)
19	(土)		
20	(日)		☆
21	(月)	全学年	前期履修登録変更期間開始
22	(火)		
23	(水)		
24	(木)	全学年	前期履修登録変更期間終了 (16:30)
25	(金)		
26	(土)		
27	(日)		☆
28	(月)		
29	(火)		☆授業実施(昭和の日)
30	(水)		

5月 May			
1	(木)		
2	(金)		
3	(土)		☆
4	(日)		☆
5	(月)		☆
6	(火)		☆
7	(水)	全学年	履修登録取り消し受付期間開始
8	(木)		
9	(金)		
10	(土)		
11	(日)		☆
12	(月)	PT4年	総合臨床実習開始(～7/18)
13	(火)	全学年	履修登録取り消し受付期間終了 (16:30)
14	(水)		
15	(木)		
16	(金)		
17	(土)		
18	(日)		☆
19	(月)		
20	(火)		
21	(水)		
22	(木)		
23	(金)		
24	(土)		
25	(日)		☆
26	(月)		
27	(火)		
28	(水)		
29	(木)		
30	(金)		
31	(土)		

6月 June			
1	(日)		☆
2	(月)	OT4年	総合臨床実習II開始(～7/19)
3	(火)		
4	(水)		
5	(木)		
6	(金)		
7	(土)		
8	(日)		☆
9	(月)		
10	(火)		
11	(水)		
12	(木)		
13	(金)		
14	(土)		☆月曜振替授業日
15	(日)		☆
16	(月)		
17	(火)		
18	(水)		
19	(木)		
20	(金)		
21	(土)		
22	(日)		☆
23	(月)	PT2年	見学実習(新カリ)開始 (～6/28)
24	(火)		
25	(水)		
26	(木)		
27	(金)		
28	(土)		
29	(日)		☆
30	(月)		

• ふじみ野キャンパス •

7月 July		
1	(火)	
2	(水)	
3	(木)	
4	(金)	
5	(土)	
6	(日)	☆
7	(月)	
8	(火)	
9	(水)	
10	(木)	
11	(金)	
12	(土)	
13	(日)	☆
14	(月)	
15	(火)	
16	(水)	
17	(木)	
18	(金)	
19	(土)	
20	(日)	☆
21	(月)	☆授業実施日(海の日)
22	(火)	
23	(水)	
24	(木)	
25	(金)	
26	(土)	
27	(日)	☆
28	(月)	
29	(火)	1~3年 前期授業終了
30	(水)	1~3年 前期定期試験①
31	(木)	1~3年 前期定期試験②

8月 August		
1	(金)	1~3年 前期定期試験③
2	(土)	
3	(日)	☆
4	(月)	1~3年 前期定期試験④
5	(火)	1~3年 前期定期試験⑤
6	(水)	1~3年 前期定期試験⑥
7	(木)	1~3年 前期定期試験⑦
8	(金)	
9	(土)	一斉休業
10	(日)	☆一斉休業
11	(月)	☆一斉休業
12	(火)	一斉休業
13	(水)	一斉休業
14	(木)	一斉休業
15	(金)	一斉休業
16	(土)	
17	(日)	☆
18	(月)	
19	(火)	
20	(水)	
21	(木)	
22	(金)	1~3年 前期定期試験成績発表 前期追再試験申込①
23	(土)	1~3年 前期追再試験申込②
24	(日)	☆
25	(月)	
26	(火)	OT3年 前期追再試験①
27	(水)	OT3年 前期追再試験②
28	(木)	OT3年 前期追再試験③
29	(金)	OT3年 前期追再試験④
30	(土)	
31	(日)	☆

9月 September		
1	(月)	PT4年 地域理学療法実習開始(～9/5) OT4年 地域作業療法実習開始(～9/6) 1-2-PT3年 前期追再試験①
2	(火)	1-2-PT3年 前期追再試験②
3	(水)	1-2-PT3年 前期追再試験③
4	(木)	OT3年 前期追再試験成績発表 1-2-PT3年 前期追再試験④
5	(金)	1-2-PT3年 前期追再試験⑤
6	(土)	1-2-PT3年 前期追再試験⑥
7	(日)	☆
8	(月)	
9	(火)	
10	(水)	
11	(木)	
12	(金)	1-2-PT3年 前期追再試験成績発表
13	(土)	
14	(日)	☆
15	(月)	OT3年 ☆評価実習開始(～10/11)
16	(火)	全学年 後期授業開始 全学年 後期履修登録開始
17	(水)	
18	(木)	
19	(金)	
20	(土)	
21	(日)	☆
22	(月)	
23	(火)	☆
24	(水)	全学年 後期履修登録終了(16:30)
25	(木)	全学年 後期履修登録変更期間開始
26	(金)	
27	(土)	
28	(日)	☆
29	(月)	
30	(火)	全学年 後期履修登録変更期間終了 (16:30)

• ふじみ野キャンパス •

※土曜日に授業・補講・集中講義を実施することがありますので、時間割・掲示を必ず確認してください。

10月 October	
1	(水)
2	(木)
3	(金)
4	(土)
5	(日) ☆
6	(月)
7	(火)
8	(水) 全学年 履修登録取り消し受付期間開始
9	(木)
10	(金)
11	(土)
12	(日) ☆
13	(月) ☆授業実施日(スポーツの日)
14	(火)
15	(水) 全学年 履修登録取り消し受付期間終了(16:30)
16	(木)
17	(金) あやめ祭準備日(休校)
18	(土) あやめ祭①
19	(日) ☆あやめ祭②
20	(月)
21	(火)
22	(水)
23	(木) ☆創立記念日(休校)
24	(金)
25	(土)
26	(日) ☆
27	(月)
28	(火)
29	(水)
30	(木)
31	(金)

11月 November	
1	(土)
2	(日) ☆
3	(月) ☆
4	(火)
5	(水)
6	(木)
7	(金)
8	(土)
9	(日) ☆
10	(月)
11	(火)
12	(水)
13	(木)
14	(金)
15	(土)
16	(日) ☆
17	(月)
18	(火)
19	(水)
20	(木)
21	(金)
22	(土)
23	(日) ☆
24	(月) ☆
25	(火) PT3年 後期定期試験① OT3年 PT・OT合同科目(定期試験)
26	(水) PT3年 後期定期試験② OT3年 PT・OT合同科目(定期試験)
27	(木) PT3年 後期定期試験③ OT3年 PT・OT合同科目(定期試験)
28	(金)
29	(土)
30	(日) ☆金曜振替授業日

12月 December	
1	(月)
2	(火)
3	(水)
4	(木) PT3年 後期定期試験成績発表/ OT3年 後期追再試験申込① PT・OT合同科目(定期試験)
5	(金) PT3年 後期追再試験申込② OT3年 PT・OT合同科目(定期試験)
6	(土)
7	(日) ☆
8	(月) PT3年 後期追再試験期間① OT3年 PT・OT合同科目(定期試験)
9	(火) PT3年 後期追再試験期間② OT3年 PT・OT合同科目(定期試験)
10	(水) PT3年 後期追再試験期間③ OT3年 PT・OT合同科目(定期試験)
11	(木)
12	(金)
13	(土)
14	(日) ☆
15	(月) PT-OT2-4# 後期定期試験①
16	(火) PT3年 後期追再試験成績発表 PT-OT2-4# 後期定期試験②
17	(水) PT-OT2-4# 後期定期試験③
18	(木) PT-OT2-4# 後期定期試験④
19	(金) PT-OT2-4# 後期定期試験⑤
20	(土)
21	(日) ☆
22	(月)
23	(火)
24	(水)
25	(木)
26	(金)
27	(土)
28	(日) ☆
29	(月)
30	(火)
31	(水)

• ふじみ野キャンパス •

1月 January		
1	(木)	☆
2	(金)	
3	(土)	
4	(日)	☆
5	(月)	
6	(火)	
7	(水)	
8	(木)	全学年 PT-OT2-4年 後期授業再開 後期定期試験成績発表/後期追再試験申込日①
9	(金)	全学年 PT-OT2-4年 後期追再試験申込日②
10	(土)	
11	(日)	☆
12	(月)	☆
13	(火)	PT3年 PT-OT2-4年 評価実習I(旧カリ)開始(～2/14) 後期追再試験期間①
14	(水)	PT-OT2-4年 後期追再試験期間②
15	(木)	PT-OT2-4年 後期追再試験期間③
16	(金)	大学入学共通テスト準備(休校)
17	(土)	大学入学共通テスト①
18	(日)	☆大学入学共通テスト②
19	(月)	全学年 OT2年 PT2-4年 後期授業終了日 見学・評価体験実習開始(～2/14) 後期追再試験期間④
20	(火)	1・OT3年 PT2-4年 後期定期試験期間① 後期追再試験期間⑤
21	(水)	1・OT3年 後期定期試験期間②
22	(木)	1・OT3年 後期定期試験期間③
23	(金)	1・OT3年 後期定期試験期間④
24	(土)	大学入学共通テスト① (予備日)
25	(日)	☆大学入学共通テスト② (予備日)
26	(月)	PT2年 1・OT3年 評価実習I(新カリ)開始(～2/14) 後期定期試験期間⑤
27	(火)	1・OT3年 後期定期試験期間⑥
28	(水)	1・OT3年 後期定期試験期間⑦
29	(木)	
30	(金)	
31	(土)	

2月 February		
1	(日)	☆
2	(月)	
3	(火)	
4	(水)	
5	(木)	PT・OT4年 後期追再試験成績発表
6	(金)	
7	(土)	
8	(日)	☆
9	(月)	
10	(火)	
11	(水)	☆
12	(木)	1・OT3年 後期定期試験成績発表/ 後期追再試験申込①
13	(金)	1・OT3年 後期追再試験申込②
14	(土)	
15	(日)	☆
16	(月)	1・OT3年 後期追再試験期間①
17	(火)	1・OT3年 後期追再試験期間②
18	(水)	1・OT3年 後期追再試験期間③
19	(木)	1・OT3年 後期追再試験期間④
20	(金)	1・OT3年 後期追再試験期間⑤
21	(土)	
22	(日)	☆
23	(月)	☆
24	(火)	1・OT3年 後期追再試験期間⑥
25	(水)	1・OT3年 後期追再試験期間⑦
26	(木)	
27	(金)	
28	(土)	

3月 March		
1	(日)	☆
2	(月)	
3	(火)	
4	(水)	
5	(木)	
6	(金)	
7	(土)	1・2・OT3年 後期追・再試験成績発表
8	(日)	☆
9	(月)	
10	(火)	
11	(水)	
12	(木)	
13	(金)	
14	(土)	
15	(日)	☆
16	(月)	
17	(火)	
18	(水)	
19	(木)	
20	(金)	☆
21	(土)	
22	(日)	☆
23	(月)	
24	(火)	
25	(水)	
26	(木)	
27	(金)	
28	(土)	
29	(日)	☆
30	(月)	
31	(火)	

# 2025年度 学年暦 本郷キャンパス

※祝日・土曜日に授業・補講・集中講義を実施することがあります。(☆印…日・祝。ただし、授業を実施する場合があります)

4月 April			
1	(火)	1年	入学式
2	(水)	1年	人間共生論
3	(木)		
4	(金)		
5	(土)		
6	(日)		☆
7	(月)		
8	(火)		
9	(水)		
10	(木)		
11	(金)	全学年 全学年 研究生	前期授業開始 前期履修登録開始 研究生締切
12	(土)		
13	(日)		☆
14	(月)		
15	(火)		
16	(水)		
17	(木)		
18	(金)	全学年	前期履修登録終了(16:30)
19	(土)		
20	(日)		☆
21	(月)	全学年	前期履修登録変更期間開始
22	(火)		
23	(水)		
24	(木)	全学年	前期履修登録変更期間終了(16:30)
25	(金)		
26	(土)		
27	(日)		☆
28	(月)		
29	(火)	全学年	☆通常授業実施(昭和の日)
30	(水)		

5月 May			
1	(木)		
2	(金)		
3	(土)		☆
4	(日)		☆
5	(月)		☆
6	(火)		☆
7	(水)	全学年	前期履修登録取消期間開始
8	(木)		
9	(金)		
10	(土)		
11	(日)		☆
12	(月)		
13	(火)	全学年	前期履修登録取消期間終了(16:30)
14	(水)		
15	(木)		
16	(金)		
17	(土)		
18	(日)		☆
19	(月)		
20	(火)		
21	(水)		
22	(木)		
23	(金)		
24	(土)		
25	(日)		☆
26	(月)		
27	(火)		
28	(水)		
29	(木)		
30	(金)		
31	(土)		

6月 June			
1	(日)		☆
2	(月)		
3	(火)		
4	(水)		
5	(木)		
6	(金)		
7	(土)		
8	(日)		☆
9	(月)		
10	(火)		
11	(水)		
12	(木)		
13	(金)		
14	(土)	全学年	月曜振替授業日
15	(日)		☆
16	(月)		
17	(火)		
18	(水)		
19	(木)		
20	(金)		
21	(土)		
22	(日)		☆
23	(月)		
24	(火)		
25	(水)		
26	(木)		
27	(金)		
28	(土)		
29	(日)		☆
30	(月)		

● 本郷キャンパス ●

7月 July		
1	(火)	
2	(水)	
3	(木)	
4	(金)	
5	(土)	
6	(日)	☆
7	(月)	
8	(火)	
9	(水)	
10	(木)	
11	(金)	NS2年 前期授業最終日
12	(土)	
13	(日)	☆
14	(月)	NS2年 前期定期試験①
15	(火)	NS2年 前期定期試験②
16	(水)	NS2年 前期定期試験③
17	(木)	NS2年 前期定期試験④
18	(金)	NS2年 前期定期試験⑤
19	(土)	NS2年 前期定期試験⑥
20	(日)	☆
21	(月)	☆
22	(火)	
23	(水)	
24	(木)	
25	(金)	全学年 補講日・集中授業日
26	(土)	
27	(日)	☆
28	(月)	
29	(火)	CM2-3-4年 NS3-4年 前期授業最終日
30	(水)	CM2-3-4年 NS3-4年 前期定期試験①
31	(木)	CM2-3-4年 NS3-4年 前期定期試験②

8月 August		
1	(金)	CM2-3-4年 NS3-4年 前期定期試験③
2	(土)	CM3年 前期定期試験④
3	(日)	☆
4	(月)	CM2-4年 NS3-4年 CM3年 前期定期試験④ 前期定期試験⑤
5	(火)	CM2-4年 NS3-4年 CM3年 前期定期試験⑤ 前期定期試験⑥
6	(水)	CM2-4年 NS3-4年 前期定期試験⑥
7	(木)	CM2年 NS3-4年 CM4年 前期定期試験⑦ 卒業研究発表会
8	(金)	CM4年 卒業研究発表会
9	(土)	一斉休業
10	(日)	☆一斉休業
11	(月)	☆一斉休業
12	(火)	一斉休業
13	(水)	一斉休業
14	(木)	一斉休業
15	(金)	一斉休業
16	(土)	
17	(日)	☆
18	(月)	
19	(火)	
20	(水)	CM2-3-4年 NS2-3-4年 前期定期試験成績発表 前期追再試験申込①
21	(木)	CM2-3-4年 NS2-3-4年 前期追再試験申込②
22	(金)	CM3年 前期追再試験①
23	(土)	
24	(日)	☆
25	(月)	CM3年 前期追再試験②
26	(火)	CM3年 前期追再試験③
27	(水)	CM3年 前期追再試験④
28	(木)	CM3年 前期追再試験⑤
29	(金)	CM3年 前期追再試験⑥
30	(土)	
31	(日)	☆

9月 September		
1	(月)	CM2-4年 NS2-3-4年 前期追再試験①
2	(火)	CM2-4年 CM3年 NS2-3-4年 前期追再試験② 前期追再試験成績発表 前期追再試験②
3	(水)	CM2-4年 NS2-3-4年 前期追再試験③
4	(木)	CM2-4年 NS2-3-4年 前期追再試験④
5	(金)	CM2-4年 NS2-3-4年 前期追再試験⑤
6	(土)	CM2-4年 NS2-3-4年 前期追再試験⑥
7	(日)	☆
8	(月)	
9	(火)	
10	(水)	
11	(木)	
12	(金)	CM2-4年 NS2-3-4年 前期追再試験成績発表
13	(土)	
14	(日)	☆
15	(月)	☆
16	(火)	全学年 後期授業開始 後期履修登録開始
17	(水)	
18	(木)	
19	(金)	
20	(土)	
21	(日)	☆
22	(月)	
23	(火)	☆
24	(水)	全学年 4年 後期履修登録終了(16:30) チーム医療論Ⅰ・多職種連携論(集中講義)
25	(木)	全学年 後期履修登録変更期間開始
26	(金)	
27	(土)	
28	(日)	☆
29	(月)	
30	(火)	全学年 後期履修登録変更期間終了(16:30)



● 本郷キャンパス ●

※土曜日に授業・補講・集中講義を実施することがありますので、時間割・掲示を必ず確認してください。

10月 October		
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	☆
6	月	
7	火	
8	水	全学年 後期履修登録取消期間開始
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	☆
13	月	全学年 ☆通常授業実施 (スポーツの日)
14	火	
15	水	全学年 後期履修登録取消期間終了 (16:30)
16	木	
17	金	全学年 学園祭準備日(休講)
18	土	全学年 学園祭①
19	日	全学年 ☆学園祭②
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	全学年 ☆創立記念日
24	金	
25	土	
26	日	☆
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

11月 November		
1	土	
2	日	☆
3	月	全学年 ☆通常授業実施 (文化の日)
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	☆
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	☆
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	☆
24	月	全学年 ☆通常授業実施 (振替休日)
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	金曜振替授業日
30	日	☆

12月 December		
1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	☆
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	4年 後期授業最終日
13	土	
14	日	☆
15	月	4年 後期定期試験①
16	火	4年 後期定期試験②
17	水	4年 後期定期試験③
18	木	4年 後期定期試験④
19	金	
20	土	
21	日	☆
22	月	
23	火	2・3年 年内授業最終日
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	☆一斉休業
29	月	一斉休業
30	火	一斉休業
31	水	一斉休業

• 本郷キャンパス •

1月 January		
1	(木)	☆一斉休業
2	(金)	一斉休業
3	(土)	一斉休業
4	(日)	☆一斉休業
5	(月)	
6	(火)	
7	(水)	
8	(木)	2・3年 後期授業再開
9	(金)	
10	(土)	
11	(日)	☆
12	(月)	☆
13	(火)	
14	(水)	4年 後期定期試験成績発表 後期追再試験申込①
15	(木)	4年 後期追再試験申込②
16	(金)	大学入学共通テスト準備(休校)
17	(土)	大学入学共通テスト①
18	(日)	☆大学入学共通テスト②
19	(月)	2・3年 4年 後期授業最終日 後期追再試験①
20	(火)	2年 4年 後期定期試験① 後期追再試験②
21	(水)	2年 4年 後期定期試験② 後期追再試験③
22	(木)	2年 4年 後期定期試験③ 後期追再試験④
23	(金)	2年 後期定期試験④
24	(土)	大学入学共通テスト①(予備日)
25	(日)	☆大学入学共通テスト②(予備日)
26	(月)	2年 後期定期試験⑤
27	(火)	
28	(水)	2年 後期追再試験⑥
29	(木)	2年 後期追再試験⑦
30	(金)	
31	(土)	

2月 February		
1	(日)	☆
2	(月)	
3	(火)	
4	(水)	CM3年 後期定期試験①
5	(木)	CM3年 4年 後期定期試験② 後期追再試験成績発表
6	(金)	CM3年 後期定期試験③
7	(土)	
8	(日)	☆
9	(月)	
10	(火)	
11	(水)	☆
12	(木)	2年・ CM3年 後期定期試験成績発表 後期追・再試験申込①
13	(金)	2年・ CM3年 後期追・再試験申込②
14	(土)	
15	(日)	☆
16	(月)	2年・ CM3年 後期追再試験①
17	(火)	2年・ CM3年 後期追再試験②
18	(水)	2年・ CM3年 後期追再試験③
19	(木)	2年 後期追再試験④
20	(金)	2年 後期追再試験⑤
21	(土)	
22	(日)	☆
23	(月)	☆
24	(火)	2年 後期追再試験⑥
25	(水)	2年 後期追再試験⑦
26	(木)	
27	(金)	
28	(土)	

3月 March		
1	(日)	☆
2	(月)	
3	(火)	
4	(水)	
5	(木)	
6	(金)	
7	(土)	2・3年 後期追再試験成績発表
8	(日)	☆
9	(月)	
10	(火)	
11	(水)	
12	(木)	
13	(金)	
14	(土)	卒業式(学位記授与式・ ふじみ野キャンパス)
15	(日)	☆
16	(月)	
17	(火)	
18	(水)	
19	(木)	
20	(金)	☆
21	(土)	
22	(日)	☆
23	(月)	
24	(火)	
25	(水)	
26	(木)	
27	(金)	
28	(土)	
29	(日)	☆
30	(月)	
31	(火)	

# 2025年度 曜日別授業回数

前期：4月11日～7月29日 後期：9月16日～1月19日

月	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
		1	2	3	4	5 新入生研修①	6 新入生研修②
	7	8	9	10	11 ①	12	13
4	14 ①	15 ①	16 ①	17 ①	18 ②	19	20
	21 ②	22 ②	23 ②	24 ②	25 ③	26	27
	28 ③	29 ③☆	30 ③	1 ③	2 ④	3	4
	5	6	7 ④	8 ④	9 ⑤	10	11
5	12 ④	13 ④	14 ⑤	15 ⑤	16 ⑥	17	18
	19 ⑤	20 ⑤	21 ⑥	22 ⑥	23 ⑦	24	25
	26 ⑥	27 ⑥	28 ⑦	29 ⑦	30 ⑧	31	1
	2 ⑦	3 ⑦	4 ⑧	5 ⑧	6 ⑨	7	8
6	9 ⑧	10 ⑧	11 ⑨	12 ⑨	13 ⑩	14 ⑨月曜振替授業日	15
	16 ⑩	17 ⑨	18 ⑩	19 ⑩	20 ⑪	21	22
	23 ⑪	24 ⑩	25 ⑪	26 ⑪	27 ⑫	28	29
	30 ⑫	1 ⑪	2 ⑫	3 ⑫	4 ⑬	5	6
7	7 ⑬	8 ⑫	9 ⑬	10 ⑬	11 ⑭	12	13
	14 ⑭	15 ⑬	16 ⑭	17 ⑭	18 ⑮	19	20
	21	22 ⑭	23 ⑮	24 ⑮	25	26	27
	28 ⑮	29 ⑮	30	31	1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
8	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
	1	2	3	4	5	6	7
9	8	9	10	11	12	13	14
	15	16 ①	17 ①	18 ①	19 ①	20	21
	22 ①	23	24 ②	25 ②	26 ②	27	28
	29 ②	30 ②	1 ③	2 ③	3 ③	4	5
	6 ③	7 ③	8 ④	9 ④	10 ④	11	12
10	13 ④☆	14 ④	15 ⑤	16 ⑤	17	18	19
	20 ⑤	21 ⑤	22 ⑥	23	24 ⑤	25	26
	27 ⑥	28 ⑥	29 ⑦	30 ⑥	31 ⑥	1	2
	3 ⑦☆	4 ⑦	5 ⑧	6 ⑦	7 ⑦	8	9
11	10 ⑧	11 ⑧	12 ⑨	13 ⑧	14 ⑧	15	16
	17 ⑨	18 ⑨	19 ⑩	20 ⑨	21 ⑨	22	23
	24 ⑩☆	25 ⑩	26 ⑪	27 ⑩	28 ⑩	29 ⑩月曜振替授業日	30
	1 ⑪	2 ⑪	3 ⑫	4 ⑪	5 ⑫	6	7
12	8 ⑫	9 ⑫	10 ⑬	11 ⑫	12 ⑬	13	14
	15 ⑬	16 ⑬	17 ⑭	18 ⑬	19 ⑭	20	21
	22 ⑭	23 ⑭	24	25	26	27	28
	29	30	31	1	2	3	4
	5	6	7	8 ⑭	9 ⑮	10	11
1	12	13 ⑮	14 ⑮	15 ⑮	16	17	18
	19 ⑮	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	1
	2	3	4	5	6	7	8
2	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	1
	2	3	4	5	6	7	8
3	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

☆祝日ですが、授業を実施します。

# 目 次

	頁
I - i 履修の基本事項	1
- ii 履修手続き	5
- iii 単位認定について	10
- iv 履修上の注意	21
- v 学籍に関すること	30
II - i ストレス耐性科目	35
- ii 大学特別科目	36
- iii 副専攻制度	37
- iv キャリア教育科目	39
III 放送大学 科目の履修案内	41
IV 理学療法学科	45
「理学療法士国家試験受験資格」について	45
カリキュラムマップ	47
ナンバリング	48
カリキュラム	51
国家試験受験資格の授業科目履修方法	63
卒業研究要綱	75
V 作業療法学科	77
「作業療法士国家試験受験資格」について	77
カリキュラムマップ	79
ナンバリング	80
カリキュラム	83
国家試験受験資格の授業科目履修方法	95
卒業研究要綱	107
VI 臨床検査学科	109
「臨床検査技師国家試験受験資格」について	109
取得可能な認定資格について	111
カリキュラムマップ	113
ナンバリング	114
カリキュラム	117
国家試験受験資格の授業科目履修方法	123
臨地実習について	129
卒業研究要綱	131

VII	看護学科	133
	「看護師国家試験受験資格」ならびに「保健師国家試験受験資格」について	133
	カリキュラムマップ	135
	ナンバリング	136
	カリキュラム	141
	国家試験受験資格の授業科目履修方法	147
	統合実習要綱	165
VIII- i	証明書の発行	167
- ii	実習準備室の使用	168
- iii	授業以外での施設見学・訪問	169
- iv	卒業研究等用コピー機および印刷機の利用	171
IX- i	履修規程	173
- ii	臨床実習・臨地実習履修規程	179



# I 履修の基本事項

---

履修の基本事項

履修手続き

単位認定について

履修上の注意

学籍に関すること





# I - i 履修の基本事項

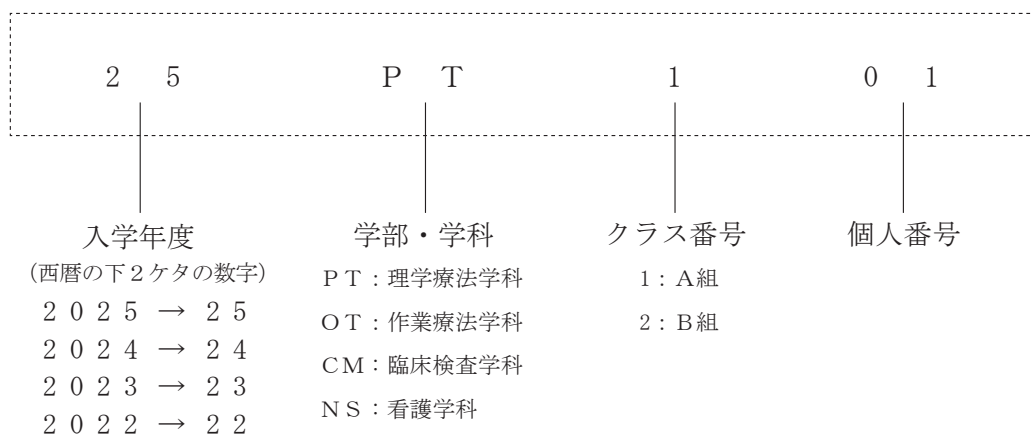
## 1. 学修にあたって

### 1) 学籍番号

学籍番号は履修登録、試験および各種証明書の申請など、在学中のすべての手続きに使用します。学生1人ひとりの固有の番号であり、この番号は卒業後も変わりません。

学籍番号はアルファベットと数字の組み合わせ（7桁）であらわしています。

(例) 25PT101



※ 2021年度以前の入学者についても同様の取り扱いとなります。

### 2) 教務グループの事務取扱い時間

学修に関する各種提出書類や申込書類は、教務グループの窓口で取扱います。

#### ふじみ野キャンパス

平日 9:00～18:10 (17:00～18:10は原則として授業開講がある日のみ)

土曜日 9:00～13:00 (原則として授業開講がある日のみ)

※長期休業中の取扱いについては、その都度連絡いたします。

#### 本郷キャンパス

平日 8:45～18:10 (17:00～18:10は原則として授業開講がある日のみ)

土曜日 8:45～13:00 (原則として授業開講がある日のみ)

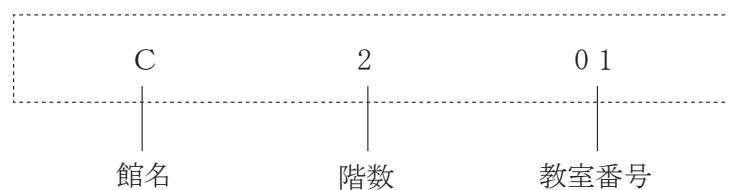
※長期休業中の取扱いについては、その都度連絡いたします。

### 3) 時間割と教室番号

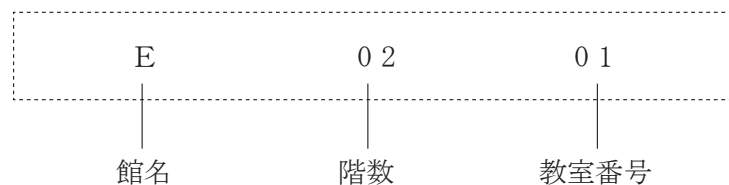
授業時間割は、履修ガイダンス時にその他の資料と一緒に配布します。時間割の変更、修正については、すべて所定の方法（Teams、B's LINK 等）にて周知しますので見落としのないように注意してください。

教室番号は、アルファベットと数字で表記されています。自分の受ける授業がどの教室であるのかを確認しておいてください。教室の配置については、『電子版 キャンパスガイド』を参照してください。

(例1) C201 教室 … C館(ふじみ野) 2階 01 番教室



(例2) E0201 教室 … 東本館(本郷) 2階 01 番教室



## 2. 授 業

保健医療技術学部の授業の多くは、前期・後期の2期に分けて実施します。科目には、前期または後期（ともに15週）のみで終了する半期科目と、前・後期（通算30週）にわたる通年科目があります。

授業は90分をもって1コマとし、次のように1日6時限に区切られています。

ふじみ野キャンパス・本郷キャンパス

時 限	授 業 時 間
1	9 : 10 ~ 10 : 40 (90分)
2	10 : 50 ~ 12 : 20 (90分)
昼 休 み	
3	13 : 10 ~ 14 : 40 (90分)
4	14 : 50 ~ 16 : 20 (90分)
5	16 : 30 ~ 18 : 00 (90分)
6	18 : 10 ~ 19 : 40 (90分)

### 3. 単位とは

大学における授業は、単位制によって行われ、それぞれの学部学科などにより、必要な科目や単位数が決められています。その単位の修得は、授業科目を履修し、試験等に合格することにより認定されます。そして、修得した単位が卒業要件単位数を満たすことにより卒業できることとなります。

#### 1) 単位制

本学における授業科目の履修については、「大学設置基準」に定められた単位制に基づいて行われます。単位制とは授業科目ごとに一定の基準で定められている単位を修得する制度です。

単位とは、学修時間を表す名称であって、個々の科目について所定の時間を履修し、試験その他の方法により合格と判定されたとき初めて修得できます。この単位の集積をもって卒業に必要な単位数を満たしていくこととなります。単位を修得するためには、所定の時間の授業を受けなければなりません。講義科目の場合は授業時数の3分の1、演習・実習・実験科目の場合は5分の1を超えて欠席すると失格（成績評定を受ける資格を失う）となり単位を修得できません。万が一試験を受けても「失格」となります。

#### 2) 単位数

「大学設置基準」では1単位の授業科目を45時間の学修時間を必要とする内容をもって構成することを標準としています。そして、その授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して定められています。本学における単位計算は以下の表を原則基準としています。

授業科目	単位	標準学修時間
講義科目	1	15時間～30時間
演習科目	1	15時間～30時間
実験・実習科目	1	30時間～45時間

本学では、通常1回の授業時間は1コマ（90分）で行われますが、これを2時間とみなして計算しています。また、通常1学期間に15週（15回）の授業を行うことになっています。

したがって、教室内の授業を受けただけでは定められた標準学修時間を満たすことができません。ゆえに、自主的な勉学でさらに授業の理解を深めることが必要になってきます。

## 4. 卒業単位数

保健医療技術学部を卒業する場合、修得単位数合計が平成30年度以降の入学者は、理学療法学科・作業療法学科は125単位以上、臨床検査学科・看護学科は126単位以上であることが必要となります。令和4年度の臨床検査学科入学者は128単位以上であることが必要となります。令和5年度以降の入学者は、理学療法学科・作業療法学科は127単位以上、臨床検査学科・看護学科は128単位以上が必要となります。令和6年度以降の入学者は、理学療法学科は125単位以上、作業療法学科は127単位以上、臨床検査学科・看護学科は128単位以上が必要となります。したがって卒業するためには、学科ごとに定められた必修科目に加えて、選択科目を履修し、最低限学科ごとに定められた卒業単位数を確実に修得する必要があります。

## 5. 国家試験受験資格取得に必要な単位数

前項の卒業単位数を満たした上で、それぞれの資格に定められた所定の科目を履修し、単位を修得して指定された手続きを完了すると、国家試験受験資格を取得することができます。学科により取得可能な資格が違います。

履修の仕方を間違えると、希望した資格が取得できないケースが生じます。積極的にガイダンスに参加し、履修に関する疑問点を残さないように相談し、間違いのないよう心掛けてください。

## 6. 教員からの連絡事項・教員との相談

### 1) 授業や課題に関する相談

授業担当教員は、本学を本務とする専任教員と、本学を本務とせず担当授業時に来校し授業を行う非常勤講師がいます。それぞれ連絡を取る方法が異なります。

\*専任教員：質問・相談を受けるオフィスアワーという時間を設けています。各専任教員のオフィスアワーは、各専任教員の研究室前に記載されています。各自で確認して研究室を訪問してください。

\*非常勤講師：担当授業前後に教室や講師控室前にて質問を受け付けています。

本郷キャンパス講師控室：C館3階

ふじみ野キャンパス講師控室：C館2階

### 2) その他大学生活に関する相談

本学では、学生の学修面、生活面において、専任教員が、指導・助言を行う「クラスアドバイザー制度」を設けております。クラスアドバイザーは担当学生の履修登録と成績を把握し、指導や助言を行うとともに、必要に応じて他の教員や事務局などと連携を取り、学生が有意義で充実した学生生活を送ることができるように、相談役を担います。クラスアドバイザーなど専任教員との連絡には、オフィスアワーやMicrosoft Teamsを活用してください。

# I - ii 履修手続き

卒業までに必要な単位の修得については、シラバス（講義要綱）・授業時間割等をもとに履修計画を立てておく必要があります。これをもとに、各年次の所定の期間に履修登録の手続きを行わなければなりません。

履修登録とは、自分がこれから学修する事項について大学に対して契約することを意味します。履修登録によって、はじめて学生と大学（教員）との間に『学修↔単位認定』という契約が成立し、その科目を履修することができます。このように履修登録は、もっとも大切な手続きです。

## 1. 履修登録手続き

保健医療技術学部の授業の多くは、原則として前期・後期の2期に分けて実施します。

そのため、履修登録は各年度の前期開始時に前期科目を、後期開始時に後期科目のみを申告登録します。履修登録を怠ると、たとえその科目を受講しても履修とは認められず、当然ながら単位は認定されません。

原則としていったん申告登録した履修科目の変更は認められませんので、十分に計画を立てた上で登録してください。

## 2. 本学部のカリキュラムと単位要件

保健医療技術学部のカリキュラムは、それぞれの学科別カリキュラム内で、卒業までに履修規程に従い、平成30年度以降の入学者は、理学療法学科・作業療法学科は125単位以上、臨床検査学科・看護学科は126単位以上、令和4年度の入学者は、理学療法学科・作業療法学科は125単位以上、看護学科は126単位以上、臨床検査学科は128単位以上、令和5年度以降の入学者は、理学療法学科・作業療法学科は127単位以上、臨床検査学科・看護学科は128単位以上を修得します。令和6年度以降の入学者は、理学療法学科は125単位以上、作業療法学科は127単位以上、臨床検査学科・看護学科は128単位以上を修得します。しかし、本学では学生の学修意欲や興味・関心に応えるために、他学科・他学部・他大学のカリキュラムの中から、学則の定めに従い所定の手続きを経て、4年間で30単位まで修得することができます。（但し、原則として他学科・他学部の演習・実験・実習・実技科目は履修できません。）

なお、所属している学科と同じ科目が他学科にある場合は、所属学科に開設された科目が優先され、他学科の科目は履修できません。

各学科の学生は、自らの選択によりどのような科目をいつ取るのかを考え、自らが取るべき科目を過不足なく履修しなければなりません。

### 2024 (令和6) 年度以降の入学者

	理学療法学科		作業療法学科		臨床検査学科		看護学科	
卒業要件単位	125 単位以上		127 単位以上		128 単位以上		128 単位以上	
	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
	115 単位	10 単位以上	122 単位	5 単位以上	125 単位	3 単位以上	123 単位	5 単位以上

### 2023 (令和5) 年度以降の入学者

	理学療法学科		作業療法学科		臨床検査学科		看護学科	
卒業要件単位	127 単位以上		127 単位以上		128 単位以上		128 単位以上	
	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
	120 単位	7 単位以上	121 単位	6 単位以上	125 単位	3 単位以上	123 単位	5 単位以上

### 2022 (令和4) 年度の入学者

	理学療法学科		作業療法学科		臨床検査学科		看護学科	
卒業要件単位	125 単位以上		125 単位以上		128 単位以上		126 単位以上	
	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
	118 単位	7 単位以上	119 単位	6 単位以上	125 単位	3 単位以上	121 単位	5 単位以上

### 2020 (令和2) 年度以降の入学者

	理学療法学科		作業療法学科		臨床検査学科		看護学科	
卒業要件単位	125 単位以上		125 単位以上		126 単位以上		126 単位以上	
	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
	118 単位	7 単位以上	119 単位	6 単位以上	125 単位	1 単位以上	122 単位	4 単位以上

### 2018 (平成30) ~2019 (令和元) 年度の入学者

	理学療法学科		作業療法学科		臨床検査学科		看護学科	
卒業要件単位	125 単位以上		125 単位以上		126 単位以上		126 単位以上	
	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
	118 単位	7 単位以上	115 単位	10 単位以上	125 単位	1 単位以上	122 単位	4 単位以上

※作業療法学科は、国家試験受験資格につき専門分野「基礎作業療法学」から選択科目を2単位以上修得すること。

## 3. 履修登録上の注意事項

その年度に履修する授業科目については、必修科目・選択科目を問わず、履修申告登録を行わなければなりません。とくに、必修科目や国家試験受験資格取得に必要な授業科目が履修申告登録から漏れていないように注意してください。

- 1) 卒業のために必要な単位数は、必修科目をすべて履修することはもちろん、1単位でも不足すると卒業資格が与えられません。
- 2) 国家試験受験資格に必要な科目や単位数に関する規程は厳格に適用されますので、1科目、1単位の不足があっても資格は取得できません。
- 3) 履修登録をしていない授業科目は受講できません。たとえ受講し、試験を受けても単位は認定されません。
- 4) 履修できる授業科目は、原則として自分の所属学年および下の学年の配当科目です。
- 5) 履修科目の選択は4年間の履修計画にしたがって、各年次の履修を決定してください。  
1年間での履修状況は翌年度以降の履修に大きな影響を及ぼしますので、慎重に決定するように心がけてください。
- 6) 一度単位を修得した科目は、再び履修することはできません。
- 7) 履修登録の追加・取消を完了（確定）した後での変更は、原則として認められません。
- 8) 履修登録変更期間を過ぎての履修申告は一切受理できません。最悪の場合はその年度について、1単位も修得することができなくなる場合がありますので十分に注意してください。  
※自学科（承認印不要）と他学部他学科（承認印必要）まで対象。聴講は対象外となります。
- 9) 選択科目において、追加履修登録期間終了時点で履修者数が5名以下となった場合は、閉講となります。

## 4. 履修登録の手順

原則としてPC教室や自宅のコンピュータを用いて履修登録を行います。履修登録の操作方法については、ガイダンスの際に説明いたします。

履修登録の手順	手 順 概 要
履修ガイダンス ↓ 履修計画を立てる ↓	
授業開始 ↓	履修計画に沿って授業に出席してください。 履修登録の方法はガイダンスの際に説明いたします。
履修科目の決定 ↓ 履修登録(PC入力) ↓	履修登録締切日までにPC教室や自宅のコンピュータにて登録してください。 ①履修登録の内容は各自で控えを作っておいてください。 ②履修登録は、必ず本人が行ってください。代理人による登録は、認めません。病気や怪我などによるやむを得ない事情によって定められた期日に登録できない場合は、あらかじめ保健医療技術学部教務グループに相談して指示を受けてください。 ③不合格になった授業科目を翌年度以降に再履修する場合は、その年度に改めて履修登録をしなければなりません。 ④その他、手続きに関して不明な点や疑問点が生じた場合は、履修登録する前にクラスアドバイザーまたは保健医療技術学部教務グループで相談してください。
履修登録変更期間 ↓ 他学科・他学部履修願の提出 ↓	追加履修登録がある場合には、期間内に追加登録してください。 「他学科・他学部履修願」は担当教員の許可が必要です。必ずしも許可されるわけではありません。用紙を保健医療技術学部教務グループで受取り、担当教員の承認印をいただいて追加履修登録期間最終日までに保健医療技術学部教務グループに提出してください。
履修登録取り消し受付期間 ↓	履修登録をした選択科目について取消期間を設けています。希望者は期間内に保健医療技術学部教務グループへ申請してください。 ↓ 保健医療技術学部教務グループにて変更作業後、 <u>履修登録完了(確定)</u>
時間割の確認 (出席科目の自己管理)	履修科目確定後の修正はできません。

## 5. キャップ制について

キャップ制とは、1年間で履修できる単位数に上限を設ける制度です。保健医療技術学部の上限単位数は、登録ベース(取得単位ではありません)で49単位を上限として認められています。この単位を超えて履修登録することはできません。ただし、基礎分野の選択科目、G C I科目はキャップ制の対象外となります。

## 1) 対象外科目

キャップ制の対象外となる科目があります。対象外になる科目は以下の通りです。

学部	キャップ制 対象外科目	
	全学部共通	学部独自
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新・文明の旅関連科目</li> <li>・GCI 科目</li> <li>・海外留学科目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「初年次セミナー a・b」「英語資格講座 I・II」</li> <li>・単位互換協定に基づき単位取得した科目</li> <li>・インターンシップにより取得した科目</li> <li>・教職課程の教職に関する科目</li> <li>・通常授業とは別に集中講義形式で開講される科目</li> <li>・その他、教務委員会が認めた科目</li> </ul>
経営		<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得により単位認定された科目</li> <li>・通常授業とは別に集中授業形式で開講される科目</li> <li>・専門科目区分の「実習・演習」で「実習」に関する科目</li> <li>・その他教務委員会が認めた科目</li> </ul>
人間		<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外短期フィールドワーク I・II</li> <li>・短期フィールドプロジェクト I・II</li> <li>・社会貢献実習（学校インターンシップ）</li> <li>・その他教務委員会が認めた科目</li> <li>・実習関連科目（下記参照）</li> </ul> <p><b>コミュニケーション社会学科</b> 「共生社会フィールドスタディズ I・II」</p> <p><b>児童発達学科</b> 「保育実習 I・II・III」「保育実習指導 I・II・III」「教育実習 I・II」</p> <p><b>人間福祉学科（2022・2021 年度入学者）</b> 「ソーシャルワーク演習」「ソーシャルワーク演習（専門） I・II・III・IV」 「ソーシャルワーク実習指導 I・II・III・IV」「ソーシャルワーク実習 I・II」 「精神保健福祉演習（専門） I・II・III」「精神保健福祉実習指導 I・II・III」 「精神保健福祉実習」 「介護総合演習 A・B・C」「介護福祉実習 A・B・C」</p> <p><b>人間福祉学科（2020・2019 年度入学者）</b> 「相談援助演習 I・II・III」「相談援助実習指導」「相談援助実習」 「精神保健福祉援助演習（基礎）」「精神保健福祉援助演習（専門）」「精神保健福祉援助実習指導」「精神保健福祉援助実習」 「介護総合演習 A・B・C」「介護福祉実習 A・B・C」</p> <p><b>心理学科（2022 年度入学者）</b> 「心理演習」「心理実習 I・II」</p> <p><b>心理学科（2021・2020・2019 年度入学者）</b> 「心理演習」「心理実習」</p>
保健医療技術		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎分野の選択科目</li> <li>・その他教務委員会が認めた科目</li> </ul>

## 2) 対象外学生

当該学期の前の学期までに履修した科目の GPA が 3.0 以上の成績を修めた学生は、当該学期の単位数上限以上の科目の履修登録ができます。（全学部 2020 年度入学生以降）



## ●履修上の注意事項

### <卒業要件>

卒業までに修得しなくてはならない単位が科目区分別に定められています（卒業要件）。学部・学科ごとに異なった設定となっていますので、確認のうえ、卒業要件の充足を意識しながら履修登録・単位修得を進めてください。

### <配当学年>

各授業科目には履修可能となる学年が定められています。配当学年が自分の所属学年および下の学年となっている科目は履修可能です。

### <閉講>

履修登録した科目の履修者が5名以下の場合、原則として開講されません。ただし、別のルールを設けている場合がありますので、教務グループへ確認してください。

### <履修登録不可となるケース>

#### 1) 履修確定後の履修修正・取消不可

履修登録は学生自身の責任において行っていただきます。履修登録が正しくできたかどうか必ず確認のうえ、修正が必要な場合は、所定の期間に手続きを行ってください。手続きの受付期間以降の修正・取消は一切できません。

#### 2) 同一曜日時限 複数科目登録不可

同一曜日時限に履修できるのは1科目のみです。同一曜日時限に開講される2つ以上の科目を同時に履修することはできません。

#### 3) 修得済み科目 再履修不可

一度単位を修得した科目について、再び履修することはできません。

## ●履修者数の上限設定

### <履修者数の上限および抽選履修>

選択科目の履修者数は、原則として教室の収容人数とします。教室の収容人数をオーバーした場合、または担当教員・科目内容により人数制限を行う場合、担当教員が抽選を行い受講者数を決定します。詳細については教務グループからの案内を必ず確認してください。

(注意点)

- ・ 抽選に参加するためには指定された期間に履修登録（仮登録）をする必要があります。仮登録をしていない場合には抽選に参加することができません。
- ・ 教職科目の一部については、教職課程の履修学生の履修を優先的に認めます。
- ・ 抽選に際して担当教員から授業出席等の指示があれば従ってください。

# I - iii 単位認定について

授業科目の評価は、試験等により行います。試験には、定期試験、追試験、再試験があります。これ以外に通常授業時間に行う試験があります。試験の方法は、筆記試験、口答試験、実技試験、レポート提出などがあり、併用して実施することがあります。講義要綱（シラバス）および担当教員のガイダンスに従ってください。なお、学外での臨床実習、臨地実習の成績評価は別に定めているので、オリエンテーション等での担当教員の指示に従ってください。

## 1. 定期試験について

### 1) 受験資格について

- ①履修登録をしていない科目は受験できません。受験しても単位は認定されません。
- ②講義科目では授業時数の3分の1、演習・実習・実験科目では5分の1を超えて欠席した者は、受験資格がありません。受験資格を失わないよう、出欠の自己管理に努めてください。
- ③試験を受けても、学費未納または実技科目の実費未納の者には単位を認定しないことがあります。必ずその納入期日内に学費、実技科目実費を納入しているかどうか確認しておいてください。

### 2) 試験受験にあたっての注意事項

- ①試験受験にあたり『定期試験受験の心得』を確認してください（次項参照）。
- ②試験中は、必ず学生証の写真の部分を上にして、机上通路側に提示してください。
- ③学生証を忘れた場合は、保健医療技術学部教務グループで当日限り有効の入室許可証（1科目につき1枚必要）の発行を受け、学生証の代わりとしてください。

※1) と 2) は追再試験においても同様に適用されます。

### 3) 試験当日に欠席する場合

#### 「試験欠席届」（様式第3号）

病気、忌引などの理由で試験を欠席する場合は、試験開始前までに試験の担当教員および保健医療技術学部教務グループに連絡してください。その後、該当試験実施日より7日以内に「試験欠席届」を保健医療技術学部教務グループに提出しなければなりません。その際、欠席理由を証明できる書類（病気や入院の場合は欠席期間を明記した診断書・事故証明書）、忌引の場合は日時明記の会葬礼状または死亡届を添付してください。

「試験欠席届」の用紙は、保健医療技術学部教務グループで受け取ってください。試験欠席届を提出しないと追・再試験の受験資格を失う場合があります。ご注意ください。

欠席 → 担当教員・教務グループ連絡 → 「試験欠席届」(様式第3号)を7日以内に提出

## 定期試験受験の心得

1. 試験場においては、すべて監督者の指示に従うこと **〈試験教室 5分前集合〉**。
2. 試験場においては、常に **学生証を机上に提示** すること（写真面を表にする）。  
〈学生証を忘失した場合は事前に教務グループに申し出て入室許可証を受領すること〉
3. 試験は、指定された教室で受験すること。履修していない科目は受験できない。
4. 試験にあたっては、注意事項を遵守すること。不正行為を行ってはならない。

### [次の行為は、不正行為とみなす]

- ・試験場において試験監督者の指示に従わないこと。
- ・他人の答案を見ること、または見ようとすること。
- ・私語をすること。他人に教えること、または教えようとすること。
- ・テキスト、ノート、辞書などを見ること（但し、許可されている場合は可）。
- ・他人にテキスト、ノート、辞書など見せること。
- ・試験中、他人に筆記用具を貸すこと、または借りること。
- ・机上に指定されたもの以外のものを置くこと。  
机上には ①**筆記用具**（必要な分だけ机上に用意し、不要な筆記用具は『筆箱』と共にカバンにしまうこと）、  
②**時計**（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）、  
③**学生証** のみ、置くことができる。
- ・試験中に下記のものを使用すること。  
「電子辞書」「携帯電話」「スマートフォン」「スマートウォッチ」「ICレコーダー」等の電子機器類  
「定規」「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具
- ・イヤホンやヘッドホンを着用して試験を受けること。
- ・回収する指示のあった試験問題を許可なく持ちかえること、あるいはスマートフォン等で撮影すること。

### [遵守事項]

- ・受験前に自分の机の上に何か書かれていないかを確認し、もし書いてあれば必ず消すこと。
  - ・携帯電話などは『呼出音が鳴らないように操作』し、カバンにしまうこと。
  - ・下敷きの使用は、認めない。また机の中には、何も入れてはならない。
5. 試験に際し、不正行為があった場合、もしくは遵守事項に違反した場合は、即時退室および受験停止を命じ、その試験期間実施全科目の単位取得を無効とし、学則第 53 条に基づいて懲戒処分とすることがある。また、レポート形式の試験においても、不正行為があった場合は同様の処分とする。
  6. 交通その他、止むを得ない事由と認められても、20 分以上遅刻した場合は、受験することができない（交通機関発行の遅延証明書などは保管しておくこと）。
  7. 試験を途中で放棄することはできない。白紙の答案でも提出すること。  
また、試験時間途中での退室は、20 分経過後認める。出来るだけ最後まで受験すること。なお、定期試験の試験時間は原則 80 分とする。
  8. 学納金未納の者は、原則として受験資格がない。
  9. 定期試験以外に行われる試験も、上記の注意事項に準じて実施する。

## 2. 追試験について

追試験とは、正当な理由で定期試験を受験できなかった者に対する試験です。

- 1) 追試験を受ける場合は、該当試験実施日より7日以内に「試験欠席届」に記入し、定期試験を受けられなかった理由を証明する書類を添えて、保健医療技術学部教務グループに提出しなければなりません。
  - ①病気・怪我の場合；診断書（日時明記必須）等
  - ②その他の場合；事故証明書（駅長、警察署）及び公欠が認められる場合に準ずる。

なお、本人の責任に帰すべきような事由（例えば、試験時間の見間違い、寝坊等）は、追試験の対象となりません。
- 2) 追試験受験者は、指定された追試験申込日に手続きを行わなければなりません。申込日に手続きが完了しない場合は、該当の試験を受けることができません。手続き方法の詳細に関しては、保健医療技術学部教務グループより別途連絡します。
- 3) 追試験の結果、成績の取得上限成績評価はAA（GP 4.0）とします。
- 4) 追試験料は、無料です。

## 3. 再試験について

再試験とは、定期試験を受験の上、必修科目（および修得すべき選択科目）の試験結果が不合格の場合行う試験です。なお、レポート課題を定期試験として実施した場合には、レポート未提出は試験欠席したものとして取り扱います。

- 1) 再試験受験者は、指定された再試験申込日に手続きを行わなければなりません。申込日に手続きが完了しない場合は、該当の試験を受けることができません。また、再試験受験料を銀行振り込みにて納入する必要があります。手続き方法の詳細に関しては、保健医療技術学部教務グループより別途連絡します。なお、正当な理由なく定期試験を欠席の場合、原則試験実施日より7日以内に「試験欠席届」（様式第3号）を教務グループへ提出する手続きをし、学科長に事前に許可を取らなければ受験することができません。
- 2) 再試験の結果、合格した者の成績評価はC（GP 1.0）とします。
- 3) 再試験料は、1科目 800円です。

（試験欠席の場合の取扱い）

	追試験	再試験
受験願	要	要
受験料	無 料	800円 /1科目
取得上限成績評価	AA (GP4.0)	C (GP1.0)
試験欠席届	要	要
添付書類（診断書等）	要	不 要 (学科長による事前許可)

※試験欠席届を提出しないと受験資格を失う場合があります。ご注意ください。

## 4. レポートについて

レポートは成績評価の一つの方法であり、筆記試験と同様に重要なものです。詳細については、その都度担当教員から説明されますが、特別に指示がない場合には、原則として以下の要領で作成し、必ず指定された期限内に提出しなければなりません。

- 1) レポートの作成は、担当教員に指定された用紙・様式に従ってください。原稿は、本文の他に必ず表紙をつけてください。表紙には、提出日、科目名、担当教員名、レポート名、学科、学籍番号、氏名を明記してください。また、必ずステープラー（ホッチキス）等で綴じてください。
- 2) レポートの提出は、担当教員の指示に従ってください。ただし、掲示により保健医療技術学部教務グループ窓口扱いの指示があった場合は、本人が提出してください。代理人による提出は、原則として認めません。
- 3) レポートの提出期限は厳守してください。期限に遅れたものは、いかなる理由があっても受理できませんので注意してください。また、郵送による提出は一切受け付けません（事前に指示があった場合を除く）。
- 4) レポートの作成・提出にあたり不正行為に注意してください。不正行為には以下のようなものがあります。
  - ①他人が作成したレポートを自分のものとして提出すること
  - ②他人にレポートを作成して見せることや代筆すること
  - ③生成系AIを使用して得た内容を自分の作成物として提出すること（教員から許可された範囲内である場合を除く）。

なお、提出されたレポートが他者のレポートの丸写しだった場合には、貸した者、借りた者全員を失格とし、履修規程に基づき単位取得が無効となります。なお、事情によっては学則第53条の懲戒を受ける対象となります。

## 5. 成績評価について

成績は試験およびレポート等の成績などを総合して評価〔詳細はシラバス（講義要綱）参照〕され、合格点に達した科目について、それぞれ単位が与えられます。不明な点や疑問点は、初回の授業において担当教員に確認してください。

- 1) 保健医療技術学部の成績評価は、次の評点に基づき「秀(AA)・優(A)・良(B)・可(C)・不可(F)」によって示されます。

評価	合 格				不合格
	秀 (AA)	優 (A)	良 (B)	可 (C)	不可 (F)
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
G P	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

- 2) 成績評価欄の〔N〕の表記は他の大学または短期大学において修得し、本学で単位を認定したものです。
- 3) 成績は発表日時になりましたら B's LINK で発表します。各自確認してください。発表日時は学科・学年によって異なりますので、学年暦や B's LINK 等で必ず確認してください。
- 4) 成績に関する問い合わせは、当該学期に付与された評価に対してのみ指定の期間を設けて受け付けています。電話での問い合わせは本人確認ができないため一切応じられません。詳細は教務グループからの案内を確認してください。

## 6. GPA (グレード・ポイント・アベレージ) について

本学では、GPA (Grade Point Average = 成績加重平均値) を導入しています。この GPA は、履修登録を行った卒業に関わる科目の成績をポイント化し、より適切な成績評価を行うものです。GPA では、不合格科目等も全てポイントとして換算されます。また合格しても成績評価の低い科目が多くなると、全体のポイントの低下につながります。安易な履修登録や受験放棄が自身の不利益となることを十分に自覚し、計画的な学習計画を立てるようにしてください。

### 1) 成績評価

学修の評価は、秀、優、良、可および不可とし、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とします。合格した場合は、その授業科目に所定の単位とグレードポイントを与えます。表示は文字 (AA=秀、A=優、B=良、C=可、P=合格、N=認定、F=不可、F- =試験欠席、F\* =受験資格なし (1/3 を超えて欠席など)) になります。

### 2) 評価の基準

判定	成績表示	成績評価基準	G P	成績評価内容
合格	AA	90～100点	4.0	特に優れた成績
	A	80～89点	3.0	優れた成績
	B	70～79点	2.0	妥当と認められる成績
	C	60～69点	1.0	合格と認められる成績
	P	-	3.0	合格と認められる成績 (合格/不合格科目)
	N	-	-	合格と認められる成績 (編入時単位認定等)
不合格	F	59点以下	0.0	合格と認められる成績に達していない
	F-	試験欠席	0.0	試験等を欠席
	F*	失格	0.0	出席回数が基準を満たしていない

原則として、履修者に対する各評価の割合 (分布) は、下記の通りとなります。

AA (秀) 0～10%、A (優) 20±10%、B (良) 40±10%、C (可) 20±10%、  
F (不可) 0～20%

ただし、原則として AA と A 合わせて 30% を超えないものとします。

### 3) 対象科目

- ①卒業要件（国家試験受験資格要件）に算入する全授業科目
- ②5段階評価の基準によって成績を認定する科目
- ③学生がその期に履修登録した授業科目

### 4) 対象外科目

- ①選択科目（選択必修科目は対象） ※2019年度入学生まで
- ②編入等に関する認定科目（成績評価なし）等
- ③教職科目等
- ④卒業要件単位外科目

### 5) 算出方法

GPAの算出は、「学期ごと」および「通算」で行います。

#### [ 学期ごとのGPA算出方法 ]

$$\frac{\text{（当該学期で履修登録したGPA対象科目のGP} \times \text{その科目の単位数）の合計}}{\text{当該学期で履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

- ①GPAは小数第3位を四捨五入し、小数第2位までを表示します。
- ②GPA対象科目でF（不可）は分母に含みます。
- ③通年科目は後期に含めGPAを算出します。
- ④F（不可）となった科目を再履修した場合は、再履修した当該の対象学期の対象科目に含め、GPAを算出します。
- ⑤前項の場合、F（不可）となった学期のGPAは変更しません。

## [通算のGPA算出方法]

通算のGPA算出は、在学中に（評価がでた時点）履修申請・登録したすべてのGPA対象科目に基づき算出します。

$$\frac{\text{（在学中（評価がでた時点）に履修登録したGPA対象科目の最新GP} \times \text{その科目の単位数）の合計}}{\text{（在学中（評価がでた時点）に履修登録したGPA対象科目の単位数）の合計}}$$

- ① GPAは小数第3位を四捨五入し、小数第2位までを表示します。
- ② GPA対象科目でF（不可）は分母に含みます。
- ③ 通年科目は後期に含めGPAを算出します。
- ④ 再履修した場合は、1科目としてカウントします（ダブルカウントしません）。
- ⑤ 再履修した科目のGPAは、最新の評価に基づく値とします。

（GPA計算例）

科目名	単 位	単 位	ポイント数
大学学	1	A	$1 \times 3.0 = 3.0$
キャリア	2	AA	$2 \times 4.0 = 8.0$
文章作法	2	F	$2 \times 0.0 = 0.0$
情報処理	2	B	$2 \times 2.0 = 4.0$
英語	1	A	$1 \times 3.0 = 3.0$
	合計 8 単位		合計 18.0 ポイント

$$\text{GPA値} = 18 \div 8 \text{ 単位} = 2.25$$

## 6) 履修登録取り直し受付期間

履修登録後に取消期間を設定します。期間内に申請をして取消された科目はGPAには算入しません。ただし、期間内に取消しをせず、講義科目では授業時数の3分の1、演習・実習・実験科目では5分の1を超えて欠席した場合は「F\*」（失格）となります。

## 7) GPAの活用

GPAは成績関係の書類に明示するとともに、学修指導、キャップ制限（履修登録単位上限）の緩和、奨学金の選定基準等として活用します。なお、GPAが低い学生には、個別の学修指導を行います。また、各年次終了後のGPAが1.0未満の場合は、進級・卒業判定の審議対象とします。

## 8) 1学年で取得できる単位の限度

- ・ 1学年で取得できる単位の限度は49単位を上限とします。
- ・ 前学期までに履修した科目の平均がGPA 3.0以上の成績を修めた学生は、当該学期の単位数上限以上の科目を登録し履修できます。



## 7. 仮進級制度について

医学教育では基礎医学分野から専門領域分野の科目へと段階的に学修することで、知識と技術を学んでいきます。基礎的な科目の理解が不十分な場合には、専門領域分野の科目の学修に支障をきたします。そのため、本学部では当該年度において必修科目に不合格科目がある場合には、翌年度に進級することができません。しかし、1年次から2年次への進級に関しては、仮進級が認められる場合があります。

### 1) 仮進級の申請条件

1年次において不合格となった必修科目が2科目以内であった場合には、仮進級の申請を行うことができます。ただし、失格ならびに単位取得が無効となった科目がある場合には、仮進級の申請は認められません。

### 2) 仮進級の申請手続き

仮進級申請者は、指定された期間（後期の追・再試験成績発表後の指定期間）に「仮進級申請願」に記入し、学科長の署名を得たうえで保健医療技術学部教務グループに提出しなければなりません。本人による提出が原則です。

仮進級が認められた場合には、2年次の科目を履修しながら1年次の不合格科目を再履修します。そのため自身の学修状況などを考慮し、保証人およびクラスアドバイザーともよく相談し、十分に検討したうえで仮進級申請を行なってください。

### 3) 仮進級科目の再履修

仮進級が認められた場合には、2年次に進級することができます。ただし、2年次の科目を履修しながら、1年次の不合格科目を再履修します。履修上の注意、単位認定については他の科目と同様です。履修にあたり不明な点があれば科目担当教員に確認してください。

## 8. 「授業アンケート」等について

本学では、様々な機会を捉えてアンケート調査を実施しています。前期・後期の授業終了に合わせて実施される「授業アンケート」の目的は、在学生の学修意識と知識状況の把握、教育環境の向上のために毎年の授業を改善していくためのデータ回収です。アンケート回答方法はweb利用を原則としますが、郵送方法、対面式などの場合もあります。

アンケートの実施については、B's LINKから告知します。見落としの無いよう、ご注意ください。

アンケートは無記名ですが、回答は本学学生である以上、「必須」と位置づけています。在学中複数回行われますが、必ず回答するようご注意ください。

## 9. 入学前の既修得単位の認定について

入学前の既修得単位の認定を希望する場合の規程・手続きは以下の通りです。

### 文京学院大学学則

- 第22条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学または短期大学等で修得した単位を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。
  - 3 前2項により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、編入学、転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて30単位を超えないものとする。
  - 4 編入学、転入学の場合に与えることのできる単位数は、学生が本学に入学する前に大学または短期大学等で取得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、62単位を限度に認定する。

### 【手続きの流れ】

申請時期：入学年度の4月末日。入学2年目以降は申請不可

必要書類：①成績証明書（原本1通）

②シラバス（単位修得した当時のもので、授業内容等の説明があるもの）

問合せ先：保健医療技術学部 教務グループ

## 10. 他学科・他学部・他大学で修得した単位の単位認定について

カリキュラムに掲載されている学科の授業科目以外で、30単位を上限とし、他学科・他学部や他大学で修得した授業科目の単位の認定が可能です。ただし、キャップ制（履修登録可能単位数上限）の適用を受けます。また、履修を希望する科目が所属学部の科目と同一と認められた場合、既に単位修得している科目は単位認定されません。

提携大学一覧（詳細を知りたい方は教務グループへご相談ください）

- ・埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）加盟校
- ・放送大学
- ・北星学園大学
- ・名桜大学
- ・東洋学園大学（経営学部生のみ）
- ・東洋大学（経営学部生のみ）
- ・海外大学（外国語学部生のみ）

### <履修登録方法>

履修手続きについては履修ガイダンス等でお知らせします。教務グループからの案内をよく確認してください。

### <履修に際しての注意点>

#### 1) 他学科科目を履修する場合

- ・承認を受けた科目のみ履修が可能です。必ず履修できるとは限りません。その学科の学生が優先されますので、他学科の学生が履修できない場合があります。
- ・担当教員が、受け入れる他学科学生について適正人数などを考慮し選考します。選考において、レポート等課題を出す場合があります。

#### 2) 他学部科目を履修する場合

- ・承認を受けた科目のみ履修が可能です。必ず履修できるとは限りません。その学部の学生が優先されますので、他学部の学生が履修できない場合があります。
- ・他学部履修をした科目の試験日と所属学部の試験日とが重複した場合、どちらかしか受験することができません。そのことを十分承知の上で履修してください。
- ・他学部で行われている奨励金支給制度は適用されませんので、十分承知の上で履修してください。

#### 3) その他 他大学等との単位互換制度を履修する場合

- ・本学の履修登録方法および期間とは異なる手続きとなります。履修できる学年、授業科目や開講場所については別途案内しますので、希望者は教務グループへお越してください。
- ・(人間学部生・保健医療技術学部生のみ) 放送大学単位互換科目の履修可能期間は4年次前期までとなります。

### <評価方法>

開講大学	評価方法
1) 他学部・他学科	本学の評価方法
2) 放送大学	本学の評価基準に照合して評価
3) 放送大学以外の他大学	単位互換大学の合格により認定評価
4) 留学先の海外大学	留学先で取得した単位・評価をそのまま認定 または本学の評価方法

#### ・算入される科目区分

	外国語	経営	人間	保健医療技術
1)	シラバスを確認し、 適当な区分に算入	基礎専門科目	他学部他学科科目	他学部他学科科目
2)			他大学履修科目	他大学履修科目
3)				
4)				

## 11. 海外短期フィールドワークの単位認定（成績評価）について

保健医療技術学部では、経済と医療のグローバル化が進む現代社会において、自ら選択して行う海外短期フィールドワークを実施しています。現在、二つの海外短期フィールドワークプログラムがあります。ひとつは全学科対象の「北米コース」であり、二つめは理学療法学科および作業療法学科を対象に実施される「アジアコース」です。

「北米コース」は、通常、8月初旬より3週間にわたって実施されるプログラムで、カナダ・オンタリオ州 Brock 大学において、午前は英語の授業、午後は特別講義、一般総合病院検査室見学、模擬患者監視システム施設の見学、リハビリテーションセンター、ナイアガラの滝見学、トロント市内観光、ワイナリー見学等が行われ、ホームステイによる異文化交流も実施されます。

「アジアコース」は3月に2週間にわたって実施され、マレーシア国民大学附属病院での研修などを通じ、英語でのコミュニケーション能力の向上を目指すとともに、現地学生との異文化交流を図り、海外にも目を向けられる理学療法士および作業療法士の育成を目指します。

両コースとも実施前の事前学習、現地での研修および帰国してからのレポート提出などでの内容により成績評価が行われ、単位が付与されます。

（問い合わせ先：国際交流センターおよび担当教員）

## 1. 出・欠席について

1) 履修する授業は毎時間出席するのが原則です。病気その他の不可抗力による欠席も出席扱いにされることはありませんので、自己管理に留意してください。各自 B's LINK にて、管理するようにしてください。事務窓口での出席状況に関する問い合わせ対応は行いません。

2) 単位修得のためには、講義科目では授業回数の3分の2以上の出席が必要です。演習・実習・実験科目の場合は5分の4以上の出席が必要です。

3) 2)に関連して、講義科目では授業時数の3分の1、演習・実習・実験科目では5分の1を超えて欠席した場合は、成績評定を受ける資格を失い（失格）、定期試験および追・再試験を受けることができず、単位の修得もできません。

必修科目に1単位でも未修得科目がある場合には、翌年度に次学年に進級することができず留年となりますので、欠席数には留意してください。1年次から2年次への進級に関しては、仮進級制度により必修科目の未修得科目が2科目以内であった場合に、2年次への仮進級の申請をすることが出来ます。ただし、失格科目がある場合には、仮進級の申請を行うことができません。成績評定を受ける資格を失う（失格）ことにならないように、欠席数には留意してください。

4) 遅刻とは、1～20分の遅れをいい、それ以降は欠席扱いとなります。また、遅刻3回で欠席1回の扱いとなります。公共の交通機関のトラブルによる遅延の場合、交通機関発行の「遅延証明書」を受け取り、授業の担当教員に提出してください。欠席に算入されるかどうかは担当教員の判断によります。

5) 出席に関する不正行為（他人に出席登録を依頼する、他人の出席登録を行う、出席登録をして退室する等）をした場合、当該科目の修得単位が無効となります。なお、事情によっては学則第53条の懲戒をうける対象となります。

6) 長期間欠席（2週間以上3か月未満）する場合

### 「長期欠席届」（様式第2号）

2週間以上欠席する場合は、事前または事後にクラスアドバイザー又は卒業研究担当教員および保健医療技術学部教務グループにその旨を連絡してください。その後速やかに「長期欠席届」の用紙を保健医療技術学部教務グループで受取り、必要事項を記入し、〔診断書〕がある場合は添付して保健医療技術学部教務グループに提出してください。

7) 公欠の届出について（公欠届）

### 「公欠届」（様式第4号）

公欠届に証明書類等を添付して保健医療技術学部教務グループへ届け出て、認められた場合、授業の出・欠席のいずれにも算入されなくなります。公欠届は保健医療技術学部教務グループで確認印を受けた後、教務グループから各授業担当教員に提出します。

[公欠が認められる場合]

- ① 本人又は親族が結婚する場合。(日時明記の案内状等添付) ※ 1
- ② 忌引(日時明記の会葬礼状または死亡届を添付) ※ 2
- ③ 大学が派遣する研修会・進路相談会(日時明記の案内文等添付)
- ④ 学校保健安全法に定められている感染症に感染した場合。 ※ 3

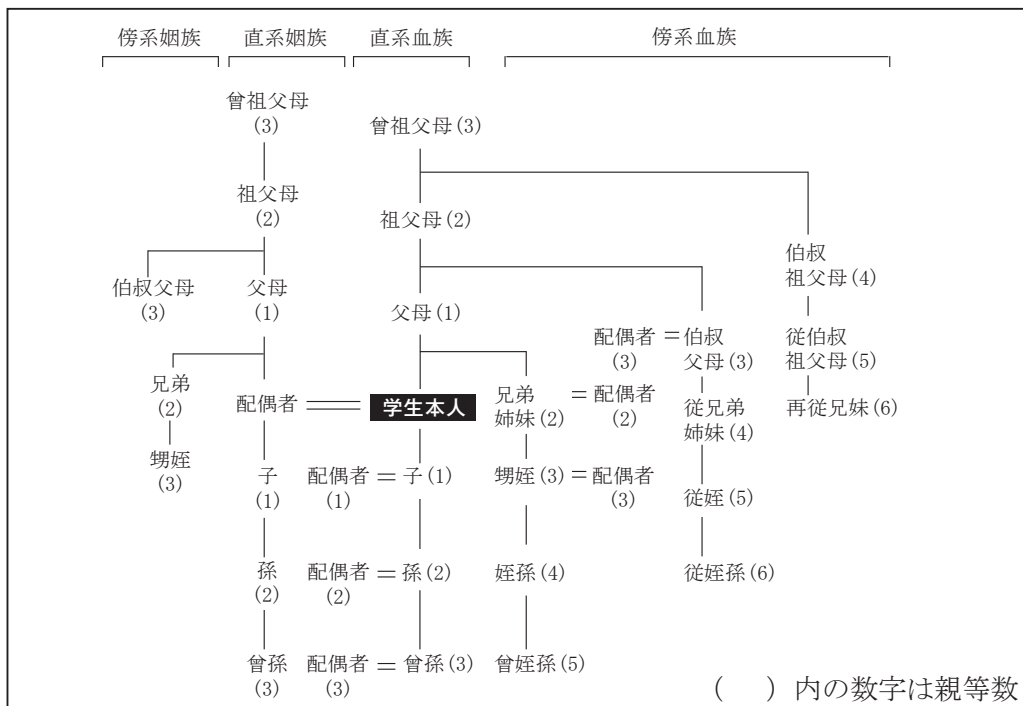
※公欠願と併せて大学が指定する『「学校において予防すべき感染症」罹患証明書』(様式第13号/保健医療技術学部教務グループに設置)を保健医療技術学部教務グループへ提出すること。(診断書が添付されていたとしても出席停止期間が明記されていない場合には、公欠は認められません)

- ⑤ 実習期間・オリエンテーションが授業と重なった場合(事前の連絡が必要)。
- ⑥ 就職試験(筆記試験、面接試験、就職試験を受験する際に参加必須となる就職説明会)  
公欠理由を証明する書類の添付または就職試験証明を必要とする。なお、就職試験証明の場合には、就職試験先の『機関印』または『機関名のゴム印(記名可・担当者直筆) + 人事担当者印(記名可・担当者直筆)』が必要。就職試験に該当しない内定式への参加等は公欠として認められません。
- ⑦ クラブ等の学外活動で学生委員会の推薦があり、教務委員会が認定した場合。  
学生委員会が推薦する場合の推薦基準は、連盟主催等の公式な大会への出場、また、意義ある活動と学生部長が認めた場合で、かつ通年科目は2回、半期科目は1回を限度とする。但し、当該日より前に、顧問・部長の承認を得た後、学生支援グループに届け出なければならない。
- ⑧ 大学院入試(受験票添付)
- ⑨ その他、教務委員会が認定した場合。

※公共交通機関の遅延、運休の際の欠席は公欠とは認められません。

### ※1 慶事での公欠

学生およびその親族（4親等以内）が結婚する場合の公欠日数は、「1日」とする。なお、参考として、以下に民法上の親族である「6親等内の血族、配偶者、3親等内の姻族」をあらわした親族図を掲載する。



### ※2 弔事での公欠

弔事で公欠となる日数は、以下の通り。

親族	1親等		2親等		3親等			4親等
	親	子ども	兄弟姉妹	祖父母	おじ・おば	甥・姪	曾祖父母	いとこ・甥の子・姪の子
日数	7日間まで		3日間まで		3日間まで			1日間まで

\*配偶者が死亡した場合は、7日間までを認める。  
\*目的地往復に要する日数を加算することができる。

### ※3 学校保健安全法施行規則（第三章 第十八条）に定められている感染症

第一種の感染症
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）及び特定鳥インフルエンザ（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。次号及び第十九条第二号イにおいて同じ。）
第二種の感染症
インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎、新型コロナウイルス感染症
第三種、その他の感染症
コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症、感染性胃腸炎（流行性嘔吐下痢症）等

(コピー使用可またはB's LINKに掲載)

主治医各位

文京学院大学

「学校において予防すべき感染症」罹患証明書記入につきまして（ご依頼）

学校保健安全法施行規則第18条に定める「学校において予防すべき感染症」に罹患しました本学学生につきまして、下記証明書に病名、出席停止期間等をご記入の上、学生に交付いただきますようお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

(本郷キャンパス) 教務グループ TEL: 03-3814-1661  
(ふじみ野キャンパス) 教務グループ TEL: 049-261-6488

※「学校において予防すべき感染症」罹患証明書による情報は、原則として第三者に開示いたしません。しかし、学内集団感染において緊急を要する場合、法令に基づく場合や、本人の生命・身体・財産を保護するために必要がある場合などで、本人の同意を得ることが困難であるときは、例外的に第三者（保健福祉局など）に開示することがあります。

学生氏名 \_\_\_\_\_

(学籍番号【本人記入】: \_\_\_\_\_)

「学校において予防すべき感染症」罹患証明書

上記の学生を学校保健安全法施行規則第18条に定める「学校において予防すべき感染症」と診断しましたので、報告します。

病名 (該当病名に○印をつけてください。)	インフルエンザ・麻疹・風疹・水痘・百日咳・咽頭結膜熱 流行性耳下腺炎・流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎・結核
	その他の感染症名※ ( _____ ) ※学校保健安全法施行規則第十八条に定める感染症の種類による

初診	年 月 日
出席停止期間	年 月 日 ~ 年 月 日

上記感染症により、上記の出席停止が妥当であったことを証明します。

年 月 日 医療機関名

住 所

医 師 名

㊞



## ● 「授業時間」

科目には、前期または後期（ともに 15 週）のみで終了する半期科目と、前・後期（通算 30 週）にわたる通年科目があります。授業は 90 分をもって 1 コマとし、各時限は以下のとおりです。

- 1 限 9 : 10 ~ 10 : 40
- 2 限 10 : 50 ~ 12 : 20  
(昼休み 12 : 20 ~ 13 : 10)
- 3 限 13 : 10 ~ 14 : 40
- 4 限 14 : 50 ~ 16 : 20
- 5 限 16 : 30 ~ 18 : 00
- 6 限 18 : 10 ~ 19 : 40

## ● 「出・欠席」

### <出席管理システムについて>

本学では、I C 学生証を利用した出席管理システムを導入しています。使用にあたり、下記注意事項をよく確認するようにしてください。

#### 1) 出席登録

担当教員より特別な指示がない限り、対象教室では毎回必ず受付時間内に出席登録をするようにしてください。

#### 2) 登録方法

学生証を教室の壁に設置しているカードリーダーにかざしてください(タッチしてください)。なお、遅刻の場合も必ず行ってください。

#### 3) 対象教室

カードリーダーが設置されている教室が対象となります。

#### 4) 受付時間

授業開始前の 10 分間(休み時間内)に受付(出席登録)することができます。詳細は以下の通りです。2 コマ連続の授業であっても、各時限毎(各時限の開始前)に受付して下さい。

時限	受付時間	遅刻扱い	欠席扱い(受付不可)
1	9 : 00 ~ 9 : 10	9 : 11 ~ 9 : 30	9 : 31 ~ 10 : 40
2	10 : 40 ~ 10 : 50	10 : 51 ~ 11 : 10	11 : 11 ~ 12 : 20
3	13 : 00 ~ 13 : 10	13 : 11 ~ 13 : 30	13 : 31 ~ 14 : 40
4	14 : 40 ~ 14 : 50	14 : 51 ~ 15 : 10	15 : 11 ~ 16 : 20
5	16 : 20 ~ 16 : 30	16 : 31 ~ 16 : 50	16 : 51 ~ 18 : 00
6	18 : 00 ~ 18 : 10	18 : 11 ~ 18 : 30	18 : 31 ~ 19 : 40

## 5) その他

- ①担当教員より出席の取り方について指示があった場合は、そちらを優先してください。
- ②学生証を忘れると出席管理システム上の出席登録ができません。よって、学生証を忘れた場合は必ず授業開始前までに下記の指定の通り申し出てください。  
保健医療技術学部：教務グループに申し出て、出席票を受け取ってください。  
外国語・経営・人間学部：担当教員に学生証を忘れたことを申し出てください。
- ③学生証忘れで、授業開始前の10分間(休み時間内)までに申し出がない場合には、出席(または遅刻)として一切認められません。
- ④授業後にカードリーダーへかざす(タッチする)のを忘れたとの申し出があった場合も、出席(または遅刻)として一切認められません。
- ⑤その他の注意事項については、ガイダンス等で説明いたします。

### <単位修得のための出席数>

#### 1) 授業への出席

履修する授業は毎時間出席するのが原則であり、病気その他の不可抗力による欠席も出席扱いにされることはありません。

#### 2) 出席回数

単位修得のためには各授業科目とも、一定回数の出席が必要です。

学部	単位修得に必要な出席回数
外国語	原則3分の2以上 英語コミュニケーション科目は週1回開講される科目は4回以上、週2回開講される科目は7回以上欠席すると失格
経営	原則3分の2以上
人間	原則3分の2以上 (資格科目については担当教員の指示の通り)
保健医療技術	講義科目 : 3分の2以上 演習・実習・実験科目 : 5分の4以上

#### 3) 試験の受験資格

単位修得に必要な出席回数に満たない者は定期試験およびこれに準ずる試験の受験資格がありません。自分でよく確認してください。

## ● 「休講・補講」

### <科目担当教員の事情による休講措置>

担当教員がやむを得ない理由で授業を休む場合は、Teams・B's Linkによる休講案内、または教務グループが直接口頭で連絡します。万が一休講連絡がなく、授業開始時間より30分を経過しても担当の教員が教室に来ない場合は、教務グループへ連絡をとり、指示を受けてください。

## <気象状況および交通機関のストライキによる休講措置>

### 1) 気象状況による休講措置

#### 【本郷キャンパス】

- ①午前7時の時点で、東京地方の23区東部・23区西部・多摩北部のうち、いずれか全域に「大雨警報」「洪水警報」「大雪警報」「暴風警報」「暴風雪警報」または同種の特別警報が発令されているときは、1、2限を休講とします。
- ②午前9時の時点で、前項の警報が解除されないときは、全授業を休講とします。

#### 【ふじみ野キャンパス】

- ①午前7時の時点で、埼玉県地方（南部・北部）に「大雨警報」「洪水警報」「大雪警報」「暴風警報」「暴風雪警報」または同種の特別警報が発令されているときは、1、2限を休講とします。
- ②午前9時の時点で、前項の警報が解除されないときは、全授業を休講とします。

※自然災害その他の事由で、交通機関の運行停止の有無に関わらず、学生の通学上、安全が確保できないと想定されるような事態が発生あるいは予想される場合は、授業を休講とすることがあります。

### 2) 交通機関のストライキに伴う休講措置

#### 【本郷キャンパス】

- ①午前7時の時点で、首都圏および近郊のJR線、大手私鉄各線、地下鉄各線のいずれか1社でもストライキの報道がされた場合、1、2限を休講とします。
- ②午前9時の時点で、運行が開始されない時は、全授業休講とします。

#### 【ふじみ野キャンパス】

東武東上線がストライキを行う場合（JR山手線は対象外）

- ①午前6時30分の時点で運行が開始されない時は、1、2時限を休講とします。
- ②午前9時の時点で運行が開始されない時は、全授業を休講とします。

※上記1)、2)の際に、他の交通機関の運休、交通不能等によりやむを得ず欠席した場合は、理由を記した証明書を提出してください。

※上記1)、2)の休講措置が、定期試験日あるいは、授業時間内試験日に当たった場合は、試験日の変更、あるいは試験のやり直しの措置がとられることがあります。担当教員の指導、教務グループの指示に従い、掲示板の掲示事項等を確認してください。

※電話での問い合わせには、応じられませんので、上記休講措置にしたがって判断してください。

## <補講>

休講となった授業については、授業回数を確保するために補講を行います。日時については教務グループからの連絡を確認してください。オンデマンド授業になることもあります。補講日や課題については、教員もしくは教務グループの指示に従ってください。

## ● 「大学からの情報発信」

### <はじめに>

- ・ 大学から学生に対する伝達は、所定の掲示板、B's LINK 等によって行われます。
- ・ 定期試験の日程等、重要な事項についても同様ですので、毎日必ず掲示内容を確認してください。
- ・ 掲示の見落としや確認不足のために生じる事態は、すべて学生自身の責任です。あとで不利益や不都合が生じないためにも掲示内容を確認する習慣をつけてください。
- ・ 一旦掲示した事項については、学生全員に伝達されたものとみなします。なお、掲示内容の疑問点については、掲示元のグループやセンターに照会してください。

### <学内システム B's LINK 等>

B's LINK は学生生活や授業の履修に必要な情報にアクセスするためのシステムです。

【学内】 <https://portal-in.bgu.ac.jp>

【学外】 <https://portal.bgu.ac.jp>

ログイン ID とパスワードは情報センターにて設定します。※入学時に案内があります。

B's LINK に登録されたメールアドレスに連絡通知が配信されます。各自、メールアドレスを登録してください。※通信料は利用者本人負担となります。

<機能> 「緊急重要情報」「履修登録」「成績確認」「休講情報」「補講情報」「授業連絡」「学生呼出」「教室変更情報」「お知らせ」「シラバス」「レポート提出」

他にも Microsoft Teams や Moodle を活用することもあります。所属学部や教員からの指示に従って活用してください。

### <イントラネット>

各キャンパスの情報にアクセスしやすい HP を用意しています。

本郷キャンパスイントラネット（学内からのアクセスのみ可能） <https://h.bgu.ac.jp/>

ふじみ野キャンパスポータルサイト（学外からアクセス可能） <https://f.bgu.ac.jp/>

### <掲示板>

学内には学生への案内を掲示する掲示板が用意されています。授業や成績関連の掲示板は下記となります。大学に来校したら確認するようにしてください。

本郷キャンパス：東キャンパス 1 階（臨床検査学科）

ふじみ野キャンパス：人間学部東館 1 階、保健医療技術学部東館 2 階

## ●受講マナー

- 1) 授業中の私語はつつしんでください。
- 2) 授業中にスマートフォン・携帯電話等の使用は原則できませんので、あらかじめ電源は切って、カバンの中に入れておいてください。
- 3) 体調管理のための飲水にとどめるよう授業中の飲水には注意して下さい。
- 4) ICカードリーダー（出席管理システム）を利用している授業で、IC学生証をタッチすることにより出席登録をしても、その後教室に戻らない（事実上欠席している）学生は欠席扱いとします。
- 5) やむを得ず途中退席する場合は、担当教員に氏名・学籍番号を述べ許可を得てください。体調不良等の理由であっても、20分以上経過しても教室に戻らない場合は、欠席扱いとします。
- 6) ミニッツ・ペーパーの流用（自分以外の学生に代筆させたり、したりすること）は不正行為（カンニング）に準ずる行為とみなし、その科目の単位修得が無効になります。

# I - v 学籍に関すること

## ●学籍

### ・学籍

学籍とは、本学に入学することによって取得されるもので、本学の学生（在籍者）であることを意味します。本学を卒業・退学・除籍となった場合は学籍を喪失します。

### ・在籍

在籍とは、本学に学籍が存在することをいい、その期間を在籍期間といいます。在籍期間は、在学状態の期間（在学期間）に休学状態の期間（休学期間）を加えた期間となります。

### ・修業年限および在学年限

本学の修業年限（最低在学しなければならない期間）は4年であり、また8年を超えて在学することはできません。なお、休学期間は在学年数に算入されません。

### ・在籍と授業料等の学費

授業料等は、次の2期に分けて納入しなければなりません。ただし、特別の事情があると認められた場合延納を許可することがあります。なお、納入した授業料等は一切返還されません。

前期 4月30日まで

後期 10月31日まで

休学中であっても当該期分の授業料等の学費を納入しなければなりません。ただし、当該期開始前に休学の申請をし、休学を許可された場合は、その期の授業料、新入生特別研修費および実験実習費が免除となります。期の途中（前期：6月30日まで（休日の場合はその前日）、後期：12月27日まで（休日の場合はその前日））に休学の申請をし、休学を許可された場合は、その学期について納入すべき授業料および実験実習費の2分の1が減額となります。

期の途中で退学した場合であっても当該期分の授業料等の納付金を納入しなければなりません。（ただし、上述の休学の許可があった場合は減額となります）

### ・学籍原簿

学籍原簿（個人カード）は、学籍および学生本人に関する重要事項を記録し、卒業後も保存されます。在学中に学籍原簿記載事項に変更があった場合は、必ず教務グループまで申し出てください。なお、住所や電話番号の変更は、総務グループまで申し出てください。

※学生の氏名（旧姓）表記の取り扱いについて

学生の氏名表記は、学籍原簿に記載された氏名により表記することとし、学籍原簿の氏名は戸籍上の氏名を用いることを原則とします。学籍簿記載の姓を戸籍簿変更後の姓（新姓）ではなく、戸籍簿変更前の姓（旧姓）を使用したい場合には、「旧姓使用届」を教務グループに提出してください。（在学中に婚姻、養子縁組などで戸籍上の姓を変更した場合、本学入学以前に旧姓を有している場合等）

## ●学籍異動

### <各学籍異動の概要>

#### 1) 休学

疾病その他やむを得ない理由により、3か月以上修学することができない場合には、学長の許可を得て休学することができます。

##### ・休学期間

休学できる期間は1か年以内です。特別の理由がある場合は休学期間の延長を許可することができます。ただし、休学の期間は通算して4年を超えることはできません。休学期間は、卒業に必要な在学年限には含まれません。

##### ・学費

前・後期それぞれの学費納入期日までに学費納入がない場合には、休学の申請はできません。前期・後期の開始前に休学が許可され、前期の全期間、後期の全期間休学する場合は、授業料・学外研修費・実験実習費が全額免除されます。前期・後期の開始後に休学が許可され、期の途中から休学する場合は、授業料・実験実習費の2分の1が返還されます。

##### ・単位

休学したその期（前期・後期）の単位は付与されません。

#### 2) 復学

休学期間の満了の場合、または休学の理由が消滅した場合に、復学を希望する者は、学長の許可を得て復学することができます。

##### ・時期

復学の時期は、原則として学期の始め（4月または10月）になります。

#### 3) 退学

病気その他やむを得ない理由により、就学することができない場合は、学長に願い出てその許可を受けなければなりません。また、大学は学則第53条により、懲戒処分として、退学させることがあります。

※学期進行中に退学を届け出る場合は、その学期の授業料等学費が納入済みであることが必要です。

（学費が納入されていない場合は「除籍」となります。）

#### 4) 除籍

次のいずれかに該当する者は除籍（大学における学生としての籍を抹消）になります。

- 1) 最長在学年限（8年）を超えた者
- 2) 授業料等学費の納付を怠り、催促してもなお納付しない者
- 3) 休学の期間を超えてなお修学できない者
- 4) 長期にわたり行方不明の者

※学費が納入済みである学期までが在籍期間です。授業料等学費が未納入の学期の履修科目及び成績は全て無効となります。

※除籍になった場合でも申請があれば「成績証明書」は発行できます。

### 5) 転学部（・転学科）

転学部については、「転学部規程」に定められた通りとします。文京学院大学の他学部への転学部を願い出た場合、当該学部の定員に余裕がある場合は、選考の上、許可することがあります。

※年度途中の転学部はできません。手続き期限がありますので、まずは教務グループにご相談ください。なお、期限を過ぎてからの申し出は許可されません。

### 6) 進級・留年

外国語学部は、進級判定がないため、修得単位数が何単位であっても4年生まで進級します。4年生後期の成績発表において、卒業要件を満たしていない場合に留年となります。

経営学部は、2年次終了時点で、取得単位が所定の単位数に達していない学生は、3年次に進級することができません。この場合、卒業まで少なくとも通算して5年間かかることとなります。また、GPAが1.0未満の場合は、進級判定の審議対象となります。

人間学部は、2年次終了時点で、修得単位が所定の単位数に達していない学生は、3年次に進級することができません。この場合、卒業まで少なくとも通算して5年間かかることとなります。（2021年度入学者より適用。）

保健医療技術学部は、履修規程により、追・再試験の結果発表時点で、必修科目において不合格科目がある者は、翌年度、次学年に進級することができません。ただし、1年次においては、必修科目に不合格科目があり単位認定されなかった場合でも、仮進級の申請が認められた場合には2年次に進級することができます。留年生の授業料等学費は、「保健医療技術学部留年生の学費納付及び徴収に関する内規」のとおりとします。また、各年次終了後のGPAが1.0未満の場合は、進級・卒業判定の審議対象となります。

### 7) 再入学

病気その他、やむを得ない理由で退学した者が、再入学を志願するときは、相当年次に再入学を許可されることがあります。除籍された者が再入学を志願するときは、相当年次に再入学を許可されることがあります。ただし、年度途中の再入学はできません。

### <手続きの流れ>





## ①相談・面談

休学や退学について考え始めたら、まずは担当教員（クラスアドバイザー・ゼミ教員）に相談しましょう。その後、担当教員と面談をしていただきます。

※書類提出締切日の2週間前までに面談を実施してください。（例：3月末締切→3月15日、9月末締切→9月15日）

## ②書類の提出

相談・面談を経て、休学や退学を決断した場合には、必要書類を記入し、保証人連署・捺印のうえ、指定期日までに教務グループへ提出してください。

## ③承認

提出された書類を基に、「教務委員会」および「教授会」の承認後、学長の許可があります。

## ④通知

すべての許可がおりたら、「許可通知」という書類にてその旨お知らせいたします。

## ＜必要な書類と提出期日＞

1) 休学	必要書類	『休学願』			
	休学期間	前期	前期の途中	後期	後期の途中
		4/1-9/30	7/1-9/30	10/1-翌3/31	1/1-3/31
提出期日	3月末	6月末	9月末	12月27日 (休日の場合はその前日)	

2) 復学	必要書類	『復学願』	
	復学日	前期	後期
		4/1	10/1
提出期日	3月末	9月末	

3) 退学	必要書類	『退学願』	
	退学日	前期	後期
		9/30	3/31
提出期日	9月末	3月末	

\*退学の意思があったとしても、学費が未納であった場合は、除籍扱いとなります。

\*指定退学日（9/30、3/31）以外の退学日を希望される場合は、教務グループへご相談ください。



## Ⅱ 科目

---

ストレス耐性科目

大学特別科目

副専攻制度

キャリア教育科目



## Ⅱ-i ストレス耐性科目

---

本学は、創立100周年（2024年）を念頭に置き、大学の目指す姿として「B's Vision 2024」において4つのビジョンを掲げています。その1つとして「ストレス耐性を持った人材の育成」があります。保健医療技術学部では、ストレスおよびストレスマネジメントに関する知識とスキルについて、以下のように設定しています。

### 理学療法学科

- [ 3年生 ] 理学療法管理学Ⅰ
- [ 4年生 ] 理学療法管理学Ⅱ

### 作業療法学科

- [ 3年生 ] 臨床作業療法Ⅰ
- [ 3年生 ] 精神科作業療法学演習Ⅰ

### 臨床検査学科

- [ 3年生 ] 臨地実習
- [ 4年生 ] 総合臨床検査学Ⅱ

### 看護学科

- [ 2年生 ] 基礎看護学実習Ⅱ
- [ 4年生 ] 統合実習

## II - ii 大学特別科目

---

本学では、本学の教育の基盤となるべき知識・技能及び教養を身につけるとともに、これからの時代にリーダーシップが発揮できる人材の育成を目指していくべく、以下の大学特別科目を設置しました。担当する教員は、大学の教授・専任教員のほか、産業界や民間研究所、公共団体の専門家なども招いて行なっていきます。大学特別科目では、柔軟な学問的視野と広い社会的視野、そしてそこから生まれる自由な発想と姿勢を培うことを目標としています。

- 1) 「人間共生論」(2単位) 必修
- 2) 「新・文明の旅特講 a」(2単位) 選択  
「新・文明の旅特講 b」(2単位) 選択  
「新・文明の旅総合講義」(2単位) 選択
- 3) 「地球環境論Ⅰ」(2単位) 選択  
「地球環境論Ⅱ」(2単位) 選択
- 4) 「データサイエンス入門」(2単位) 必修

## Ⅱ-iii 副専攻制度

本学では、複眼的な思考力を持った「問題発見・解決型の人材」を育成することを目的として副専攻制度を導入しています。これは、各自が所属する学科の自身の専門の他に、もう1つの特定の学科やテーマに関連した科目群を体系的に履修する制度です。また、本学の副専攻制度は、複数の副専攻の科目を少しずつ幅広く受講することも、逆に興味を持った特定の副専攻の科目を集中的に学ぶことも可能です。

### 1) 人間環境学（副専攻）：選択12単位または6科目

人間学、心理学、社会学、福祉学、環境学、国際関係、理化学、保健の分野を体系的に学ぶことによって、「人間環境学」の副専攻となります。

地域社会学（2単位）1年次	[コミュニケーション社会学科で開講]
教育原理（2単位）2年次	[児童発達学科で開講]
現代社会と福祉Ⅰ（2単位）2年次	[人間福祉学科で開講]
現代社会と福祉Ⅱ（2単位）2年次	[人間福祉学科で開講]
環境とデザインの心理学（2単位）3年次	[心理学科で開講]
ヒューマンバイオロジー（2単位）1年次	[理学療法学科で開講]
物理学（1単位）1年次	[作業療法学科で開講]
リハビリテーション入門（1単位）1年次	[理学療法学科・作業療法学科で開講]
生化学Ⅰ（1単位）1年次	[臨床検査学科で開講]
生化学Ⅱ（1単位）2年次	[臨床検査学科で開講]
生化学（2単位）1年次	[看護学科で開講]
人間の発達と健康Ⅰ（2単位）1年次	[看護学科で開講]

※他の学部の履修者は担当教員・開講コマを指定します。

※自学科については最大2科目まで有効とする。

### 国際学(副専攻)：選択12単位

外国語学部（本郷キャンパス）で開講する科目の履修が必要となります。詳細は保健医療技術学部教務グループにお問い合わせください。

### コンテンツビジネス学(副専攻)：選択12単位

経営学部（本郷キャンパス）で開講する科目の履修が必要となります。詳細は保健医療技術学部教務グループにお問い合わせください。

## 2) 履修時期

2年次から副専攻をエントリーできます。副専攻のエントリーを行なわないで履修しても資格は認定されません。

## 3) 履修基準

1年次の GPA2.5 以上の学生が2年次に副専攻をエントリーできます。3年次に初めてエントリーする場合には、2年次までの成績が GPA2.5 以上でなければなりません。4年次に初めてエントリーする場合には、3年次までの成績が GPA2.5 以上でなければなりません。

## 4) 実施時期

すでに履修した科目が対象科目である場合には、エントリー後に追認されます。

## 5) 履修定員

各学部・学科では適正なクラス授業を確保するため、履修人数の制限を置いている場合があります。副専攻履修者といえども優先して受講することはできません。受講に抽選などがある場合もあります。

## 6) 履修単位数の制限

「学則第 19 条で、学生が相互に他の学部において履修した授業科目について修得した単位を、学則第 20 条、第 21 条、第 22 条で修得する単位と合わせて 30 単位を超えない範囲で、当該学部・学科における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる」と規定しています。副専攻によって履修する単位数は、この規程に基づくものとして行なわれるので、この単位の中に含まれます。



## Ⅱ-iv キャリア教育科目

---

保健医療技術学部では、生涯を通じた持続的な就業力の育成を目指し、教育課程の内外を通じて社会的・職業的自立に向けた指導等に取り組むべく、以下のキャリア教育科目を設定しました。

### 理学療法学科

- [ 1年生 ] 理学療法学概論演習
- [ 2年生 ] 見学実習、評価実習Ⅰ
- [ 3年生 ] 臨床実習アセスメントⅠ、評価実習Ⅱ、理学療法管理学Ⅰ
- [ 4年生 ] 臨床実習アセスメントⅡ、総合臨床実習、地域理学療法実習、理学療法管理学Ⅱ

### 作業療法学科

- [ 1年生 ] 作業療法概論
- [ 2年生 ] 臨床基礎実習Ⅰ
- [ 3年生 ] 臨床基礎実習Ⅱ
- [ 4年生 ] 総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ、管理運営学

### 臨床検査学科

- [ 1年生 ] 臨床検査概論、検査機器総論（含む実習）
- [ 2年生 ] 一般検査学実習、病理検査学実習、臨床化学検査学実習、遺伝子検査学実習
- [ 3年生 ] 生理・画像検査学実習Ⅱ、微生物学検査学実習Ⅱ、血液検査学実習Ⅱ、免疫検査学実習、臨地実習
- [ 4年生 ] 卒業研究、総合臨床検査学Ⅰ・Ⅱ

### 看護学科

- [ 1年生 ] 看護学概論、アセスメントと看護技術Ⅰ、アセスメントと看護技術Ⅱ
- [ 2年生 ] 看護倫理学、アセスメントと看護技術Ⅲ、基礎看護学実習Ⅱ
- [ 3年生 ] 成人看護学実習（急性期）、成人看護学実習（慢性期）、母性看護学実習、小児看護学実習、精神看護学実習
- [ 4年生 ] チーム医療論Ⅰ、老年看護学実習、外来看護実習、総合実習



## Ⅲ 放送大学履修案内

---

履修案内

履修出願手続き



### Ⅲ 放送大学 科目の履修案内

保健医療技術学部では、放送大学と単位互換協定を結んでおり、それに基づいて約 300 の放送大学科目の履修と単位の修得を、放送大学の特別聴講学生として授業を受けることができます。履修単位は、学則第 20 条に定める他大学等授業科目として、30 単位を超えない範囲で卒業単位に含めることができます。

放送大学は、現在の生涯教育・学習の時代に即応して、テレビ・ラジオの専用の放送局を開設し、放送等を効果的に活用した新しい教育システムの大学教育を推進することにより、レベルの高い教育・学習の機会を提供するとともに、大学教育のための放送の普及発達を図ることを目的として、昭和 56 年に千葉市内の幕張地区に設立されました。

放送大学科目は、本学部の通常の開講科目とは、その履修や単位修得の方法が異なっているので、注意が必要です。以下に、その履修方法と履修手続について概略を示します。

#### 1. 履修案内

- 1) 放送大学科目の履修と単位の修得には、テレビ、ラジオ、インターネットによる放送授業の視聴、送付された印刷教材による学習、通信指導（レポート）の提出、単位認定試験の合格が必要です。
- 2) 放送授業は、各学期 15 週にわたって、2 単位科目は 15 回（週 1 回、1 回 45 分）、あらかじめ定められた放送時間に行われます。ただし、この授業は、放送大学各学習センターに備えられた、CD や DVD で随時視聴することができます。
- 3) 通信指導は、各学期の途中に 1 回、一定の課題についての解答の提出が所定の期限までに求められ、採点・評価が行われます。この通信指導が不合格または未提出の場合には、単位認定試験の受験資格を失うことになります。
- 4) 各学期 15 週の放送授業終了後、第 1 学期については 7 月下旬、第 2 学期については 1 月下旬の、あらかじめ定められた日時に、放送大学学習センターで、単位認定試験が行われます。
- 5) 上記の通信指導と単位認定試験の結果、不合格と認定された科目については、当該学生が本学在学中に限り、所定の期限までの再試験申請票の提出に基づいて、次の学期に通信指導の再提出と単位認定試験の再試験がそれぞれ各 1 回ずつ認められます。
- 6) 上記の再試験以外に、放送大学科目の追試験と再試験は行われません。
- 7) なお、放送大学特別聴講生は、放送大学学習センターでの放送授業の再視聴、放送大学図書館の利用等、履修上必要な放送大学の施設・設備を利用できます。

## 2. 履修出願手続

- 1) 放送大学の特別聴講学生を希望する学生は、第1学期（4月～9月）については前年度の1月中旬、第2学期（10月～3月）については当該年度7月上旬の所定の期限までに出願票と所定の書類を保健医療技術学部教務グループに提出してください。
- 2) 履修対象学年 1～3年生
- 3) 履修可能科目 放送大学で開講している全科目（約300科目）です。ただし、試験時間割を見て、同一時間帯の科目の中から2科目以上は履修できません。また、本学の各学部の試験期間も確認してください。
- 4) 取得可能単位数 取得可能単位数は学則にしたがって、30単位以内とします。
- 5) 授業形態 入学後印刷教材が送付され、その教材（テキスト）をもとにテレビ、ラジオ、インターネットによる放送授業を視聴します。学期の途中で1回通信指導が行われ、前期（7月下旬）、後期（1月下旬）に単位認定試験が実施されます。再試験は次年度に1回受験できます。都合により放送を視聴できなかった場合は、埼玉は埼玉学習センター（さいたま市大宮区錦町）、東京は東京文京学習センター等に備えられたCDやDVDで再視聴することができます。
- 6) 単位認定 単位認定試験に合格すると本学の卒業単位として認められます。成績通知は前期（9月中旬）、後期（3月中旬）です。
- 7) 履修方法 履修希望者は「特別聴講学生出願票」に「記入例」を参考に必要事項を記入してください。授業料は1単位につき5,500円（テキスト代500円含む）です。「証明書発行願（納入書）」の「証紙貼付欄」に該当金額分の証紙を貼付し、「8. その他」の欄に「特別聴講授業料」と記入して保健医療技術学部教務グループへ提出してください。単位互換協定により「入学料」は免除されます。
- 8) 奨学金制度 授業を履修し単位を修得した場合、1単位につき5,000円の奨学金を支給します（条件あり）。

埼玉学習センターの連絡先

住所：さいたま市大宮区錦町 682-2

（JR大宮駅西口より徒歩5分、大宮情報文化センター内）

TEL:048-650-2611

東京文京学習センターの連絡先

住所：文京区大塚 3-29-1

（東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅出口1より徒歩5分）

TEL:03-5395-8688

※詳細な地図については、放送大学のホームページをご参照ください。

※その他の学習センター・サテライトスペースについては、保健医療技術学部教務グループにお問い合わせください。





## IV 理学療法学科

---

「理学療法士国家試験受験資格」について

カリキュラムマップ

ナンバリング

カリキュラム

国家試験受験資格の授業科目履修方法

卒業研究要綱



# IV 理学療法学科

## 理学療法学科で取得可能な「理学療法士国家試験受験資格」について

### 1. 理学療法士とは

理学療法とは「理学療法士及び作業療法士法」において、次のように定義されています。

この法律で「理学療法」とは、身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行なわせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えることをいう。

また、理学療法士とは同法にて、次のように定義されています。

この法律で「理学療法士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、理学療法士の名称を用いて、医師の指示の下に、理学療法を行うことを業とする者をいう。

従って、「理学療法士」として働くためには、厚生労働大臣の免許が必要であり、これには理学療法士国家試験受験資格を取得し、理学療法士国家試験を受験して合格しなければなりません。

### 2. 理学療法士国家試験受験資格の取得要件

文部科学大臣が指定した学校又は厚生労働大臣が指定した理学療法士養成施設において、3年以上理学療法士として必要な知識及び技能を修得した者に理学療法士国家試験受験資格が与えられます。

従って、理学療法学科学生は理学療法士の受験資格に必要な履修単位を修得し、4年次に卒業見込みとなれば、受験資格を満たし、国家試験を受験することができます。

### 3. 理学療法士国家試験とは

理学療法士として必要な知識及び技能について行われる国家試験です。例年、2月下旬から3月初旬頃に試験があり、3月末に合格発表が行われています。試験の概要は以下の通りです。

#### 1) 筆記試験

一般問題及び実地問題に区分して次の科目について行う。

##### 一般問題

解剖学、生理学、運動学、病理学概論、臨床心理学、リハビリテーション医学(リハビリテーション概論を含む。)、臨床医学大要(人間発達学を含む。)、及び理学療法

##### 実地問題

運動学、臨床心理学、リハビリテーション医学、臨床医学大要(人間発達学を含む。)、及び理学療法

## 2) 試験地

東京都、北海道、宮城県、愛知県、大阪府、香川県、福岡県、沖縄県の8都道府県で行われておりますが、大学で一括して願書提出を行いますので、本学学生は「東京都」で受験することになります。

## 3) 受験料

受験手数料の額に相当する収入印紙を受験願書に貼ることにより納付することになります。(参考：2024年度 受験手数料 10,100円)

## 4) 受験願書と写真用台紙の作成

戸籍と同一の氏名文字、本籍地（都道府県名まで）を記載してください。10月初旬頃までに、戸籍抄本などによりそれらを確認しておいてください。合格発表時の住所（合格証書送付先）を記載する欄がありますので、確認をしてください。受験願書および写真用台紙の原本例は次の通りです。受験手続き等については、教務グループより別途指示いたします。

様式第五号（第十次改訂版）

理学療法士国家試験願書

受験地 東京都

上記により、理学療法士国家試験を受験したいので申請します。

年 月 日

本籍（四角）

住 所 電話（ ）

〒

ふりがな氏 名

年 月 日生

厚生労働大臣 殿

10,100 円の収入印紙を添付し、捺印しないこと

第 回 理学療法士国家試験受験写真用台紙

本籍地 (都道府県名を記入すること)	都 道 府 県	都 道 府 県	都 道 府 県	都 道 府 県
本 籍 地	都 道 府 県	都 道 府 県	都 道 府 県	都 道 府 県
合格発表時の住所 (合格証書送付先) 【都道府県の該当文字を○で囲む。】	都 道 府 県	都 道 府 県	都 道 府 県	都 道 府 県
〒	〒	〒	〒	〒
フリガナ	氏 名	性 別	生 年 月 日	大 正 昭和 平成
氏 名	氏 名	男 女	年 月 日	年 月 日
卒業学校の養成施設名	卒業年月	卒業年月	卒業年月	卒業年月
卒業学校番号	卒業年月	卒業年月	卒業年月	卒業年月

④4枚用紙で切離す旨を提出すること。

この写真は、受験者本人に相違ないことを証明する。  
年 月 日  
学校・養成施設長

貼る上の注意

1. 貼るべきは写真のサイズが正しいこと。写真のサイズが異なる場合は、写真のサイズを調整すること。
2. 写真のサイズが異なる場合は、写真のサイズを調整すること。
3. 写真のサイズが異なる場合は、写真のサイズを調整すること。
4. 写真のサイズが異なる場合は、写真のサイズを調整すること。
5. 写真のサイズが異なる場合は、写真のサイズを調整すること。
6. 写真のサイズが異なる場合は、写真のサイズを調整すること。

## 4. 理学療法士免許

卒業見込みで受験した場合、受験した年の3月31日までに卒業し、かつ理学療法士国家試験に合格して初めて理学療法士免許が交付されます。卒業できなかった場合、理学療法士国家試験に合格していても理学療法士免許は交付されません。

また、理学療法士及び作業療法士法第二章第四条において、「次の各号のいずれかに該当する者には、免許を与えないことがある」と定められていますので、注意してください。

- 一 罰金以上の刑に処せられた者
- 二 前号に該当する者を除くほか、理学療法士又は作業療法士の業務に関し犯罪又は不正の行為があった者
- 三 心身の障害により理学療法士又は作業療法士の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
- 四 麻薬、大麻又はあへんの中毒者



## 保健医療技術学部科目ナンバリング体系（理学療法学科）

### 11桁の英数字を使用

科目グループ + 配当年次 + 単位数 + 学科番号 + 科目特定番号

サンプル **UNIV102PT01**

①                      ②                      ③                      ④                      ⑤

①科目グループ：4つのアルファベット（下記の表）

②配当年次：1：1年次・2：2年次・3：3年次・4：4年次

※配当年次1・2・3・4の場合は1で表記（履修できる最小年次で表記）

③単位数：2桁で表示

④学科番号：PT：理学療法学科・OT：作業療法学科・CM：臨床検査学科・NS：看護学科

⑤科目特定番号：01～50までの番号は必修科目・51～99までの番号は選択科目

### 科目グループアルファベット対照表

理学療法学科

区分	区分あるいは科目グループ	科目グループ英語名称	
基本科目	大学特別科目	UNIV	University
	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	SCIE	Science
	学部共通留学関係科目	ABRO	Abroad
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	HUMA	Human
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	DISE	Disease
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	HEAL	Health
専門科目	基礎理学療法学	BAPH	Basic Physical Therapy
	理学療法管理学	MAPH	Management of Physical Therapy
	理学療法評価学	PHEV	Physical Therapy Evaluation
	理学療法治療学	PHIN	Physical Therapy Intervention
	地域理学療法学	PHCO	Physical Therapy in Community
	臨床実習	CLIN	Clinical Practice
	卒業研究	RESE	Research

保健医療技術学部 理学療法学科 ナンバリング表

授業科目の名称		単位数		科目グループ	配当年次	単位数	学科	科目の特定	ナンバリング		
		必修	選択								
基礎分野	大学特別科目	人間共生論	2		UNIV	1	02	PT	01	UNIV102PT01	
		データサイエンス入門	2		UNIV	1	02	PT	02	UNIV102PT02	
		新・文明の旅特講 a		2	UNIV	1	02	PT	51	UNIV102PT51	
		新・文明の旅特講 b		2	UNIV	1	02	PT	52	UNIV102PT52	
		新・文明の旅総合講義		2	UNIV	1	02	PT	53	UNIV102PT53	
		地球環境論 I		2	UNIV	1	02	PT	54	UNIV102PT54	
		地球環境論 II		2	UNIV	1	02	PT	55	UNIV102PT55	
	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	心理学概論	2		SCIE	1	02	PT	01	SCIE102PT01	
		物理学	2		SCIE	1	02	PT	02	SCIE102PT02	
		ヒューマンバイオロジー	2		SCIE	1	02	PT	03	SCIE102PT03	
		生命倫理	2		SCIE	3	02	PT	04	SCIE302PT04	
		統計学	2		SCIE	2	02	PT	05	SCIE202PT05	
		保健体育学		2	SCIE	1	02	PT	51	SCIE102PT51	
		保健体育実習		1	SCIE	1	01	PT	52	SCIE101PT52	
		医療経済学		1	SCIE	4	01	PT	53	SCIE401PT53	
		人間関係論	2		SCIE	1	02	PT	06	SCIE102PT06	
		人間関係論実習		1	SCIE	1	01	PT	54	SCIE101PT54	
		英語 I	1		SCIE	1	01	PT	07	SCIE101PT07	
		英語 II	1		SCIE	1	01	PT	08	SCIE101PT08	
		海外短期フィールドワーク I (北米)		2	SCIE	1	02	PT	55	SCIE102PT55	
		海外短期フィールドワーク II (アジア)		2	SCIE	3	02	PT	56	SCIE302PT56	
	情報科学	2		SCIE	1	02	PT	09	SCIE102PT09		
	スタディスキル	1		SCIE	1	01	PT	10	SCIE101PT10		
	学部共通留学期間関係科目	海外セメスター語学研修 A		1	ABRO	1	01	PT	62	ABRO101PT62	
		海外セメスター語学研修 B		2	ABRO	1	02	PT	63	ABRO102PT63	
		海外セメスター語学研修 C		4	ABRO	1	04	PT	64	ABRO104PT64	
		海外セメスター語学研修 D		5	ABRO	1	05	PT	65	ABRO105PT65	
		海外語学研修 A		2	ABRO	1	02	PT	66	ABRO102PT66	
		海外語学研修 B		2	ABRO	1	02	PT	67	ABRO102PT67	
		海外語学研修 C		2	ABRO	1	02	PT	68	ABRO102PT68	
	海外語学研修 D		2	ABRO	1	02	PT	69	ABRO102PT69		
	専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学 I	1		HUMA	1	01	PT	01	HUMA101PT01
			解剖学 II	1		HUMA	1	01	PT	02	HUMA101PT02
解剖学 III			1		HUMA	1	01	PT	03	HUMA101PT03	
解剖学 IV			1		HUMA	1	01	PT	04	HUMA101PT04	
解剖学 V			1		HUMA	1	01	PT	05	HUMA101PT05	
解剖学実習			1		HUMA	2	01	PT	06	HUMA201PT06	
生理学 I			1		HUMA	1	01	PT	07	HUMA101PT07	
生理学 II			1		HUMA	1	01	PT	08	HUMA101PT08	
生理学 III			1		HUMA	1	01	PT	09	HUMA101PT09	
生理学実習			1		HUMA	2	01	PT	10	HUMA201PT10	
運動学 I			1		HUMA	1	01	PT	11	HUMA101PT11	
運動学 II			1		HUMA	2	01	PT	12	HUMA201PT12	
運動学 III			1		HUMA	2	01	PT	13	HUMA201PT13	
人間発達学			1		HUMA	2	01	PT	14	HUMA201PT14	
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進		病理学	1		DISE	2	01	PT	01	DISE201PT01	
		リハビリテーション医学	1		DISE	2	01	PT	02	DISE201PT02	
		Basic Life Support	1		DISE	3	01	PT	03	DISE301PT03	
		臨床医学内科	1		DISE	2	01	PT	04	DISE201PT04	
		リハビリテーション内科	1		DISE	2	01	PT	05	DISE201PT05	
		臨床医学整形外科	1		DISE	2	01	PT	06	DISE201PT06	
		リハビリテーション整形外科	1		DISE	2	01	PT	07	DISE201PT07	
		臨床医学神経内科	1		DISE	2	01	PT	08	DISE201PT08	
		リハビリテーション神経内科	1		DISE	2	01	PT	09	DISE201PT09	
		臨床医学小児科	1		DISE	2	01	PT	10	DISE201PT10	
		臨床医学精神科	1		DISE	2	01	PT	11	DISE201PT11	
		臨床心理学	1		DISE	2	01	PT	12	DISE201PT12	
		薬理学	1		DISE	3	01	PT	13	DISE301PT13	
栄養学	1		DISE	2	01	PT	14	DISE201PT14			
リハビリテーションの理念	多職種連携論	1		HEAL	4	01	PT	01	HEAL401PT01		
	リハビリテーション概論	1		HEAL	1	01	PT	02	HEAL101PT02		
	感染・消毒	1		HEAL	2	01	PT	03	HEAL201PT03		
	公衆衛生学	1		HEAL	1	01	PT	04	HEAL101PT04		
	医療リスクマネジメント	1		HEAL	3	01	PT	05	HEAL301PT05		
	社会福祉概論		1	HEAL	2	01	PT	51	HEAL201PT51		

保健医療技術学部 理学療法学科 ナンバリング表

授業科目の名称		単位数		科目グループ	配当年次	単位数	学科	科目の特定	ナンバリング	
		必修	選択							
基礎理学療法学	理学療法学概論	1		BAPH	1	01	PT	01	BAPH101PT01	
	理学療法学概論演習	1		BAPH	1	01	PT	02	BAPH101PT02	
	Evidence Based Physical Therapy	1		BAPH	3	01	PT	03	BAPH301PT03	
	病態運動学	1		BAPH	2	01	PT	04	BAPH201PT04	
	運動解剖学	1		BAPH	1	01	PT	05	BAPH101PT05	
	身体適応科学	1		BAPH	3	01	PT	06	BAPH301PT06	
	理学療法ゼミナールⅠ	1		BAPH	1	01	PT	07	BAPH101PT07	
	理学療法ゼミナールⅡ	1		BAPH	2	01	PT	08	BAPH201PT08	
理学療法ゼミナールⅢ	1		BAPH	3	01	PT	09	BAPH301PT09		
理学療法管理學	理学療法管理学Ⅰ	1		MAPH	3	01	PT	01	MAPH301PT01	
	理学療法管理学Ⅱ	1		MAPH	4	01	PT	02	MAPH401PT02	
理学療法評価学	機能診断技術学Ⅰ	1		PHEV	1	01	PT	01	PHEV101PT01	
	機能診断技術学Ⅱ	1		PHEV	2	01	PT	02	PHEV201PT02	
	機能診断技術学Ⅲ	1		PHEV	2	01	PT	03	PHEV201PT03	
	機能診断技術学Ⅳ	1		PHEV	2	01	PT	04	PHEV201PT04	
	機能診断技術学Ⅴ	1		PHEV	3	01	PT	05	PHEV301PT05	
画像評価学	1		PHEV	3	01	PT	06	PHEV301PT06		
理学療法治療学	運動療法学総論	1		PHIN	1	01	PT	01	PHIN101PT01	
	運動療法学基礎実習	1		PHIN	1	01	PT	02	PHIN101PT02	
	運動器系理学療法学	1		PHIN	2	01	PT	03	PHIN201PT03	
	運動器系理学療法学実習	1		PHIN	3	01	PT	04	PHIN301PT04	
	中枢神経系理学療法学	1		PHIN	2	01	PT	05	PHIN201PT05	
	中枢神経系理学療法学実習	1		PHIN	3	01	PT	06	PHIN301PT06	
	呼吸器系理学療法学	1		PHIN	3	01	PT	07	PHIN301PT07	
	循環器系理学療法学	1		PHIN	3	01	PT	08	PHIN301PT08	
	呼吸器・循環器系理学療法学実習	1		PHIN	3	01	PT	09	PHIN301PT09	
	代謝系理学療法学	1		PHIN	3	01	PT	10	PHIN301PT10	
	代謝系理学療法学演習	1		PHIN	3	01	PT	11	PHIN301PT11	
	こどもの理学療法学	1		PHIN	3	01	PT	12	PHIN301PT12	
	物理療法学	1		PHIN	2	01	PT	13	PHIN201PT13	
	物理療法学実習	1		PHIN	3	01	PT	14	PHIN301PT14	
	義肢装具学	1		PHIN	3	01	PT	15	PHIN301PT15	
	義肢装具学実習	1		PHIN	3	01	PT	16	PHIN301PT16	
	日常生活活動学	1		PHIN	2	01	PT	17	PHIN201PT17	
	日常生活活動学実習	1		PHIN	2	01	PT	18	PHIN201PT18	
	理学療法インテグレーションⅠ	1		PHIN	3	01	PT	19	PHIN301PT19	
	理学療法インテグレーションⅡ	1		PHIN	4	01	PT	20	PHIN401PT20	
	テーピングスキル		1	PHIN	3	01	PT	51	PHIN301PT51	
	スリングセラピースキル		1	PHIN	3	01	PT	52	PHIN301PT52	
	インソールスキル		1	PHIN	3	01	PT	53	PHIN301PT53	
	スポーツ理学療法学	1		PHIN	3	01	PT	54	PHIN301PT54	
	口腔理学療法学		1	PHIN	4	01	PT	55	PHIN401PT55	
	臨床バイオメカニクス	1		PHIN	3	01	PT	21	PHIN301PT21	
	マニュアルセラピー		1	PHIN	4	01	PT	56	PHIN401PT56	
	ウーマンズヘルスケア		1	PHIN	4	01	PT	57	PHIN401PT57	
	予防理学療法学	1		PHIN	3	01	PT	22	PHIN301PT22	
	理学療法特論		1	PHIN	4	01	PT	58	PHIN401PT58	
	地域理学療法学	地域理学療法学	1		PHCO	3	01	PT	01	PHCO301PT01
		地域理学療法学演習	1		PHCO	3	01	PT	02	PHCO301PT02
バリアフリー		1		PHCO	3	01	PT	03	PHCO301PT03	
臨床実習	見学実習	2		CLIN	2	02	PT	01	CLIN202PT01	
	評価実習	5		CLIN	3	05	PT	02	CLIN305PT02	
	臨床実習アセスメントⅠ	1		CLIN	3	01	PT	03	CLIN301PT03	
	総合臨床実習	10		CLIN	4	10	PT	04	CLIN410PT04	
	臨床実習アセスメントⅡ	1		CLIN	4	01	PT	05	CLIN401PT05	
地域理学療法実習	1		CLIN	4	01	PT	06	CLIN401PT06		
卒業研究	卒業研究	4		RESE	4	04	PT	01	RESE404PT01	



● 2024 (令和6) 年度以降の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数	
				必修	選択	前期	後期
基 礎 分	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	人間共生論	講義	1	2		30
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2	30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30
		地球環境論 I	講義	1		2	30
		地球環境論 II	講義	1		2	30
		データサイエンス入門	講義	1	2		30
		心理学概論	講義	1	1		15
		物理学	講義	1	2		30
		ヒューマンバイオロジー	講義	1	2		30
		生命倫理	講義	3	1		15
		統計学	講義	2	2		30
		保健体育学演習 I	演習	1		1	15
		保健体育学演習 II	演習	1		1	15
		医療経済学	講義	4		1	15
		人間関係論	講義	1	1		15
		人間関係論演習	演習	1		1	15
		英語演習 I	演習	1	2		30
		英語演習 II	演習	1	2		30
		野	学部共通留学関係科目	海外semester語学研修 A	実習	1	
海外semester語学研修 B	実習			1		2	
海外semester語学研修 C	実習			1		4	
海外semester語学研修 D	実習			1		5	
海外語学研修 A	実習			1		2	
海外語学研修 B	実習			1		2	
海外語学研修 C	実習			1		2	
海外語学研修 D	実習			1		2	
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能及び心身の発達 及び回復過程の促進	解剖学 I	講義	1	1		30
		解剖学 II	講義	1	1		30
		解剖学 III	講義	1	1		30
		解剖学 IV	講義	1	1		30
		解剖学 V	講義	1	1		30
		解剖学実習	実習	2	1		30
		生理学 I	講義	1	1		30
		生理学 II	講義	1	1		30
		生理学 III	講義	1	1		30
		生理学実習	実習	2	1		30
		運動学 I	講義	1	1		30
		運動学 II	講義	2	1		30
		運動学 III	講義	2	1		15
		人間発達学	講義	2	1		15
野	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	病理学	講義	2	1		15
		リハビリテーション概論	講義	2	1		15
		Basic Life Support	演習	3	1		15
		臨床医学内科	講義	2	1		30
		リハビリテーション内科	講義	2	1		15
		臨床医学整形外科	講義	2	1		30
		リハビリテーション整形外科	講義	2	1		15
		臨床医学神経内科	講義	2	1		30
		リハビリテーション神経内科	講義	2	1		15
		臨床医学小児科	講義	2	1		15
		臨床医学精神科	講義	2	1		30
		臨床心理学	講義	2	1		15
		薬理学	講義	3	1		30
		栄養学	講義	2	1		15

● 2024 (令和6) 年度以降の入学者用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数	
				必修	選択	前期	後期
専門基礎分野	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	多職種連携論	講義	4	1		15
		リハビリテーション入門	講義	1	1		15
		公衆衛生学	講義	1	1		15
		医療リスクマネジメント	講義	3	1		15
		社会福祉概論	講義	2		1	15
専門分野	基礎理学療法学	理学療法学概論	講義	1	1		30
		理学療法学概論演習	演習	1	1		30
		Evidence Based Physical Therapy	講義	3	1		30
		臨床実習入門	演習	2	1		30
		運動解剖学	演習	1	1		30
		身体適応科学	講義	3	1		15
		理学療法ゼミナールⅠ	演習	1	1		15
		理学療法ゼミナールⅡ	演習	2	1		15
	理学療法ゼミナールⅢ	演習	3	1		15	
	理学療法管理学	理学療法管理学Ⅰ	講義	3	1		15
		理学療法管理学Ⅱ	講義	4	1		15
	理学療法評価学	機能診断技術学Ⅰ	実習	1	1		30
		機能診断技術学Ⅱ	実習	2	1		30
		機能診断技術学Ⅲ	実習	2	1		30
		機能診断技術学Ⅳ	実習	2	1		30
		機能診断技術学Ⅴ	演習	3	1		30
		画像評価学	講義	3	1		15
	理学療法学	運動療法学総論	講義	1	1		15
		運動療法学基礎実習	実習	1	1		30
		運動器系理学療法学Ⅰ	演習	2	1		30
		運動器系理学療法学Ⅱ	演習	3	1		30
		中枢神経系理学療法学Ⅰ	演習	2	1		30
		中枢神経系理学療法学Ⅱ	演習	3	1		30
		内部障害理学療法学Ⅰ	演習	3	1		30
		内部障害理学療法学Ⅱ	演習	3	1		30
		代謝系理学療法学演習	演習	4		1	15
		こどもの理学療法学	講義	3	1		15
		物理療法学Ⅰ	演習	2	1		30
		物理療法学Ⅱ	演習	3	1		30
		義肢装具学Ⅰ	演習	3	1		30
		義肢装具学Ⅱ	演習	3	1		30
		日常生活活動学Ⅰ	演習	2	1		30
		日常生活活動学Ⅱ	演習	2	1		30
理学療法インテグレーションⅠ		講義	3	1		30	
理学療法インテグレーションⅡ		講義	4	1		30	
テーピングスキル		演習	3		1	15	
スリングセラピースキル		演習	3		1	15	
インソールスキル		演習	3		1	15	
スポーツ理学療法学Ⅰ		演習	3		1	30	
スポーツ理学療法学Ⅱ		演習	4		1	15	
口腔理学療法学		講義	4		1	15	
臨床バイオメカニクス		講義	3	1		30	
マニュアルセラピー		演習	4		1	15	
ウーマンズヘルスケア		講義	4		1	15	
予防理学療法学		講義	3	1		15	
理学療法特論		講義	4		1	15	

● 2024（令和6）年度以降の入学者用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム（続き）

授 業 科 目 の 名 称			形 態	配 当 年 次	単 位 数		時 間 数	
					必 修	選 択	前 期	後 期
専 門 分 野	地 域 理 学 療 法 学	地域理学療法学	講義	3	1		30	
		地域理学療法学演習	演習	3	1			30
		バリアフリー	講義	3	1		15	
	臨 床 実 習	見学実習	実習	2	1		40	
		評価実習Ⅰ	実習	2	3			120
		評価実習Ⅱ	実習	3	5			120
		臨床実習アセスメントⅠ	実習	3	1			40
		総合臨床実習	実習	4	8		320	
		臨床実習アセスメントⅡ	実習	4	1		40	
		地域理学療法実習	実習	4	1		40	
	卒業研究	卒業研究	演習	4	4			120

履修の方法及び卒業の要件

1. 他学科・他学部の単位修得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a, b」は2年生、3年生も履修できる。

● 2023 (令和5) 年度以降の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数		
				必修	選択	前期	後期	
基 礎 分	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	人間共生論	講義	1	2		30	
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
		地球環境論 I	講義	1		2	30	
		地球環境論 II	講義	1		2		30
		データサイエンス入門	講義	1	2			30
		心理学概論	講義	1	2		30	
		物理学	講義	1	2		30	
		ヒューマンバイオロジー	講義	1	2		30	
		生命倫理	講義	3	2		30	
		統計学	講義	2	2			30
		保健体育学	講義	1		2	30	
		保健体育実習	実習	1		1		30
		医療経済学	講義	4		1		15
		人間関係論	講義	1	2		30	
		人間関係論実習	実習	1		1		30
		英語 I	演習	1	1		30	
		英語 II	演習	1	1			30
		野	学部共通留学関係	海外短期フィールドワーク I (北米)	実習	1・2・3・4		2
海外短期フィールドワーク II (アジア)	実習			3		2		30
情報科学	講義			1	2		30	
スタディスキル	演習			1	1		30	
海外セメスター語学研修 A	実習			2・3・4		1		
海外セメスター語学研修 B	実習			2・3・4		2		
海外セメスター語学研修 C	実習			2・3・4		4		
海外セメスター語学研修 D	実習			2・3・4		5		
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学 I	講義	1	1		30	
		解剖学 II	講義	1	1		30	
		解剖学 III	講義	1	1		30	
		解剖学 IV	講義	1	1			30
		解剖学 V	講義	1	1			30
		解剖学実習	実習	2	1			30
		生理学 I	講義	1	1		30	
		生理学 II	講義	1	1			30
		生理学 III	講義	1	1			30
		生理学実習	実習	2	1			30
	運動学 I	講義	1	1			30	
	運動学 II	講義	2	1		30		
	運動学 III	講義	2	1			15	
	人間発達学	講義	2	1		30		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	講義	2	1			30
		リハビリテーション医学	講義	2	1		30	
		Basic Life Support	演習	3	1			15
		臨床医学内科	講義	2	1		30	
		リハビリテーション内科	講義	2	1			15
		臨床医学整形外科	講義	2	1		30	
リハビリテーション整形外科		講義	2	1			15	
臨床医学神経内科		講義	2	1		30		
リハビリテーション神経内科		講義	2	1			15	
臨床医学小児科		講義	2	1		15		
臨床医学精神科	講義	2	1		30			
臨床心理学	講義	2	1			30		
薬理学	講義	3	1		30			
栄養学	講義	2	1			15		

● 2023 (令和5) 年度以降の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数	
				必修	選択	前期	後期
専門基礎分野	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	多職種連携論	講義	4	1		15
		リハビリテーション概論	講義	1	1		15
		感染・消毒	講義	2	1		15
		公衆衛生学	講義	1	1		30
		医療リスクマネジメント	講義	3	1		15
		社会福祉概論	講義	2		1	30
専門分野	基礎理学療法学	理学療法学概論	講義	1	1		30
		理学療法学概論演習	演習	1	1		30
		Evidence Based Physical Therapy	講義	3	1		30
		病態運動学	講義	2	1		30
		運動解剖学	講義	1	1		30
		身体適応科学	講義	3	1		15
		理学療法ゼミナールⅠ	演習	1	1		15
		理学療法ゼミナールⅡ	演習	2	1		15
		理学療法ゼミナールⅢ	演習	3	1		15
	理学療法管理学	理学療法管理学Ⅰ	講義	3	1		15
		理学療法管理学Ⅱ	講義	4	1		15
	理学療法評価学	機能診断技術学Ⅰ	実習	1	1		30
		機能診断技術学Ⅱ	実習	2	1		30
		機能診断技術学Ⅲ	実習	2	1		30
		機能診断技術学Ⅳ	実習	2	1		30
		機能診断技術学Ⅴ	実習	3	1		30
		画像評価学	講義	3	1		15
	理学療法学	運動療法学総論	講義	1	1		15
		運動療法学基礎実習	実習	1	1		30
		運動器系理学療法学	講義	2	1		30
		運動器系理学療法学実習	実習	3	1		30
		中枢神経系理学療法学	講義	2	1		30
		中枢神経系理学療法学実習	実習	3	1		30
		呼吸器系理学療法学	講義	3	1		15
		循環器系理学療法学	講義	3	1		30
		呼吸器・循環器系理学療法学実習	実習	3	1		30
		代謝系理学療法学	講義	3	1		15
		代謝系理学療法学演習	演習	3	1		15
		こどもの理学療法学	講義	3	1		15
		物理療法学	講義	2	1		30
		物理療法学実習	実習	3	1		30
		義肢装具学	講義	3	1		30
		義肢装具学実習	実習	3	1		30
日常生活活動学		講義	2	1		30	
日常生活活動学実習		実習	2	1		30	
理学療法インテグレーションⅠ		演習	3	1		30	
理学療法インテグレーションⅡ		演習	4	1		30	
テーピングスキル		演習	3		1	15	
スリングセラピースキル		演習	3		1	15	
インソールスキル		演習	3		1	15	
スポーツ理学療法学		講義	3		1	30	
口腔理学療法学		講義	4		1	15	
臨床バイオメカニクス		講義	3	1		30	
マニュアルセラピー		演習	4		1	15	
ウーマンズヘルスケア		講義	4		1	15	
予防理学療法学		講義	3	1		15	
理学療法特論		講義	4		1	15	

• 2023（令和5）年度以降の入学用 •

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム（続き）

授 業 科 目 の 名 称			形 態	配 当 年 次	単 位 数		時 間 数	
					必 修	選 択	前 期	後 期
専 門 分 野	地 域 理 学 療 法 学	地域理学療法学	講義	3	1		30	
		地域理学療法学演習	演習	3	1			30
		バリアフリー	講義	3	1		15	
	臨 床 実 習	見学実習	実習	2	2			80
		評価実習	実習	3	5			200
		臨床実習アセスメントⅠ	実習	3	1			40
		総合臨床実習	実習	4	10		400	
		臨床実習アセスメントⅡ	実習	4	1		40	
	地域理学療法実習	実習	4	1		40		
	卒業研究	卒業研究	演習	4	4			120

履修の方法及び卒業の要件

1. 他学科・他学部の単位修得の上限は、30 単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a, b」は2年生、3年生も履修できる。

● 2020 (令和2) 年度～2022 (令和4) 年度の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数			
				必修	選択	前期	後期		
基 礎 分	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	人間共生論	講義	1	2		30		
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30		
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2	30		
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30		
		地球環境論 I	講義	1		2	30		
		地球環境論 II	講義	1		2	30		
		心理学概論	講義	1	2		30		
		物理学	講義	1	2		30		
		ヒューマンバイオロジー	講義	1	2		30		
		生命倫理	講義	3	2		30		
		統計学	講義	2	2		30		
		保健体育学	講義	1		2	30		
		保健体育実習	実習	1		1	30		
		医療経済学	講義	4		1	15		
		人間関係論	講義	1	2		30		
		人間関係論実習	実習	1		1	30		
		英語 I	演習	1	1		30		
		英語 II	演習	1	1		30		
		野	学部共通留学関係	海外個人フィールドワーク (日本語) I a	実習	1・2・3・4		2	90
				海外個人フィールドワーク (日本語) I b	実習	1・2・3・4		2	90
海外セメスター語学研修 I	実習			1・2・3・4		4	180		
海外個人フィールドワーク (英語) I a	実習			1・2・3・4		2	90		
海外個人フィールドワーク (英語) I b	実習			1・2・3・4		2	90		
海外語学 (英語) 研修 I	実習			1・2・3・4		2	90		
海外語学 (英語) 研修 II	実習			1・2・3・4		2	90		
海外語学 (該当英語外) 研修 I	実習			1・2・3・4		2	90		
海外語学 (該当英語外) 研修 II	実習			1・2・3・4		2	90		
海外語学 (中国語) 研修 I	実習			1・2・3・4		2	90		
海外語学 (中国語) 研修 II	実習			1・2・3・4		2	90		
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能及び心身の発達			解剖学 I	講義	1	1		30
		解剖学 II	講義	1	1		30		
		解剖学 III	講義	1	1		30		
		解剖学 IV	講義	1	1		30		
		解剖学 V	講義	1	1		30		
		解剖学実習	実習	2	1		30		
		生理学 I	講義	1	1		30		
		生理学 II	講義	1	1		30		
		生理学 III	講義	1	1		30		
		生理学実習	実習	2	1		30		
		運動学 I	講義	1	1		30		
		運動学 II	講義	2	1		30		
		運動学 III	講義	2	1		15		
		人間発達学	講義	2	1		30		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	講義	2	1		30		
		リハビリテーション医学	講義	2	1		30		
		Basic Life Support	演習	3	1		15		
		臨床医学内科	講義	2	1		30		
	リハビリテーション内科	講義	2	1		15			

● 2020 (令和2) 年度～2022 (令和4) 年度の入学者用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数			
				必修	選択	前期	後期		
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床医学整形外科	講義	2	1		30		
		リハビリテーション整形外科	講義	2	1		15		
		臨床医学神経内科	講義	2	1		30		
		リハビリテーション神経内科	講義	2	1		15		
		臨床医学小児科	講義	2	1		15		
		臨床医学精神科	講義	2	1		30		
		臨床心理学	講義	2	1		30		
		薬理学	講義	3	1		30		
		栄養学	講義	2	1		15		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	多職種連携論	講義	4	1		15		
		リハビリテーション概論	講義	1	1		15		
		感染・消毒	講義	2	1		15		
		公衆衛生学	講義	1	1		30		
		医療リスクマネジメント	講義	3	1		15		
		社会福祉概論	講義	2		1	30		
		専門分野	基礎理学療法学	理学療法学概論	講義	1	1		30
				理学療法学概論演習	演習	1	1		30
Evidence Based Physical Therapy	講義			3	1		30		
病態運動学	講義			2	1		30		
運動解剖学	講義			1	1		30		
身体適応科学	講義			3	1		15		
理学療法ゼミナールⅠ	演習			1	1		15		
理学療法ゼミナールⅡ	演習			2	1		15		
理学療法ゼミナールⅢ	演習		3	1		15			
理学療法管理学	理学療法管理学Ⅰ		講義	3	1		15		
	理学療法管理学Ⅱ		講義	4	1		15		
理学療法評価学	機能診断技術学Ⅰ		実習	1	1		30		
	機能診断技術学Ⅱ		実習	2	1		30		
	機能診断技術学Ⅲ		実習	2	1		30		
	機能診断技術学Ⅳ		実習	2	1		30		
	機能診断技術学Ⅴ		実習	3	1		30		
	画像評価学		講義	3	1		15		
理学療法学	運動療法学総論	講義	1	1		15			
	運動療法学基礎実習	実習	1	1		30			
	運動器系理学療法学	講義	2	1		30			
	運動器系理学療法学実習	実習	3	1		30			
	中枢神経系理学療法学	講義	2	1		30			
	中枢神経系理学療法学実習	実習	3	1		30			
	呼吸器系理学療法学	講義	3	1		15			
	循環器系理学療法学	講義	3	1		30			
	呼吸器・循環器系理学療法学実習	実習	3	1		30			
	代謝系理学療法学	講義	3	1		15			
	代謝系理学療法学演習	演習	3	1		15			
	こどもの理学療法学	講義	3	1		15			
	物理療法学	講義	2	1		30			
	物理療法学実習	実習	3	1		30			
	義肢装具学	講義	3	1		30			
	義肢装具学実習	実習	3	1		30			
	日常生活活動学	講義	2	1		30			
日常生活活動学実習	実習	2	1		30				

理学療法学科

カリキュラム



• 2020 (令和2) 年度～2022 (令和4) 年度の入学用 •

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数	
				必修	選択	前期	後期
専門分野	理学療法治療学	理学療法インテグレーション I	演習	3	1		30
		理学療法インテグレーション II	演習	4	1		30
		テーピングスキル	演習	3		1	15
		スリングセラピースキル	演習	3		1	15
		インソールスキル	演習	3		1	15
		スポーツ理学療法学	講義	3		1	30
		口腔理学療法学	講義	4		1	15
		臨床バイオメカニクス	講義	3	1		30
		マニュアルセラピー	演習	4		1	15
		ウーマンズヘルスケア	講義	4		1	15
		予防理学療法学	講義	3	1		15
		理学療法特論	講義	4		1	15
	地域療法学	地域理学療法学	講義	3	1		30
		地域理学療法学演習	演習	3	1		30
		バリアフリー	講義	3	1		15
	臨床実習	見学実習	実習	2	2		80
		評価実習	実習	3	5		200
		臨床実習アセスメント I	実習	3	1		40
		総合臨床実習	実習	4	10		400
		臨床実習アセスメント II	実習	4	1		40
地域理学療法実習	実習	4	1		40		
卒業研究	卒業研究	演習	4	4		120	

履修の方法及び卒業の要件

1. 他学科・他学部の単位修得の上限は、30 単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a, b」は2年生、3年生も履修できる。

● 2014 (平成26) ~ 2019 (令和元) 年度の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム

授業科目の名称			形態	配当年次	単位数		時間数		
					必修	選択	前期	後期	
基 礎	科学的思考の 基盤・人間と生活	人間共生論	講義	1	2		30		
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30		
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30	
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30		
		地球環境論 I	講義	1		2	30		
		地球環境論 II	講義	1		2		30	
	分 野	学部共通 留学関係	心理学概論	講義	1	2		30	
			物理学	講義	1	2		30	
			化学	講義	1	2		30	
			生物学	講義	1	2		30	
			生命科学 (生命倫理)	講義	3	2		30	
			統計学	講義	2	2			30
			保健体育学	講義	1		2	30	
			保健体育実習	実習	1		1		30
			医療経済学	講義	4		1		15
			人間関係論	講義	1	2		30	
			人間関係論実習	実習	1		1		30
			英語 I	演習	1	1		30	
			英語 II	演習	1	1			30
			海外短期フィールドワーク I (北米)	実習	2・3・4		2		
海外短期フィールドワーク II (アジア)	実習	2・3・4		2					
情報科学	講義	1	2		30				
スタディスキル	演習	1	1		30				
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能及び心身の発達	海外個人フィールドワーク (日本語) I a	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク (日本語) I b	実習	2・3・4		2	90		
		海外セメスター語学研修 I	実習	2・3・4		4	180		
		海外個人フィールドワーク (日本語) II a	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク (日本語) II b	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク (英語) I a	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク (英語) I b	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク (英語) II a	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク (英語) II b	実習	2・3・4		2	90		
		海外セメスター語学研修 II	実習	2・3・4		4	180		
		海外語学 (英語) 研修 I	実習	2・3・4		2	90		
		海外語学 (英語) 研修 II	実習	2・3・4		2	90		
		海外語学 (該当英語外) 研修 I	実習	2・3・4		2	90		
		海外語学 (該当英語外) 研修 II	実習	2・3・4		2	90		
解剖学 I	講義	1	2		60				
解剖学 II	講義	1	1			30			
解剖学 III	講義	1	1		30				
解剖学 IV	講義	1	1			30			
解剖学実習	実習	2	1			30			
生理学 I A	講義	1	1		30				
生理学 I B	講義	1	1		30				
生理学 II	講義	1	1			30			
生理学実習	実習	2	1			30			
生化学	講義	1	1			30			
運動学 I	講義	1	1			30			
運動学 II	講義	2	1		30				
人間発達学	講義	2	1		30				

● 2014 (平成26) ~ 2019 (令和元) 年度の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数		
				必修	選択	前期	後期	
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	講義	2	1		30	
		リハビリテーション医学	講義	2	1	30		
		Basic Life Support I	演習	1	1		15	
		Basic Life Support II	演習	3	1		15	
		臨床医学内科 I	講義	2	1	30		
		臨床医学内科 II	講義	2	1		30	
		臨床医学整形外科 I	講義	2	1	30		
		臨床医学整形外科 II	講義	2	1	30		
		臨床医学神経内科 I	講義	2	1	30		
		臨床医学神経内科 II	講義	2	1		30	
		臨床医学小児科	講義	2	1	15		
		臨床医学精神科 I	講義	2	1	30		
		臨床心理学	講義	2	1		30	
		薬理学	講義	3	1	30		
	リハビリテーションの理念	保健医療福祉と	チーム医療論 I	講義	4	1	15	
			リハビリテーション概論	講義	1	1	15	
			感染・消毒	講義	2	1	15	
			栄養学	講義	2	1	30	
公衆衛生学			講義	1	1		30	
医療リスクマネジメント			講義	3	1		15	
		社会福祉概論	講義	2	1	30		
専門	基礎理学療法学	理学療法学概論	講義	1	1	30		
		理学療法学概論演習	演習	1	1		30	
		理学療法管理学	講義	4	1		15	
		Evidence Based Physical Therapy	講義	4	1		15	
		臨床運動学	講義	3	1	30		
		病態運動学	講義	2	1		30	
		運動解剖学	講義	1	1		30	
		筋機能学	講義	2	1	15		
			身体適応科学	講義	3	1	15	
	理学療法評価学	機能診断技術学 I	講義	1	1		30	
		機能診断技術学 II	講義	2	1	30		
		機能診断技術学実習 I	実習	2	1	30		
		機能診断技術学実習 II	実習	2	1		30	
		クリニカルアセスメント	講義	2	1		15	
		画像評価学	講義	3	1		15	
	理学療法治療学	運動療法学総論	講義	1	1	15		
		運動療法学基礎実習	実習	1	1		30	
		運動器系理学療法学	講義	2	1		30	
運動器系理学療法学実習		実習	3	1	30			
中枢神経系理学療法学		講義	2	1		30		
中枢神経系理学療法学実習		実習	3	1	30			
呼吸・循環・代謝系理学療法学		講義	3	1	30			
呼吸・循環・代謝系理学療法学実習		実習	3	1		30		
こどもの理学療法学		講義	3	1		15		
物理療法学		講義	2	1	30			
物理療法学実習		実習	2	1		30		
義肢装具学		講義	3	1	30			
義肢装具学実習		実習	3	1		30		

● 2014（平成26）～2019（令和元）年度の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム（続き）

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数	
				必修	選択	前期	後期
専門分野	理学療法治療学	日常生活活動学	講義	2	1		30
		日常生活活動学実習	実習	2	1		30
		理学療法インテグレーションⅠ	演習	3	1		30
		理学療法インテグレーションⅡ	演習	4	1		30
		テーピングスキル	演習	3		1	15
		スリングセラピースキル	演習	3		1	15
		インソールスキル	演習	3		1	15
		ワーキングヘルスケア	講義	4		1	15
		スポーツ理学療法学	講義	3		1	30
		口腔理学療法学	講義	4		1	15
		臨床バイオメカニクス	講義	3	1		30
		徒手治療技術演習	演習	4		1	15
		ウーマンズヘルスケア	講義	4		1	15
		高齢者リハビリテーション学	講義	4		1	15
		理学療法特論	講義	4		1	15
		理学療法ゼミナールⅠ	演習	1	1		15
		理学療法ゼミナールⅡ	演習	2	1		15
	理学療法ゼミナールⅢ	演習	3	1		15	
	理学療法ゼミナールⅣ	演習	4	1		7.5	7.5
		卒業研究	演習	4	4		
	地域理学療法学	地域理学療法学	講義	3	1		30
		地域理学療法学演習	演習	3	1		30
		Community Based Rehabilitation	講義	4	1		15
	臨床実習	バリアフリー	講義	3	1		15
		総合評価学実習Ⅰ	実習	2	2		90
		総合評価学実習Ⅱ	実習	3	4		180
		総合臨床実習Ⅰ	実習	4	6		270
		総合臨床実習Ⅱ	実習	4	6		270

履修の方法及び卒業の要件

1. 他学科・他学部の単位修得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活科目の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a, b」は2年生、3年生も履修できる。

表 2-1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
基 礎 分 野	科学的思考の基盤・ 人間と生活・ 社会の理解	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目(20単位)を含め、24単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論 I		2	
			地球環境論 II		2	
			データサイエンス入門	2		
			心理学概論	1		
			物理学	2		
			ヒューマンバイオロジー	2		
			生命倫理	1		
			統計学	2		
			保健体育学演習 I		1	
			保健体育学演習 II		1	
	医療経済学		1			
	人間関係論	1				
	人間関係論演習		1			
	英語演習 I	2				
	英語演習 II	2				
	海外短期フィールドワーク I (北米)		2			
海外短期フィールドワーク II (アジア)		2				
情報科学	2					
スタディスキル	1					
野	学部共通留学関係科目		海外 Semester 語学研修 A		1	
			海外 Semester 語学研修 B		2	
			海外 Semester 語学研修 C		4	
			海外 Semester 語学研修 D		5	
			海外語学研修 A		2	
			海外語学研修 B		2	
			海外語学研修 C		2	
			海外語学研修 D		2	
(小 計)	(14)		<b>20</b>	<b>38</b>		
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 及び心身の発達	12	解剖学 I	1		専門基礎分野において、必修科目を含め、32単位以上修得すること。
			解剖学 II	1		
			解剖学 III	1		
			解剖学 IV	1		
			解剖学 V	1		
			解剖学実習	1		
			生理学 I	1		
			生理学 II	1		
			生理学 III	1		
			生理学実習	1		
			運動学 I	1		
			運動学 II	1		
			運動学 III	1		
			人間発達学	1		

• 2024 (令和6) 年度以降の入学用 •

表 2-1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	14	病理学	1		
			リハビリテーション概論	1		
			Basic Life Support	1		
臨床医学内科			1			
リハビリテーション内科			1			
臨床医学整形外科			1			
リハビリテーション整形外科			1			
臨床医学神経内科			1			
リハビリテーション神経内科			1			
臨床医学小児科			1			
臨床医学精神科			1			
臨床心理学			1			
薬理学			1			
栄養学			1			
野	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	4	多職種連携論	1		
			リハビリテーション入門	1		
			公衆衛生学	1		
			医療リスクマネジメント	1		
			社会福祉概論		1	
(小 計)	(30)		<b>32</b>	<b>1</b>		
専 門 分 野	基礎理学療法学	6	理学療法学概論	1		専門分野において、必修科目を含めて、69単位以上修得すること。
			理学療法学概論演習	1		
			Evidence Based Physical Therapy	1		
			臨床実習入門	1		
			運動解剖学	1		
			身体適応科学	1		
			理学療法ゼミナールⅠ	1		
			理学療法ゼミナールⅡ	1		
			理学療法ゼミナールⅢ	1		
	理学療法管理学	2	理学療法管理学Ⅰ	1		
			理学療法管理学Ⅱ	1		
	理学療法評価学	6	機能診断技術学Ⅰ	1		
			機能診断技術学Ⅱ	1		
			機能診断技術学Ⅲ	1		
			機能診断技術学Ⅳ	1		
機能診断技術学Ⅴ			1			
画像評価学	1					

• 2024 (令和6) 年度以降の入学用 •

表 2-1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考	
				必 修	選 択		
専 門 分 野	理学療法治療学	20	運動療法学総論	1	1		
			運動療法学基礎実習	1			
			運動器系理学療法学Ⅰ	1			
			運動器系理学療法学Ⅱ	1			
			中枢神経系理学療法学Ⅰ	1			
			中枢神経系理学療法学Ⅱ	1			
			内部障害理学療法学Ⅰ	1			
			内部障害理学療法学Ⅱ	1			
			代謝系理学療法学演習				
			こどもの理学療法学	1			
			物理療法学Ⅰ	1			
			物理療法学Ⅱ	1			
			義肢装具学Ⅰ	1			
			義肢装具学Ⅱ	1			
			日常生活活動学Ⅰ	1			
			日常生活活動学Ⅱ	1			
			理学療法インテグレーションⅠ	1			
			理学療法インテグレーションⅡ	1			
			テーピングスキル				1
			スリングセラピースキル				1
	インソールスキル		1				
	スポーツ理学療法学Ⅰ		1				
	スポーツ理学療法学Ⅱ		1				
	口腔理学療法学		1				
	臨床バイオメカニクス	1					
	マニュアルセラピー		1				
	ウーマンズヘルスケア		1				
予防理学療法学	1						
理学療法特論		1					
地域理学療法学	3	地域理学療法学	1				
		地域理学療法学演習	1				
		バリアフリー	1				
臨床実習	20	見学実習	1				
		評価実習Ⅰ	3				
		評価実習Ⅱ	5				
		臨床実習アセスメントⅠ	1				
		総合臨床実習	8				
		臨床実習アセスメントⅡ	1				
地域理学療法実習	1						
卒業研究		卒業研究	4				
(小 計)	(57)		<b>63</b>	<b>10</b>			
合 計	101		<b>115</b>	<b>49</b>			

表 2-1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考	
				必 修	選 択		
基 礎	科学的思考の基盤・ 人間と生活・ 社会の理解	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目(21単位)を含め、23単位以上修得すること。	
			新・文明の旅特講 a		2		
新・文明の旅特講 b				2			
新・文明の旅総合講義				2			
地球環境論 I				2			
地球環境論 II				2			
データサイエンス入門			2				
心理学概論			2				
物理学			2				
ヒューマンバイオロジー			2				
生命倫理			2				
統計学			2				
保健体育学				2			
保健体育実習				1			
医療経済学		1					
人間関係論	2						
人間関係論実習		1					
分 野			英語 I	1			
			英語 II	1			
			海外短期フィールドワーク I (北米)		2		
			海外短期フィールドワーク II (アジア)		2		
			情報科学	2			
			スタディスキル	1			
野	学部共通留学関係科目		海外 Semester 語学研修 A		1		
			海外 Semester 語学研修 B		2		
			海外 Semester 語学研修 C		4		
			海外 Semester 語学研修 D		5		
			海外語学研修 A		2		
			海外語学研修 B		2		
			海外語学研修 C		2		
			海外語学研修 D		2		
			(小 計)	(14)		<b>21</b>	<b>39</b>
			専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 及び心身の発達	12	解剖学 I	1
解剖学 II	1						
解剖学 III	1						
解剖学 IV	1						
解剖学 V	1						
解剖学実習	1						
生理学 I	1						
生理学 II	1						
生理学 III	1						
生理学実習	1						
運動学 I	1						
運動学 II	1						
運動学 III	1						
人間発達学	1						



• 2023 (令和5) 年度以降の入学用 •

表 2-1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	14	病理学	1		
			リハビリテーション医学	1		
			Basic Life Support	1		
			臨床医学内科	1		
			リハビリテーション内科	1		
			臨床医学整形外科	1		
			リハビリテーション整形外科	1		
			臨床医学神経内科	1		
			リハビリテーション神経内科	1		
			臨床医学小児科	1		
			臨床医学精神科	1		
			臨床心理学	1		
			薬理学	1		
			栄養学	1		
専 門 分 野	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	4	多職種連携論	1		
			リハビリテーション概論	1		
			感染・消毒	1		
			公衆衛生学	1		
			医療リスクマネジメント 社会福祉概論	1	1	
(小 計)	(30)		<b>33</b>	<b>1</b>		
専 門 分 野	基礎理学療法学	6	理学療法学概論	1		専門分野において、必修科目を含め、71単位以上修得すること。
			理学療法学概論演習	1		
			Evidence Based Physical Therapy	1		
			病態運動学	1		
			運動解剖学	1		
			身体適応科学	1		
			理学療法ゼミナールⅠ	1		
			理学療法ゼミナールⅡ	1		
			理学療法ゼミナールⅢ	1		
			理学療法管理学	2	理学療法管理学Ⅰ	
	理学療法管理学Ⅱ	1				
	理学療法評価学	6	機能診断技術学Ⅰ	1		
			機能診断技術学Ⅱ	1		
			機能診断技術学Ⅲ	1		
機能診断技術学Ⅳ			1			
機能診断技術学Ⅴ 画像評価学			1			

• 2023（令和5）年度以降の入学者用 •

表 2-1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 分 野	理学療法治療学	20	運動療法学総論	1		
			運動療法学基礎実習	1		
			運動器系理学療法学	1		
			運動器系理学療法学実習	1		
			中枢神経系理学療法学	1		
			中枢神経系理学療法学実習	1		
			呼吸器系理学療法学	1		
			循環器系理学療法学	1		
			呼吸器・循環器系理学療法学実習	1		
			代謝系理学療法学	1		
			代謝系理学療法学演習	1		
			こどもの理学療法学	1		
			物理療法学	1		
			物理療法学実習	1		
			義肢装具学	1		
			義肢装具学実習	1		
			日常生活活動学	1		
			日常生活活動学実習	1		
			理学療法インテグレーションⅠ	1		
			理学療法インテグレーションⅡ	1		
	テーピングスキル		1			
	スリングセラピースキル		1			
	インソールスキル		1			
	スポーツ理学療法学		1			
	口腔理学療法学		1			
	臨床バイオメカニクス	1				
	マニュアルセラピー		1			
ウーマンズヘルスケア		1				
予防理学療法学	1					
理学療法特論		1				
地域理学療法学	3	地域理学療法学	1			
		地域理学療法学演習	1			
		バリアフリー	1			
臨床実習	20	見学実習	2			
		評価実習	5			
		臨床実習アセスメントⅠ	1			
		総合臨床実習	10			
		臨床実習アセスメントⅡ	1			
地域理学療法実習	1					
卒業研究		卒業研究	4			
(小 計)	(57)		<b>66</b>	<b>8</b>		
合 計	101		<b>120</b>	<b>48</b>		

表 2-1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
基 礎 分	科学的思考の基盤・ 人間と生活・ 社会の理解	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目(19単位)を含め、21単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論 I		2	
			地球環境論 II		2	
			心理学概論	2		
			物理学	2		
			ヒューマンバイオロジー	2		
			生命倫理	2		
			統計学	2		
			保健体育学		2	
			保健体育実習		1	
			医療経済学		1	
人間関係論	2					
人間関係論実習		1				
英語 I	1					
英語 II	1					
海外短期フィールドワーク I (北米)		2				
海外短期フィールドワーク II (アジア)		2				
情報科学	2					
スタディスキル	1					
野	学部共通留学関係科目	14	海外個人フィールドワーク (日本語) I a		2	
			海外個人フィールドワーク (日本語) I b		2	
			海外 Semester 語学研修 I		4	
			海外個人フィールドワーク (英語) I a		2	
			海外個人フィールドワーク (英語) I b		2	
			海外語学 (英語) 研修 I		2	
			海外語学 (英語) 研修 II		2	
			海外語学 (該当英語外) 研修 I		2	
			海外語学 (該当英語外) 研修 II		2	
			海外語学 (中国語) 研修 I		2	
海外語学 (中国語) 研修 II		2				
(小 計)	(14)		<b>19</b>	<b>43</b>		
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 及び心身の発達	12	解剖学 I	1		専門基礎分野において、必修科目を含め、33単位以上修得すること。
			解剖学 II	1		
			解剖学 III	1		
			解剖学 IV	1		
			解剖学 V	1		
			解剖学実習	1		
			生理学 I	1		
			生理学 II	1		
			生理学 III	1		
			生理学実習	1		
			運動学 I	1		
			運動学 II	1		
			運動学 III	1		
			人間発達学	1		

• 2020 (令和2) 年度～2022 (令和4) 年度の入学用 •

表 2-1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	14	病理学	1		
			リハビリテーション医学	1		
			Basic Life Support	1		
			臨床医学内科	1		
			リハビリテーション内科	1		
			臨床医学整形外科	1		
			リハビリテーション整形外科	1		
			臨床医学神経内科	1		
			リハビリテーション神経内科	1		
			臨床医学小児科	1		
			臨床医学精神科	1		
			臨床心理学	1		
			薬理学	1		
			栄養学	1		
専 門 分 野	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	4	多職種連携論	1		
			リハビリテーション概論	1		
			感染・消毒	1		
			公衆衛生学	1		
			医療リスクマネジメント 社会福祉概論	1	1	
(小 計)		(30)		<b>33</b>	<b>1</b>	
専 門 分 野	基礎理学療法学	6	理学療法学概論	1		専門分野において、必修科目を含め、71単位以上修得すること。
			理学療法学概論演習	1		
			Evidence Based Physical Therapy	1		
			病態運動学	1		
			運動解剖学	1		
			身体適応科学	1		
			理学療法ゼミナールⅠ	1		
			理学療法ゼミナールⅡ	1		
			理学療法ゼミナールⅢ	1		
			理学療法管理学	2	理学療法管理学Ⅰ	
	理学療法管理学Ⅱ	1				
	理学療法評価学	6	機能診断技術学Ⅰ	1		
			機能診断技術学Ⅱ	1		
			機能診断技術学Ⅲ	1		
機能診断技術学Ⅳ			1			
機能診断技術学Ⅴ 画像評価学			1			

• 2020（令和2）年度～2022（令和4）年度の入学者用 •

表 2-1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 分 野	理学療法治療学	20	運動療法学総論	1		
			運動療法学基礎実習	1		
			運動器系理学療法学	1		
			運動器系理学療法学実習	1		
			中枢神経系理学療法学	1		
			中枢神経系理学療法学実習	1		
			呼吸器系理学療法学	1		
			循環器系理学療法学	1		
			呼吸器・循環器系理学療法学実習	1		
			代謝系理学療法学	1		
			代謝系理学療法学演習	1		
			こどもの理学療法学	1		
			物理療法学	1		
			物理療法学実習	1		
			義肢装具学	1		
			義肢装具学実習	1		
			日常生活活動学	1		
			日常生活活動学実習	1		
			理学療法インテグレーションⅠ	1		
			理学療法インテグレーションⅡ	1		
	テーピングスキル		1			
	スリングセラピースキル		1			
	インソールスキル		1			
	スポーツ理学療法学		1			
	口腔理学療法学		1			
	臨床バイオメカニクス	1				
	マニュアルセラピー		1			
ウーマンズヘルスケア		1				
予防理学療法学	1					
理学療法特論		1				
地域理学療法学	3	地域理学療法学	1			
		地域理学療法学演習	1			
		バリアフリー	1			
臨床実習	20	見学実習	2			
		評価実習	5			
		臨床実習アセスメントⅠ	1			
		総合臨床実習	10			
		臨床実習アセスメントⅡ	1			
地域理学療法実習	1					
卒業研究		卒業研究	4			
(小 計)	(57)		<b>66</b>	<b>8</b>		
合 計	101		<b>118</b>	<b>52</b>		

表 2-1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
基 礎 分 野	科学的思考の基盤 人間と生活	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、21単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論 I		2	
			地球環境論 II		2	
			心理学概論	2		
			物理学	2		
			化学	2		
			生物学	2		
			生命科学 (生命倫理)	2		
			統計学	2		
			保健体育学		2	
			保健体育実習		1	
医療経済学		1				
人間関係論	2					
人間関係論実習		1				
基 礎 分 野	学部共通留学関係科目	14	英語 I	1		基礎分野において、必修科目を含め、21単位以上修得すること。
			英語 II	1		
			海外短期フィールドワーク I (北米)		2	
			海外短期フィールドワーク II (アジア)		2	
			情報科学	2		
			スタディスキル	1		
			海外個人フィールドワーク (日本語) I a		2	
			海外個人フィールドワーク (日本語) I b		2	
			海外 Semester 語学研修 I		4	
			海外個人フィールドワーク (日本語) II a		2	
			海外個人フィールドワーク (日本語) II b		2	
			海外個人フィールドワーク (英語) I a		2	
			海外個人フィールドワーク (英語) I b		2	
			海外個人フィールドワーク (英語) II a		2	
海外個人フィールドワーク (英語) II b		2				
海外 Semester 語学研修 II		4				
海外語学 (英語) 研修 I		2				
海外語学 (英語) 研修 II		2				
海外語学 (該当英語外) 研修 I		2				
海外語学 (該当英語外) 研修 II		2				
海外語学 (中国語) 研修 I		2				
海外語学 (中国語) 研修 II		2				
(小 計)	(14)		<b>21</b>	<b>55</b>		
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 及び心身の発達	12	解剖学 I	2		専門基礎分野において、必修科目を含め、34単位以上修得すること。
			解剖学 II	1		
			解剖学 III	1		
			解剖学 IV	1		
			解剖学実習	1		
			生理学 I A	1		
			生理学 I B	1		
			生理学 II	1		
			生理学実習	1		
			生化学	1		
			運動学 I	1		
			運動学 II	1		
			人間発達学	1		

• 2014（平成26）～2019（令和元）年度の入学者用 •

表 2-1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	12	病理学	1		
			リハビリテーション医学	1		
			Basic Life Support I	1		
			Basic Life Support II	1		
			臨床医学内科 I	1		
			臨床医学内科 II	1		
			臨床医学整形外科 I	1		
			臨床医学整形外科 II	1		
			臨床医学神経内科 I	1		
			臨床医学神経内科 II	1		
			臨床医学小児科	1		
			臨床医学精神科 I	1		
			臨床心理学	1		
	薬理学	1				
保健医療福祉と リハビリテーションの理念	2	チーム医療論 I	1			
		リハビリテーション概論	1			
		感染・消毒	1			
		栄養学	1			
		公衆衛生学	1			
		医療リスクマネジメント	1			
		1	1			
(小 計)	(26)		<b>34</b>	<b>1</b>		
専 門 分 野	基礎理学療法学	6	理学療法学概論	1	専門分野において、必修科目を含め、63単位以上修得すること。	
			理学療法学概論演習	1		
			理学療法管理学	1		
			Evidence Based Physical Therapy	1		
			臨床運動学	1		
			病態運動学	1		
			運動解剖学	1		
			筋機能学	1		
			身体適応科学	1		
	理学療法評価学	5	機能診断技術学 I	1		
			機能診断技術学 II	1		
			機能診断技術学実習 I	1		
			機能診断技術学実習 II	1		
			クリニカルアセスメント	1		
画像評価学	1	1				

● 2014 (平成26) ~ 2019 (令和元) 年度の入学者用 ●

表 2-1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 分 野	理学療法治療学	20	運動療法学総論	1		
			運動療法学基礎実習	1		
			運動器系理学療法学	1		
			運動器系理学療法学実習	1		
			中枢神経系理学療法学	1		
			中枢神経系理学療法学実習	1		
			呼吸・循環・代謝系理学療法学	1		
			呼吸・循環・代謝系理学療法学実習	1		
			こどもの理学療法学	1		
			物理療法学	1		
			物理療法学実習	1		
			義肢装具学	1		
			義肢装具学実習	1		
			日常生活活動学	1		
			日常生活活動学実習	1		
			理学療法インテグレーションⅠ	1		
			理学療法インテグレーションⅡ	1		
			テーピングスキル		1	
			スリングセラピースキル		1	
			インソールスキル		1	
ワーキングヘルスケア		1				
スポーツ理学療法学		1				
口腔理学療法学		1				
臨床バイオメカニクス	1					
徒手治療技術演習		1				
ウーマンズヘルスケア		1				
高齢者リハビリテーション学		1				
理学療法特論		1				
理学療法ゼミナールⅠ	1					
理学療法ゼミナールⅡ	1					
理学療法ゼミナールⅢ	1					
理学療法ゼミナールⅣ	1					
卒業研究		4				
地域理学療法学	4	地域理学療法学	1			
		地域理学療法学演習	1			
		Community Based Rehabilitation	1			
		バリアフリー	1			
臨床実習	18	総合評価学実習Ⅰ	2			
		総合評価学実習Ⅱ	4			
		総合臨床実習Ⅰ	6			
		総合臨床実習Ⅱ	6			
(小 計)	(53)		<b>63</b>	<b>10</b>		
合 計	93		<b>118</b>	<b>66</b>		



## 1. 卒業研究の目的

### 【一般目標】

4年間の教育課程の最終において理学療法の研究に必要な知識、技術、態度を修得することおよび、卒業後も将来にわたり、研究に興味を持ち、問題を追及する姿勢を獲得する基礎を修得することを目的とする。また発表能力や批判的に論文を読む能力などを得ることで自らの臨床人としての基礎を築く。

### 【行動目標】

1. 先行研究を正しく収集できる。
2. 研究計画立案ができる。
3. 実験を遂行し論理的分析ができる。
4. 形式に基づいた論文を作成できる。
5. 形式に基づいた発表が出来る。

## 2. 卒業研究の内容

研究の内容は、教員の指導に基づき興味・関心がある研究テーマを選別し、最終的には論文を提出する。具体的には、研究テーマの決定、研究計画の立案、研究実施、論文作成、口頭発表を行うことである。

## 3. 卒業研究の指導方法

卒業研究の指導は原則として、ゼミナール形式で行う。ゼミナールには、教員2名につき学生10名程度を配属する。学生は担当教員の指導に基づき研究を進める。

## 4. 配当年次と単位数

4年次の必修科目であり4単位である。

## 5. スケジュール

4年次の4月より準備を始め、11月に論文を提出し、卒業研究発表会で発表する。

## 6. 成績判定

成績については行動目標に基づき、1から5について学科教員全員で判定する。ただし、研究の経過を考え、行動目標の1および3については担当教員の判定とする。作成された論文と、発表における判定は学科教員全員で判定し集計して決定する。1～3を評価の50%、4～5を50%とする。



## V 作業療法学科

---

「作業療法士国家試験受験資格」について

カリキュラムマップ

ナンバリング

カリキュラム

国家試験受験資格の授業科目履修方法

卒業研究要綱



# V 作業療法学科

## 作業療法学科で取得可能な「作業療法士国家試験受験資格」について

### 1. 作業療法士とは

作業療法とは「理学療法士及び作業療法士法」において、次のように定義されています。

この法律で「作業療法」とは、身体又は精神に障害のある者に対し、主としてその応用的動作能力又は社会的適応能力の回復を図るため、手芸、工作その他の作業を行なわせることをいう。

また、作業療法士とは同法にて、次のように定義されています。

この法律で「作業療法士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、作業療法士の名称を用いて、医師の指示の下に、作業療法を行うことを業とする者をいう。

従って、「作業療法士」として働くためには、厚生労働大臣の免許が必要であり、これには作業療法士国家試験受験資格を取得し、作業療法士国家試験を受験して合格しなければなりません。

### 2. 作業療法士国家試験受験資格の取得要件

文部科学大臣が指定した学校又は厚生労働大臣が指定した作業療法士養成施設において、3年以上作業療法士として必要な知識及び技能を修得した者に作業療法士国家試験受験資格が与えられます。

従って、作業療法学科学生は作業療法士の受験資格に必要な履修単位を修得し、4年次に卒業見込みとなれば、受験資格を満たし、国家試験を受験することができます。

### 3. 作業療法士国家試験とは

作業療法士として必要な知識及び技能について行われる国家試験です。例年、2月下旬から3月初旬頃に試験があり、3月末に合格発表が行われています。試験の概要は以下の通りです。

#### 1) 筆記試験

一般問題及び実地問題に区分して次の科目について行う。

##### 一般問題

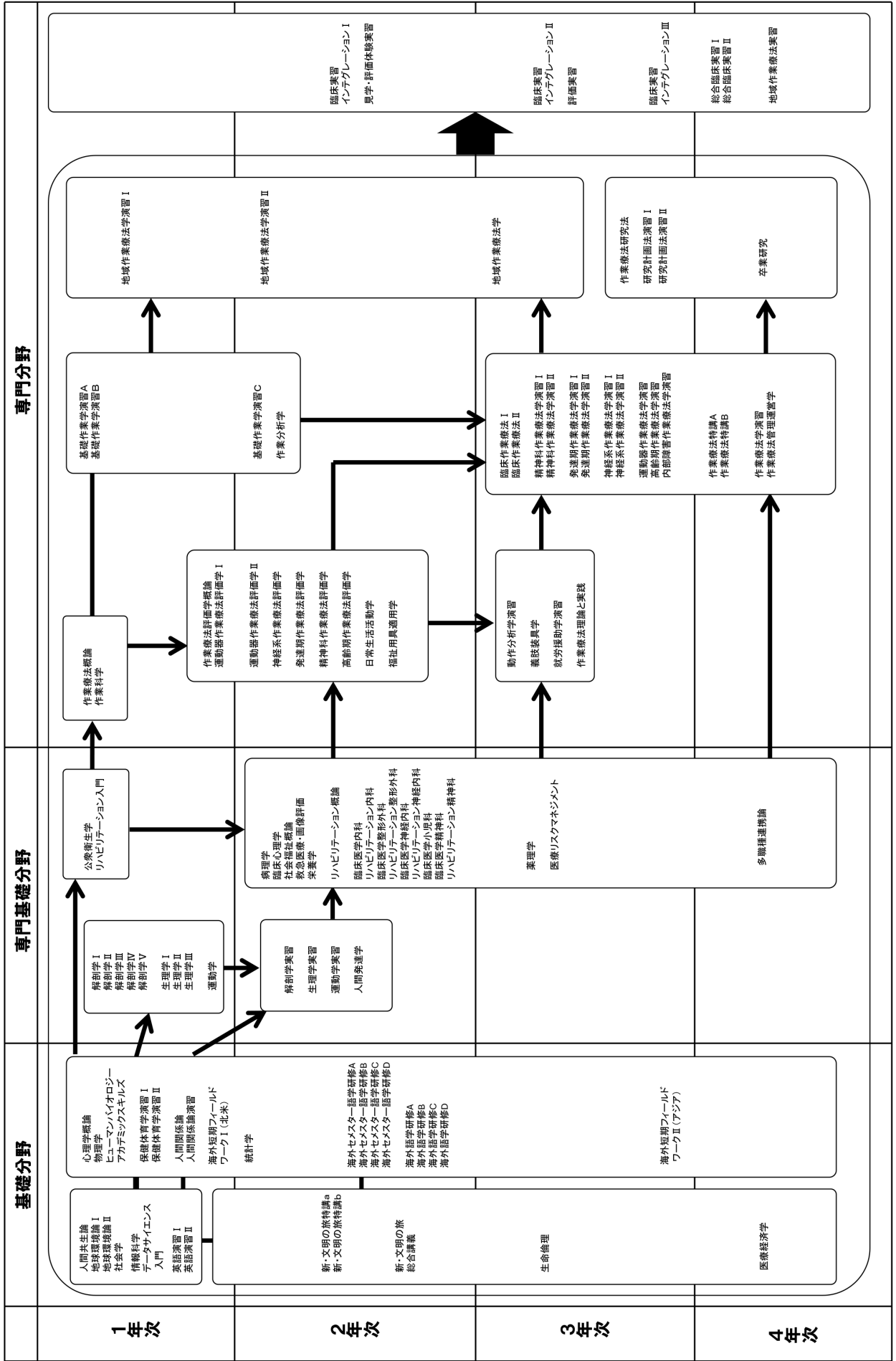
解剖学、生理学、運動学、病理学概論、臨床心理学、リハビリテーション医学（リハビリテーション概論を含む。）、臨床医学大要（人間発達学を含む。）及び作業療法

##### 実地問題

運動学、臨床心理学、リハビリテーション医学、臨床医学大要（人間発達学を含む。）及び作業療法



# 文京学院大学 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラムマップ



## 保健医療技術学部科目ナンバリング体系（作業療法学科）

### 11桁の英数字を使用

科目グループ + 配当年次 + 単位数 + 学科番号 + 科目特定番号

サンプル **UNIV1020T01**

①
②
③
④
⑤

①科目グループ：4つのアルファベット（下記の表）

②配当年次：1：1年次・2：2年次・3：3年次・4：4年次

※配当年次1・2・3・4の場合は1で表記（履修できる最小年次で表記）

③単位数：2桁で表示

④学科番号：PT：理学療法学科・OT：作業療法学科・CM：臨床検査学科・NS：看護学科

⑤科目特定番号：01～50までの番号は必修科目・51～99までの番号は選択科目

### 科目グループアルファベット対照表

作業療法学科

区分	区分あるいは科目グループ	科目グループ英語名称	
基本科目	大学特別科目	UNIV	University
	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	SCIE	Science
	学部共通留学関係科目	ABRO	Abroad
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	HUMA	Human
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	DISE	Disease
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	HEAL	Health
専門科目	基礎作業療法学	BAOC	Basic Occupational Therapy
	作業療法管理学	MAOC	Management of Occupational Therapy
	作業療法評価学	OCEV	Occupational Therapy Evaluation
	作業療法治療学	OCIN	Occupational Therapy Intervention
	地域作業療法学	OCCO	Occupational Therapy in Community
	臨床実習	CLIN	Clinical Practice
	作業療法研究	RESE	Research



保健医療技術学部 作業療法学科 ナンバリング表

		授業科目の名称	単位数		科目グループ	配当年次	単位数	学科	科目の特定	ナンバリング
			必修	選択						
基礎分野	大学特別科目	人間共生論	2		UNIV	1	02	OT	01	UNIV1020T01
		データサイエンス入門	2		UNIV	1	02	OT	02	UNIV1020T02
		新・文明の旅特講 a		2	UNIV	1	02	OT	51	UNIV1020T51
		新・文明の旅特講 b		2	UNIV	1	02	OT	52	UNIV1020T52
		新・文明の旅総合講義		2	UNIV	1	02	OT	53	UNIV1020T53
		地球環境論 I		2	UNIV	1	02	OT	54	UNIV1020T54
		地球環境論 II		2	UNIV	1	02	OT	55	UNIV1020T55
	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	心理学概論	2		SCIE	1	02	OT	01	SCIE1020T01
		物理学	1		SCIE	1	01	OT	02	SCIE1010T02
		ヒューマンバイオロジー	2		SCIE	1	02	OT	03	SCIE1020T03
		生命倫理	2		SCIE	3	02	OT	04	SCIE3020T04
		統計学	2		SCIE	2	02	OT	05	SCIE2020T05
		保健体育学		2	SCIE	1	02	OT	51	SCIE1020T51
		保健体育実習		1	SCIE	1	01	OT	52	SCIE1010T52
		医療経済学		1	SCIE	4	01	OT	53	SCIE4010T53
		人間関係論	2		SCIE	1	02	OT	06	SCIE1020T06
		人間関係論実習		1	SCIE	1	01	OT	54	SCIE1010T54
		英語 I	1		SCIE	1	01	OT	07	SCIE1010T07
		英語 II	1		SCIE	1	01	OT	08	SCIE1010T08
		海外短期フィールドワーク I (北米)		2	SCIE	1	02	OT	55	SCIE1020T55
		海外短期フィールドワーク II (アジア)		2	SCIE	3	02	OT	56	SCIE3020T56
	情報科学	2		SCIE	1	02	OT	09	SCIE1020T09	
	社会学		2	SCIE	1	02	OT	57	SCIE1020T57	
	アカデミックスキルズ	1		SCIE	1	01	OT	10	SCIE1010T10	
	学部共通留学関係科目	海外セメスター語学研修 A		1	ABRO	1	01	OT	62	ABRO1010T62
		海外セメスター語学研修 B		2	ABRO	1	02	OT	63	ABRO1020T63
		海外セメスター語学研修 C		4	ABRO	1	04	OT	64	ABRO1040T64
		海外セメスター語学研修 D		5	ABRO	1	05	OT	65	ABRO1050T65
		海外語学研修 A		2	ABRO	1	02	OT	66	ABRO1020T66
		海外語学研修 B		2	ABRO	1	02	OT	67	ABRO1020T67
		海外語学研修 C		2	ABRO	1	02	OT	68	ABRO1020T68
		海外語学研修 D		2	ABRO	1	02	OT	69	ABRO1020T69
	専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学 I	1		HUMA	1	01	OT	01
解剖学 II			1		HUMA	1	01	OT	02	HUMA1010T02
解剖学 III			1		HUMA	1	01	OT	03	HUMA1010T03
解剖学 IV			1		HUMA	1	01	OT	04	HUMA1010T04
解剖学 V			1		HUMA	1	01	OT	05	HUMA1010T05
解剖学実習			1		HUMA	2	01	OT	06	HUMA2010T06
生理学 I			1		HUMA	1	01	OT	07	HUMA1010T07
生理学 II			1		HUMA	1	01	OT	08	HUMA1010T08
生理学 III			1		HUMA	1	01	OT	09	HUMA1010T09
生理学実習			1		HUMA	2	01	OT	10	HUMA2010T10
運動学			2		HUMA	1	02	OT	11	HUMA1020T11
人間発達学			1		HUMA	2	01	OT	12	HUMA2010T12
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進			運動学実習	1		DISE	2	01	OT	01
		病理学	1		DISE	2	01	OT	02	DISE2010T02
		リハビリテーション医学	1		DISE	2	01	OT	03	DISE2010T03
		臨床医学内科	1		DISE	2	01	OT	04	DISE2010T04
		リハビリテーション内科	1		DISE	2	01	OT	05	DISE2010T05
		臨床医学整形外科	1		DISE	2	01	OT	06	DISE2010T06
		リハビリテーション整形外科	1		DISE	2	01	OT	07	DISE2010T07
		臨床医学神経内科	1		DISE	2	01	OT	08	DISE2010T08
		リハビリテーション神経内科	1		DISE	2	01	OT	09	DISE2010T09
		臨床医学小児科	1		DISE	2	01	OT	10	DISE2010T10
		臨床医学精神科	1		DISE	2	01	OT	11	DISE2010T11
		リハビリテーション精神科	1		DISE	2	01	OT	12	DISE2010T12
		臨床心理学	1		DISE	2	01	OT	13	DISE2010T13
		薬理学	1		DISE	3	01	OT	14	DISE3010T14
救急医療・画像評価		1		DISE	2	01	OT	15	DISE2010T15	
栄養学	1		DISE	2	01	OT	16	DISE2010T16		
リハビリテーションの理念	多職種連携論	1		HEAL	4	01	OT	01	HEAL4010T01	
	リハビリテーション概論	1		HEAL	1	01	OT	02	HEAL1010T02	
	公衆衛生学	1		HEAL	1	01	OT	03	HEAL1010T03	
	社会福祉概論	1		HEAL	2	01	OT	04	HEAL2010T04	
	医療リスクマネジメント	1		HEAL	3	01	OT	05	HEAL3010T05	

保健医療技術学部 作業療法学科 ナンバリング表

授業科目の名称		単位数		科目グループ	配当年次	単位数	学科	科目の特定	ナンバリング
		必修	選択						
基礎作業療法学	作業療法概論	1		BAOC	1	01	OT	01	BAOC1010T01
	作業科学	1		BAOC	1	01	OT	02	BAOC1010T02
	基礎作業学演習 A	1		BAOC	1	01	OT	03	BAOC1010T03
	基礎作業学演習 B	1		BAOC	1	01	OT	04	BAOC1010T04
	基礎作業学演習 C		1	BAOC	2	01	OT	51	BAOC2010T51
作業分析学	1		BAOC	2	01	OT	05	BAOC2010T05	
作業療法管理運営学	2		MAOC	4	02	OT	01	MAOC4020T01	
作業療法評価学	作業療法評価学概論	1		OCEV	1	01	OT	01	OCEV1010T01
	運動器作業療法評価学 I	1		OCEV	1	01	OT	02	OCEV1010T02
	運動器作業療法評価学 II	1		OCEV	2	01	OT	03	OCEV2010T03
	神経系作業療法評価学	1		OCEV	2	01	OT	04	OCEV2010T04
	発達期作業療法評価学	1		OCEV	2	01	OT	05	OCEV2010T05
	精神科作業療法評価学	1		OCEV	2	01	OT	06	OCEV2010T06
	高齢期作業療法評価学	1		OCEV	2	01	OT	07	OCEV2010T07
	動作分析学演習		2	OCEV	3	02	OT	51	OCEV3020T51
作業療法治療学	作業療法理論と実践	1		OCIN	3	01	OT	01	OCIN3010T01
	福祉用具適学	1		OCIN	2	01	OT	02	OCIN2010T02
	日常生活活動学	1		OCIN	2	01	OT	03	OCIN2010T03
	臨床作業療法 I	2		OCIN	3	02	OT	04	OCIN3020T04
	運動器作業療法学演習	1		OCIN	3	01	OT	05	OCIN3010T05
	精神科作業療法学演習 I	1		OCIN	3	01	OT	06	OCIN3010T06
	精神科作業療法学演習 II	1		OCIN	3	01	OT	07	OCIN3010T07
	発達期作業療法学演習 I	1		OCIN	3	01	OT	08	OCIN3010T08
	発達期作業療法学演習 II	1		OCIN	3	01	OT	09	OCIN3010T09
	神経系作業療法学演習 I	1		OCIN	3	01	OT	10	OCIN3010T10
	神経系作業療法学演習 II	1		OCIN	3	01	OT	11	OCIN3010T11
	高齢期作業療法学演習	1		OCIN	3	01	OT	12	OCIN3010T12
	内部障害作業療法学演習	1		OCIN	3	01	OT	13	OCIN3010T13
	義肢装具学	1		OCIN	3	01	OT	14	OCIN3010T14
	就労援助学演習	1		OCIN	3	01	OT	15	OCIN3010T15
	臨床作業療法 II	2		OCIN	3	02	OT	16	OCIN3020T16
	作業療法特講 A		1	OCIN	4	01	OT	51	OCIN4010T51
	作業療法特講 B		1	OCIN	4	01	OT	52	OCIN4010T52
	作業療法特講 C		1	OCIN	4	01	OT	53	OCIN4010T53
	作業療法特講 D		1	OCIN	4	01	OT	54	OCIN4010T54
作業療法学演習		1	OCIN	4	01	OT	55	OCIN4010T55	
臨床実習インテグレーション I	1		OCIN	2	01	OT	17	OCIN2010T17	
臨床実習インテグレーション II	1		OCIN	3	01	OT	18	OCIN3010T18	
臨床実習インテグレーション III	1		OCIN	3	01	OT	19	OCIN3010T19	
地域作業療法学	地域作業療法学演習 I	1		OCCO	1	01	OT	01	OCCO1010T01
	地域作業療法学演習 II	1		OCCO	2	01	OT	02	OCCO2010T02
	地域作業療法学	2		OCCO	3	02	OT	03	OCCO3020T03
臨床実習	臨床基礎実習 I	4		CLIN	2	04	OT	01	CLIN2040T01
	臨床基礎実習 II	4		CLIN	3	04	OT	02	CLIN3040T02
	総合臨床実習 I	7		CLIN	4	07	OT	03	CLIN4070T03
	総合臨床実習 II	7		CLIN	4	07	OT	04	CLIN4070T04
	地域作業療法実習	1		CLIN	4	01	OT	05	CLIN4010T05
作業療法研究法	作業療法研究法	1		RESE	3	01	OT	01	RESE3010T01
	研究計画法演習 I	1		RESE	3	01	OT	02	RESE3010T02
	研究計画法演習 II	1		RESE	3	01	OT	03	RESE3010T03
	卒業研究	2		RESE	4	02	OT	04	RESE4020T04

作業療法学科

ナンバリング

● 2024 (令和6) 年度以降の入学者用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数		
				必修	選択	前期	後期	
基 礎 分	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	人間共生論	講義	1	2		30	
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
		地球環境論 I	講義	1		2	30	
		地球環境論 II	講義	1		2		30
		データサイエンス入門	講義	1	2			30
		心理学概論	講義	1	1		15	
		物理学	講義	1	1		15	
		ヒューマンバイオロジー	講義	1	2		30	
		生命倫理	講義	3	1		15	
		統計学	講義	2	2			30
		保健体育学演習 I	演習	1		1	15	
		保健体育学演習 II	演習	1		1		15
		医療経済学	講義	4		1		15
		人間関係論	講義	1	1		15	
		人間関係論演習	演習	1		1		15
		英語演習 I	演習	1	2		30	
		英語演習 II	演習	1	2			30
		野	学部共通留学関係科目	海外短期フィールドワーク I (北米)	実習	1・2・3・4		2
海外短期フィールドワーク II (アジア)	実習			3		2		30
情報科学	講義			1	2		30	
社会学	講義			1		2		30
アカデミックスキルズ	講義			1	1		30	
海外セメスター語学研修 A	実習			1・2・3・4		1		
海外セメスター語学研修 B	実習			1・2・3・4		2		
海外セメスター語学研修 C	実習			1・2・3・4		4		
海外セメスター語学研修 D	実習	1・2・3・4		5				
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学 I	講義	1	1		30	
		解剖学 II	講義	1	1		30	
		解剖学 III	講義	1	1		30	
		解剖学 IV	講義	1	1			30
		解剖学 V	講義	1	1			30
		解剖学実習	実習	2	1			30
		生理学 I	講義	1	1		30	
		生理学 II	講義	1	1			30
		生理学 III	講義	1	1			30
		生理学実習	実習	2	1			30
	運動学	講義	1	2			60	
	人間発達学	講義	2	1		15		
	及び回復過程の成り立ち	運動学実習	実習	2	1		30	
		病理学	講義	2	1		15	
リハビリテーション概論		講義	2	1		15		
臨床医学内科		講義	2	1		30		
	リハビリテーション内科	講義	2	1			15	
	臨床医学整形外科	講義	2	1		30		

● 2024 (令和6) 年度以降の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数		
				必修	選択	前期	後期	
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	リハビリテーション整形外科	講義	2	1		15	
		臨床医学神経内科	講義	2	1	30		
		リハビリテーション神経内科	講義	2	1		15	
		臨床医学小児科	講義	2	1	15		
		臨床医学精神科	講義	2	1	30		
		リハビリテーション精神科	講義	2	1		15	
		臨床心理学	講義	2	1		15	
		薬理学	講義	3	1		30	
		救急医療・画像評価	講義	2	1		15	
		栄養学	講義	2	1		15	
	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	リハビリテーション入門	講義	1	1		15	
		公衆衛生学	講義	1	1		15	
		社会福祉概論	講義	2	1		15	
		医療リスクマネジメント	講義	3	1		15	
		多職種連携論	講義	4	1		15	
	専 門 分 野	基礎作業療法学	作業療法概論	講義	1	1	30	
			作業科学	講義	1	1		30
			基礎作業学演習A	演習	1	1	30	
			基礎作業学演習B	演習	1	1		30
基礎作業学演習C			演習	2		1	30	
作業分析学			講義	2	1		30	
作業療法管理運営学		講義	4	2		30		
作業療法評価学		作業療法評価学概論	講義	1	1		30	
		運動器作業療法評価学 I	講義	1	1		15	
		運動器作業療法評価学 II	演習	2	1	30		
		神経系作業療法評価学	講義	2	1		30	
		発達期作業療法評価学	講義	2	1	30		
		精神科作業療法評価学	講義	2	1		30	
		高齢期作業療法評価学	講義	2	1	30		
		動作分析学演習	演習	3		2	30	
作 業 分 野		作 業 治 療 学	作業療法理論と実践	講義	3	1		30
			福祉用具適用品学	講義	2	1	30	
			日常生活活動学	講義	2	1	30	
			臨床作業療法 I	演習	3	2	60	
	運動器作業療法学演習		演習	3	1	30		
	精神科作業療法学演習 I		演習	3	1	30		
	精神科作業療法学演習 II		演習	3	1		30	
	発達期作業療法学演習 I		演習	3	1	30		
	発達期作業療法学演習 II		演習	3	1		30	
	神経系作業療法学演習 I		演習	3	1	30		
	神経系作業療法学演習 II		演習	3	1		30	
	高齢期作業療法学演習		演習	3	1	30		
	内部障害作業療法学演習		演習	3	1		15	
義肢装具学	講義	3	1		30			
就労援助学演習	演習	3	1	30				
臨床作業療法 II	演習	3	2		45			
作業療法特講 A	講義	4		1	15			
作業療法特講 B	講義	4		1	15			
作業療法学演習	演習	4		1	30			
臨床実習インテグレーション I	演習	2	1		15			
臨床実習インテグレーション II	演習	3	1		15			
臨床実習インテグレーション III	演習	3	1		15			

• 2024 (令和6) 年度以降の入学者用 •

表 1-1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム (続き)

授 業 科 目 の 名 称			形 態	配 当 年 次	単 位 数		時 間 数	
					必 修	選 択	前 期	後 期
専 門 分 野	地 域 作 業 療 法 学	地域作業療法学演習 I	演習	1	1			30
		地域作業療法学演習 II	演習	2	1			30
		地域作業療法学	講義	3	2		30	
	臨 床 実 習	見学・評価体験実習	実習	2	4			160
		評価実習	実習	3	5			200
		総合臨床実習 I	実習	4	8		320	
		総合臨床実習 II	実習	4	7		280	
	作 業 療 法 研 究	地域作業療法実習	実習	4	1			40
		作業療法研究法	講義	3	1		15	
		研究計画法演習 I	演習	3	1		30	
		研究計画法演習 II	演習	3	1			30
		卒業研究	演習	4	2			60

1. 他学科・他学部の単位修得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a, b」は2年生、3年生も履修できる。

● 2023 (令和5) 年度以降の入学者用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数		
				必修	選択	前期	後期	
基 礎 分	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	人間共生論	講義	1	2		30	
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
		地球環境論 I	講義	1		2	30	
		地球環境論 II	講義	1		2		30
		データサイエンス入門	講義	1	2			30
		心理学概論	講義	1	2		30	
		物理学	講義	1	1		15	
		ヒューマンバイオロジー	講義	1	2		30	
		生命倫理	講義	3	2		30	
		統計学	講義	2	2			30
		保健体育学	講義	1		2	30	
		保健体育実習	実習	1		1		30
		医療経済学	講義	4		1		15
		人間関係論	講義	1	2		30	
		人間関係論実習	実習	1		1		30
		英語 I	演習	1	1		30	
		英語 II	演習	1	1			30
		野	学部共通留学関係	海外短期フィールドワーク I (北米)	実習	1・2・3・4		2
海外短期フィールドワーク II (アジア)	実習			3		2		30
情報科学	講義			1	2		30	
社会学	講義			1		2		30
アカデミックスキルズ	講義			1	1		30	
海外セメスター語学研修 A	実習			2・3・4		1		
海外セメスター語学研修 B	実習			2・3・4		2		
海外セメスター語学研修 C	実習			2・3・4		4		
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能及び心身の発達 及び回復過程の成り立ち	海外セメスター語学研修 D	実習	2・3・4		5		
		海外語学研修 A	実習	2・3・4		2		
		海外語学研修 B	実習	2・3・4		2		
		海外語学研修 C	実習	2・3・4		2		
		海外語学研修 D	実習	2・3・4		2		
		解剖学 I	講義	1	1		30	
		解剖学 II	講義	1	1		30	
		解剖学 III	講義	1	1		30	
		解剖学 IV	講義	1	1			30
		解剖学 V	講義	1	1			30
		解剖学実習	実習	2	1			30
		生理学 I	講義	1	1		30	
生理学 II	講義	1	1			30		
生理学 III	講義	1	1			30		
生理学実習	実習	2	1			30		
運動学	講義	1	2			60		
人間発達学	講義	2	1		30			
運動学実習	実習	2	1		30			
病理学	講義	2	1			30		
リハビリテーション医学	講義	2	1		30			
臨床医学内科	講義	2	1		30			
リハビリテーション内科	講義	2	1			15		
臨床医学整形外科	講義	2	1		30			

作業療法学科

カリキュラム

● 2023 (令和5) 年度以降の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数	
				必修	選択	前期	後期
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	リハビリテーション整形外科	講義	2	1		15
		臨床医学神経内科	講義	2	1	30	
		リハビリテーション神経内科	講義	2	1		15
		臨床医学小児科	講義	2	1	15	
		臨床医学精神科	講義	2	1	30	
		リハビリテーション精神科	講義	2	1		15
		臨床心理学	講義	2	1		30
		薬理学	講義	3	1		30
		救急医療・画像評価	講義	2	1		15
		栄養学	講義	2	1		15
野	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	多職種連携論	講義	4	1	15	
		リハビリテーション概論	講義	1	1	15	
		公衆衛生学	講義	1	1		30
		社会福祉概論	講義	2	1	30	
		医療リスクマネジメント	講義	3	1		15
専 門	基礎作業療法学	作業療法概論	講義	1	1	30	
		作業科学	講義	1	1		30
		基礎作業学演習A	演習	1	1	30	
		基礎作業学演習B	演習	1	1		30
		基礎作業学演習C	演習	2	1	30	
		作業分析学	講義	2	1		30
	作業療法管理学	講義	4	2		30	
	作業療法評価学	作業療法評価学概論	講義	1	1		30
		運動器作業療法評価学 I	講義	1	1		15
		運動器作業療法評価学 II	演習	2	1	30	
神経系作業療法評価学		講義	2	1		30	
発達期作業療法評価学		講義	2	1	30		
精神科作業療法評価学	講義	2	1		30		
高齢期作業療法評価学	講義	2	1	30			
動作分析学演習	演習	3	2	30			
専 門 分 野	作 業 法	作業療法理論と実践	講義	3	1	30	
		福祉用具適用品学	講義	2	1	30	
		日常生活活動学	講義	2	1	30	
		臨床作業療法 I	演習	3	2	60	
		運動器作業療法学演習	演習	3	1	30	
		精神科作業療法学演習 I	演習	3	1	30	
		精神科作業療法学演習 II	演習	3	1		30
		発達期作業療法学演習 I	演習	3	1	30	
		発達期作業療法学演習 II	演習	3	1		30
		神経系作業療法学演習 I	演習	3	1	30	
	神経系作業療法学演習 II	演習	3	1		30	
	高齢期作業療法学演習	演習	3	1	30		
	内部障害作業療法学演習	演習	3	1		15	
	義肢装具学	演習	3	1		30	
	就労援助学演習	演習	3	1	30		
	臨床作業療法 II	演習	3	2		45	
	療 法 学	作業療法特講 A	講義	4	1	15	
		作業療法特講 B	講義	4	1	15	
		作業療法特講 C	講義	4	1	15	
		作業療法特講 D	講義	4	1	15	
作業療法学演習		演習	4	1	30		
臨床実習インテグレーション I		演習	2	1		15	
臨床実習インテグレーション II		演習	3	1	15		
臨床実習インテグレーション III		演習	3	1		15	

作業療法学科

カリキュラム

● 2023 (令和5) 年度以降の入学者用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称			形態	配当年次	単位数		時間数	
					必修	選択	前期	後期
専門分野	地域作業療法学	地域作業療法学演習Ⅰ	演習	1	1			30
		地域作業療法学演習Ⅱ	演習	2	1			30
		地域作業療法学	講義	3	2		30	
	臨床実習	臨床基礎実習Ⅰ	実習	2	4			160
		臨床基礎実習Ⅱ	実習	3	4			160
		総合臨床実習Ⅰ	実習	4	7		280	
		総合臨床実習Ⅱ	実習	4	7		280	
		地域作業療法実習	実習	4	1			40
	作業療法研究	作業療法研究法	講義	3	1		15	
		研究計画法演習Ⅰ	演習	3	1		30	
		研究計画法演習Ⅱ	演習	3	1			30
		卒業研究	演習	4	2			60

1. 他学科・他学部の単位修得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a, b」は2年生、3年生も履修できる。



● 2020 (令和2) 年度～2022 (令和4) 年度の入学者用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数	
				必修	選択	前期	後期
基 礎 分	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	人間共生論	講義	1	2		30
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2	30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30
		地球環境論 I	講義	1		2	30
		地球環境論 II	講義	1		2	30
		心理学概論	講義	1	2		30
		物理学	講義	1	1		15
		ヒューマンバイオロジー	講義	1	2		30
		生命倫理	講義	3	2		30
		統計学	講義	2	2		30
		保健体育学	講義	1		2	30
		保健体育実習	実習	1		1	30
		医療経済学	講義	4		1	15
		人間関係論	講義	1	2		30
		人間関係論実習	実習	1		1	30
		英語 I	演習	1	1		30
		英語 II	演習	1	1		30
		海外短期フィールドワーク I (北米)	実習	1・2・3・4		2	30
		海外短期フィールドワーク II (アジア)	実習	3		2	30
情報科学	講義	1	2		30		
社会学	講義	1		2	30		
アカデミックスキルズ	講義	1	1		30		
野	学部共通留学関係	海外個人フィールドワーク (日本語) I a	実習	1・2・3・4		2	90
		海外個人フィールドワーク (日本語) I b	実習	1・2・3・4		2	90
		海外セメスター語学研修 I	実習	1・2・3・4		4	180
		海外個人フィールドワーク (英語) I a	実習	1・2・3・4		2	90
		海外個人フィールドワーク (英語) I b	実習	1・2・3・4		2	90
		海外語学 (英語) 研修 I	実習	1・2・3・4		2	90
		海外語学 (英語) 研修 II	実習	1・2・3・4		2	90
		海外語学 (該当英語外) 研修 I	実習	1・2・3・4		2	90
		海外語学 (該当英語外) 研修 II	実習	1・2・3・4		2	90
		海外語学 (中国語) 研修 I	実習	1・2・3・4		2	90
海外語学 (中国語) 研修 II	実習	1・2・3・4		2	90		
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学 I	講義	1	1		30
		解剖学 II	講義	1	1		30
		解剖学 III	講義	1	1		30
		解剖学 IV	講義	1	1		30
		解剖学 V	講義	1	1		30
		解剖学実習	実習	2	1		30
		生理学 I	講義	1	1		30
		生理学 II	講義	1	1		30
		生理学 III	講義	1	1		30
		生理学実習	実習	2	1		30
	運動学	講義	1	2		60	
	人間発達学	講義	2	1		30	
	及び回復過程の促進	運動学実習	実習	2	1		30
		病理学	講義	2	1		30
		リハビリテーション医学	講義	2	1		30
臨床医学内科		講義	2	1		30	
リハビリテーション内科		講義	2	1		15	
臨床医学整形外科	講義	2	1		30		

作業療法学科

カリキュラム

● 2020 (令和2) 年度～2022 (令和4) 年度の入学者用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数		
				必修	選択	前期	後期	
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション整形外科	講義	2	1		15	
		臨床医学神経内科	講義	2	1	30		
		リハビリテーション神経内科	講義	2	1		15	
		臨床医学小児科	講義	2	1	15		
		臨床医学精神科	講義	2	1	30		
		リハビリテーション精神科	講義	2	1		15	
		臨床心理学	講義	2	1		30	
		薬理学	講義	3	1		30	
		救急医療・画像評価	講義	2	1		15	
		栄養学	講義	2	1		15	
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	多職種連携論	講義	4	1		15	
		リハビリテーション概論	講義	1	1		15	
		公衆衛生学	講義	1	1		30	
		社会福祉概論	講義	2	1		30	
		医療リスクマネジメント	講義	3	1		15	
	専門	基礎作業療法学	作業療法概論	講義	1	1		30
			作業科学	講義	1	1		30
			基礎作業学演習A	演習	1	1		30
			基礎作業学演習B	演習	1	1		30
基礎作業学演習C			演習	2		1	30	
作業分析学			講義	2	1		30	
作業療法管理学		講義	4	2		30		
作業療法評価学		作業療法評価学概論	講義	1	1		30	
		運動器作業療法評価学Ⅰ	講義	1	1		15	
		運動器作業療法評価学Ⅱ	演習	2	1		30	
		神経系作業療法評価学	講義	2	1		30	
		発達期作業療法評価学	講義	2	1		30	
		精神科作業療法評価学	講義	2	1		30	
		高齢期作業療法評価学	講義	2	1		30	
		動作分析学演習	演習	3		2	30	
		作業療法分野	作業療法理論と実践	講義	3	1		30
			福祉用具適用品学	講義	2	1		30
日常生活活動学			講義	2	1		30	
臨床作業療法Ⅰ			演習	3	2		60	
運動器作業療法学演習			演習	3	1		30	
精神科作業療法学演習Ⅰ			演習	3	1		30	
精神科作業療法学演習Ⅱ			演習	3	1		30	
発達期作業療法学演習Ⅰ			演習	3	1		30	
発達期作業療法学演習Ⅱ			演習	3	1		30	
神経系作業療法学演習Ⅰ			演習	3	1		30	
神経系作業療法学演習Ⅱ			演習	3	1		30	
高齢期作業療法学演習			演習	3	1		30	
内部障害作業療法学演習			演習	3	1		15	
義肢装具学			演習	3	1		30	
就労援助学演習			演習	3	1		30	
臨床作業療法Ⅱ			演習	3	2		45	
作業療法特講A			講義	4		1	15	
作業療法特講B			講義	4		1	15	
作業療法特講C	講義		4		1	15		
作業療法特講D	講義		4		1	15		
作業療法学演習	演習		4		1	30		
臨床実習インテグレーションⅠ	演習		2	1		15		
臨床実習インテグレーションⅡ	演習		3	1		15		
臨床実習インテグレーションⅢ	演習		3	1		15		

• 2020 (令和2) 年度～2022 (令和4) 年度の入学用 •

表 1-1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム (続き)

授 業 科 目 の 名 称			形 態	配 当 年 次	単 位 数		時 間 数	
					必 修	選 択	前 期	後 期
専 門 分 野	地 域 作 業 療 法 学	地域作業療法学演習 I	演習	1	1			30
		地域作業療法学演習 II	演習	2	1			30
		地域作業療法学	講義	3	2		30	
	臨 床 実 習	臨床基礎実習 I	実習	2	4			160
		臨床基礎実習 II	実習	3	4			160
		総合臨床実習 I	実習	4	7		280	
		総合臨床実習 II	実習	4	7		280	
		地域作業療法実習	実習	4	1			40
	作 業 療 法 研 究	作業療法研究法	講義	3	1		15	
		研究計画法演習 I	演習	3	1		30	
		研究計画法演習 II	演習	3	1			30
		卒業研究	演習	4	2			60

1. 他学科・他学部の単位修得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a, b」は2年生、3年生も履修できる。

● 2014 (平成26) ~ 2019 (令和元) 年度の入学者用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム

授業科目の名称			形態	配当年次	単位数		時間数	
					必修	選択	前期	後期
基 礎 分 野	科学的思考の 基盤・人間と生活	人間共生論	講義	1	2		30	
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
		地球環境論 I	講義	1		2	30	
		地球環境論 II	講義	1		2		30
		心理学概論	講義	1	2		30	
		物理学	講義	1	2		30	
		化学	講義	1	2		30	
		生物学	講義	1	2		30	
		生命科学 (生命倫理)	講義	3	2		30	
		統計学	講義	2	2			30
		保健体育学	講義	1		2	30	
		保健体育実習	実習	1		1		30
	医療経済学	講義	4		1		15	
	人間関係論	講義	1		2	30		
	人間関係論実習	実習	1		1		30	
	英語 I	演習	1	1		30		
	英語 II	演習	1	1			30	
	海外短期フィールドワーク I (北米)	実習	2・3・4		2			
	海外短期フィールドワーク II (アジア)	実習	2・3・4		2			
	情報科学	講義	1	2		30		
	社会学	講義	1		2		30	
	哲学	講義	1		2		30	
	学 部 共 通 留 学 関 係	海外個人フィールドワーク (日本語) I a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク (日本語) I b	実習	2・3・4		2	90	
海外 Semester 語学研修 I		実習	2・3・4		4	180		
海外個人フィールドワーク (日本語) II a		実習	2・3・4		2	90		
海外個人フィールドワーク (日本語) II b		実習	2・3・4		2	90		
海外個人フィールドワーク (英語) I a		実習	2・3・4		2	90		
海外個人フィールドワーク (英語) I b		実習	2・3・4		2	90		
海外個人フィールドワーク (英語) II a		実習	2・3・4		2	90		
海外個人フィールドワーク (英語) II b		実習	2・3・4		2	90		
海外 Semester 語学研修 II		実習	2・3・4		4	180		
海外語学 (英語) 研修 I		実習	2・3・4		2	90		
海外語学 (英語) 研修 II		実習	2・3・4		2	90		
海外語学 (該当英語外) 研修 I		実習	2・3・4		2	90		
海外語学 (該当英語外) 研修 II		実習	2・3・4		2	90		
海外語学 (中国語) 研修 I		実習	2・3・4		2	90		
海外語学 (中国語) 研修 II		実習	2・3・4		2	90		
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学 I	講義	1	2		60	
		解剖学 II	講義	1	1			30
		解剖学 III	講義	1	1		30	
		解剖学 IV	講義	1	1			30
		解剖学実習	実習	2	1			30
		生理学 I A	講義	1	1		30	
		生理学 I B	講義	1	1		30	
		生理学 II	講義	1	1			30
		生理学実習	実習	2	1			30
		生化学	講義	1	1			30
		運動学	講義	1	2			60
		人間発達学	講義	2	1		30	

作業療法学科

カリキュラム

● 2014 (平成26) ~ 2019 (令和元) 年度の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数		
				必修	選択	前期	後期	
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	運動学実習	実習	2	1		30	
		病理学	講義	2	1		30	
		リハビリテーション医学	講義	2	1		30	
		臨床医学内科 I	講義	2	1		30	
		臨床医学内科 II	講義	2	1		30	
		臨床医学整形外科 I	講義	2	1		30	
		臨床医学整形外科 II	講義	2	1		30	
		臨床医学神経内科 I	講義	2	1		30	
		臨床医学神経内科 II	講義	2	1		30	
		臨床医学小児科	講義	2	1		15	
		臨床医学精神科 I	講義	2	1		30	
		臨床医学精神科 II	講義	2	1		30	
		臨床心理学	講義	2	1		30	
	薬理学	講義	3	1		30		
	野	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	リハビリテーション概論	講義	1	1		15
			公衆衛生学	講義	1	1		30
			社会福祉概論	講義	2	1		30
			医療リスクマネジメント	講義	3	1		15
			チーム医療論 I	講義	4	1		15
専 門 分 野	基礎作業療法学	コミュニケーションスキルズ	演習	1	1		15	
		作業療法概論 I	講義	1	1		30	
		作業療法概論 II	講義	1	1		30	
		作業科学	講義	1	1		30	
		基礎作業学演習 A	演習	1		1	30	
		基礎作業学演習 B	演習	1		1	30	
		基礎作業学演習 C	演習	2		1	30	
		基礎作業学演習 D	演習	2		1	30	
		作業分析学	講義	2	1		30	
		作業療法研究法	講義	3	1		15	
		管理運営学	講義	4	1		15	
	門	作業療法評価学	作業療法評価学概論	講義	1	1		30
			運動器障害作業療法評価学 I	講義	1	1		15
			運動器障害作業療法評価学 II	演習	2	1		30
			神経障害作業療法評価学	講義	2	1		30
			発達障害作業療法評価学	講義	2	1		30
			精神障害作業療法評価学	講義	2	1		30
			老年期作業療法評価学	講義	2	1		30
			動作分析学演習	演習	3		2	45
野	作業療法治療学	作業療法理論	講義	2	1		15	
		人間工学	講義	2	1		30	
		日常生活活動学	講義	2	1		30	
		作業療法総論	演習	3	2		60	
		作業療法治療学原論	講義	3	1		30	
		運動器障害作業療法学演習	演習	3	1		30	
		精神障害作業療法学演習 I	演習	3	1		30	
		精神障害作業療法学演習 II	演習	3	1		30	
		発達障害作業療法学演習	演習	3	2		60	
		神経障害作業療法学演習 I	演習	3	1		30	
		神経障害作業療法学演習 II	演習	3	1		30	
老年期作業療法学演習	演習	3	1		30			
義肢装具学	演習	3	1		30			

• 2014 (平成26) ~ 2019 (令和元) 年度の入学用 •

表 1-1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称			形態	配当年次	単位数		時間数	
					必修	選択	前期	後期
専 門 分 野	作業 療法 治療 学	就労援助学演習	演習	3	1		30	
		作業療法学総合演習	演習	3		2		45
		臨床技術演習	演習	3	1			30
		作業療法特講A	講義	4		1		15
		作業療法特講B	講義	4		1		15
		作業療法特講C	講義	4		1		15
		作業療法特講D	講義	4		1		15
		作業療法学演習	演習	4		1		30
		研究計画法演習Ⅰ	演習	3	1			30
		研究計画法演習Ⅱ	演習	3	1			30
	卒業研究	演習	4	2			60	
	地域 作業 療法 学	地域作業療法学演習Ⅰ	演習	1	1			30
		地域作業療法学演習Ⅱ	演習	2	1		30	
		地域作業療法学	講義	3	2		30	
ヘルスプロモーション論		講義	3	2			30	
臨床 実習	臨床基礎実習Ⅰ	実習	2	3			135	
	臨床基礎実習Ⅱ	実習	3	4			180	
	総合臨床実習Ⅰ	実習	4	8			360	
	総合臨床実習Ⅱ	実習	4	8			360	

1. 他学科・他学部単位修得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活科目の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a, b」は2年生、3年生も履修できる。

• 2024 (令和6) 年度以降の入学者用 •

表 2 - 1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
基礎分野	科学的思考の基盤・ 人間と生活・ 社会の理解	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、22単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論 I		2	
			地球環境論 II		2	
			データサイエンス入門	2		
			心理学概論	1		
			物理学	1		
			ヒューマンバイオロジー	2		
			生命倫理	1		
			統計学	2		
			保健体育学演習 I		1	
			保健体育学演習 II		1	
	医療経済学		1			
	人間関係論	1				
	人間関係論演習		1			
	英語演習 I	2				
	英語演習 II	2				
海外短期フィールドワーク I (北米)		2				
海外短期フィールドワーク II (アジア)		2				
情報科学	2					
社会学		2				
アカデミックスキルズ	1					
学部共通留学関係科目	海外 Semester 語学研修 A		1			
	海外 Semester 語学研修 B		2			
	海外 Semester 語学研修 C		4			
	海外 Semester 語学研修 D		5			
	海外語学研修 A		2			
	海外語学研修 B		2			
	海外語学研修 C		2			
	海外語学研修 D		2			
(小 計)	(14)		<b>19</b>	<b>40</b>		
専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	12	解剖学 I	1		専門基礎分野において、必修科目 34 単位修得すること。
			解剖学 II	1		
			解剖学 III	1		
			解剖学 IV	1		
			解剖学 V	1		
			解剖学実習	1		
			生理学 I	1		
			生理学 II	1		
			生理学 III	1		
			生理学実習	1		
			運動学	2		
			人間発達学	1		

• 2024 (令和6) 年度以降の入学者用 •

表 2 - 1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	運動学実習	1		専 門 基 礎 分 野 に 関 して、必 修 科 目 34 単 位 修 得 する こと。
			病理学	1		
			リハビリテーション概論	1		
臨床医学内科			1			
リハビリテーション内科			1			
臨床医学整形外科			1			
リハビリテーション整形外科			1			
臨床医学神経内科			1			
リハビリテーション神経内科			1			
臨床医学小児科			1			
臨床医学精神科			1			
リハビリテーション精神科			1			
臨床心理学			1			
薬理学			1			
救急医療・画像評価	1					
栄養学	1					
保 健 医 療 福 祉 と リ ハ ビ リ テー シ ョ ン の 理 念	4	多職種連携論	1			
		リハビリテーション入門	1			
		医療リスクマネジメント	1			
		社会福祉概論	1			
		公衆衛生学	1			
(小 計)	(30)		<b>34</b>	<b>0</b>		
専 門 分 野	基礎作業療法学	5	作業療法概論	1	1	専 門 分 野 に お い て、必 修 科 目 を 含 め、71 単 位 修 得 する こと。
			基礎作業学演習 A	1		
			基礎作業学演習 B	1		
基礎作業学演習 C			1			
作業科学			1			
作業分析学			1			
作業療法管理学	2	作業療法管理運営学	2			
作 業 療 法 評 価 学	5	作業療法評価学概論	1	2		
		運動器作業療法評価学 I	1			
		運動器作業療法評価学 II	1			
		神経系作業療法評価学	1			
		発達期作業療法評価学	1			
		精神科作業療法評価学	1			
		高齢期作業療法評価学	1			
		動作分析学演習	1			



• 2024（令和6）年度以降の入学者用 •

表 2 - 1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分	作業療法治療学	19	作業療法理論と実践	1		専門分野において、必修科目を含め、71単位以上修得すること。
			福祉用具適用学	1		
			日常生活活動学	1		
			臨床作業療法Ⅰ	2		
			運動器作業療法学演習	1		
			精神科作業療法学演習Ⅰ	1		
			精神科作業療法学演習Ⅱ	1		
			発達期作業療法学演習Ⅰ	1		
			発達期作業療法学演習Ⅱ	1		
			神経系作業療法学演習Ⅰ	1		
			神経系作業療法学演習Ⅱ	1		
			高齢期作業療法学演習	1		
			内部障害作業療法学演習	1		
			義肢装具学	1		
			就労援助学演習	1		
			臨床作業療法Ⅱ	2		
作業療法特講A		1				
作業療法特講B		1				
作業療法学演習		1				
臨床実習インテグレーションⅠ	1					
臨床実習インテグレーションⅡ	1					
臨床実習インテグレーションⅢ	1					
野	地域作業療法学	4	地域作業療法学演習Ⅰ	1		
			地域作業療法学演習Ⅱ	1		
			地域作業療法学	2		
野	臨床実習	22	見学・評価体験実習	4		
			評価実習	5		
			総合臨床実習Ⅰ	8		
			総合臨床実習Ⅱ	7		
	地域作業療法実習	1				
野	作業療法研究		作業療法研究法	1		
			研究計画法演習Ⅰ	1		
			研究計画法演習Ⅱ	1		
			卒業研究	2		
	(小 計)	(57)		<b>69</b>	<b>6</b>	
	合 計	101		<b>122</b>	<b>46</b>	

表 2 - 1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
基礎分野	科学的思考の基盤・ 人間と生活・ 社会の理解	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、23単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論 I		2	
			地球環境論 II		2	
			データサイエンス入門	2		
			心理学概論	2		
			物理学	1		
			ヒューマンバイオロジー	2		
			生命倫理	2		
			統計学	2		
			保健体育学		2	
			保健体育実習		1	
医療経済学		1				
人間関係論	2					
人間関係論実習		1				
分野			英語 I	1		
			英語 II	1		
			海外短期フィールドワーク I (北米)		2	
			海外短期フィールドワーク II (アジア)		2	
野	学部共通留学関係科目		情報科学	2		
			社会学		2	
			アカデミックスキルズ	1		
			海外 Semester 語学研修 A		1	
			海外 Semester 語学研修 B		2	
			海外 Semester 語学研修 C		4	
			海外 Semester 語学研修 D		5	
			海外語学研修 A		2	
海外語学研修 B		2				
海外語学研修 C		2				
海外語学研修 D		2				
	(小 計)	(14)		<b>20</b>	<b>41</b>	
専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	12	解剖学 I 解剖学 II 解剖学 III 解剖学 IV 解剖学 V 解剖学実習 生理学 I 生理学 II 生理学 III 生理学実習 運動学 人間発達学	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1		専門基礎分野において、必修科目 34 単位修得すること。

作業療法学科

国家試験受験資格の授業科目履修方法

• 2023 (令和5) 年度以降の入学者用 •

表 2 - 1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	運動学実習	1		専 門 基 礎 分 野 に 関 係 する 必 修 科 目 34 単 位 修 得 する こと。
			病理学	1		
			リハビリテーション医学	1		
			臨床医学内科	1		
			リハビリテーション内科	1		
			臨床医学整形外科	1		
			リハビリテーション整形外科	1		
			臨床医学神経内科	1		
			リハビリテーション神経内科	1		
			臨床医学小児科	1		
			臨床医学精神科	1		
			リハビリテーション精神科	1		
			臨床心理学	1		
			薬理学	1		
救急医療・画像評価	1					
栄養学	1					
保 健 医 療 福 祉 と リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン の 理 念	4	多職種連携論	1			
		リハビリテーション概論	1			
		医療リスクマネジメント	1			
		社会福祉概論	1			
		公衆衛生学	1			
(小 計)	(30)		<b>34</b>	<b>0</b>		
専 門 分 野	基礎作業療法学	5	作業療法概論	1	1	専 門 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 70 単 位 以 上 修 得 する こと。
			基礎作業学演習 A	1		
			基礎作業学演習 B	1		
			基礎作業学演習 C	1		
			作業科学	1		
			作業分析学	1		
	作業療法管理学	2	2			
	作業療法評価学	5	作業療法評価学概論	1	2	
			運動器作業療法評価学 I	1		
			運動器作業療法評価学 II	1		
神経系作業療法評価学			1			
発達期作業療法評価学	1					
精神科作業療法評価学	1					
高齢期作業療法評価学	1					
動作分析学演習	1					

• 2023（令和5）年度以降の入学者用 •

表 2 - 1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	作業療法治療学	19	作業療法理論と実践	1		専門分野において、必修科目を含め、70単位以上修得すること。
			福祉用具適用学	1		
			日常生活活動学	1		
			臨床作業療法Ⅰ	2		
			運動器作業療法学演習	1		
			精神科作業療法学演習Ⅰ	1		
			精神科作業療法学演習Ⅱ	1		
			発達期作業療法学演習Ⅰ	1		
			発達期作業療法学演習Ⅱ	1		
			神経系作業療法学演習Ⅰ	1		
			神経系作業療法学演習Ⅱ	1		
			高齢期作業療法学演習	1		
			内部障害作業療法学演習	1		
			義肢装具学	1		
			就労援助学演習	1		
			臨床作業療法Ⅱ	2		
			作業療法特講A		1	
			作業療法特講B		1	
			作業療法特講C		1	
	作業療法特講D		1			
作業療法学演習		1				
臨床実習インテグレーションⅠ	1					
臨床実習インテグレーションⅡ	1					
臨床実習インテグレーションⅢ	1					
野	地域作業療法学	4	地域作業療法学演習Ⅰ	1		
			地域作業療法学演習Ⅱ	1		
			地域作業療法学	2		
野	臨床実習	22	臨床基礎実習Ⅰ	4		
			臨床基礎実習Ⅱ	4		
			総合臨床実習Ⅰ	7		
			総合臨床実習Ⅱ	7		
			地域作業療法実習	1		
野	作業療法研究		作業療法研究法	1		
			研究計画法演習Ⅰ	1		
			研究計画法演習Ⅱ	1		
			卒業研究	2		
	(小 計)	(57)		<b>67</b>	<b>8</b>	
	合 計	101		<b>121</b>	<b>49</b>	

表 2 - 1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
基礎分野	科学的思考の基盤・ 人間と生活・ 社会の理解	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、21単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論 I		2	
			地球環境論 II		2	
			心理学概論	2		
			物理学	1		
			ヒューマンバイオロジー	2		
			生命倫理	2		
			統計学	2		
			保健体育学		2	
			保健体育実習		1	
			医療経済学		1	
	人間関係論	2				
	人間関係論実習		1			
	英語 I	1				
	英語 II	1				
	海外短期フィールドワーク I（北米）		2			
海外短期フィールドワーク II（アジア）		2				
情報科学	2					
社会学		2				
アカデミックスキルズ	1					
野	学部共通留学関係科目	14	海外個人フィールドワーク（日本語） I a		2	
			海外個人フィールドワーク（日本語） I b		2	
			海外 Semester 語学研修 I		4	
			海外個人フィールドワーク（英語） I a		2	
			海外個人フィールドワーク（英語） I b		2	
			海外語学（英語）研修 I		2	
			海外語学（英語）研修 II		2	
			海外語学（該当英語外）研修 I		2	
			海外語学（該当英語外）研修 II		2	
			海外語学（中国語）研修 I		2	
海外語学（中国語）研修 II		2				
(小 計)		(14)		<b>18</b>	<b>45</b>	
専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	12	解剖学 I	1		専門基礎分野において、必修科目 34 単位修得すること。
			解剖学 II	1		
			解剖学 III	1		
			解剖学 IV	1		
			解剖学 V	1		
			解剖学実習	1		
			生理学 I	1		
			生理学 II	1		
			生理学 III	1		
			生理学実習	1		
			運動学	2		
			人間発達学	1		

• 2020 (令和2) 年度～2022 (令和4) 年度の入学者用 •

表 2 - 1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	運動学実習	1		専 門 基 礎 分 野 に 関 係 する 必 修 科 目 34 単 位 修 得 する こと。
			病理学	1		
			リハビリテーション医学	1		
臨床医学内科			1			
リハビリテーション内科			1			
臨床医学整形外科			1			
リハビリテーション整形外科			1			
臨床医学神経内科			1			
リハビリテーション神経内科			1			
臨床医学小児科			1			
臨床医学精神科			1			
リハビリテーション精神科			1			
臨床心理学			1			
薬理学			1			
救急医療・画像評価	1					
栄養学	1					
保 健 医 療 福 祉 と リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン の 理 念	4	多職種連携論	1			
		リハビリテーション概論	1			
		医療リスクマネジメント	1			
		社会福祉概論	1			
		公衆衛生学	1			
(小 計)	(30)		<b>34</b>	<b>0</b>		
専 門 分 野	基礎作業療法学	5	作業療法概論	1	1	専 門 分 野 に お い て、必 修 科 目 を 含 め、70 単 位 以 上 修 得 する こと。
			基礎作業学演習 A	1		
			基礎作業学演習 B	1		
基礎作業学演習 C			1			
作業科学			1			
作業分析学			1			
作業療法管理学	2	作業療法管理運営学	2			
作 業 療 法 評 価 学	5	作業療法評価学概論	1	2		
		運動器作業療法評価学 I	1			
		運動器作業療法評価学 II	1			
		神経系作業療法評価学	1			
		発達期作業療法評価学	1			
		精神科作業療法評価学	1			
		高齢期作業療法評価学	1			
		動作分析学演習	1			

作業療法学科

国家試験受験資格の授業科目履修方法

表 2 - 1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	作業療法治療学	19	作業療法理論と実践	1		専門分野において、必修科目を含め、70単位以上修得すること。
			福祉用具適用学	1		
			日常生活活動学	1		
			臨床作業療法Ⅰ	2		
			運動器作業療法学演習	1		
			精神科作業療法学演習Ⅰ	1		
			精神科作業療法学演習Ⅱ	1		
			発達期作業療法学演習Ⅰ	1		
			発達期作業療法学演習Ⅱ	1		
			神経系作業療法学演習Ⅰ	1		
			神経系作業療法学演習Ⅱ	1		
			高齢期作業療法学演習	1		
			内部障害作業療法学演習	1		
			義肢装具学	1		
			就労援助学演習	1		
			臨床作業療法Ⅱ	2		
			作業療法特講A		1	
			作業療法特講B		1	
			作業療法特講C		1	
	作業療法特講D		1			
作業療法学演習		1				
臨床実習インテグレーションⅠ	1					
臨床実習インテグレーションⅡ	1					
臨床実習インテグレーションⅢ	1					
野	地域作業療法学	4	地域作業療法学演習Ⅰ	1		
			地域作業療法学演習Ⅱ	1		
			地域作業療法学	2		
野	臨床実習	22	臨床基礎実習Ⅰ	4		
			臨床基礎実習Ⅱ	4		
			総合臨床実習Ⅰ	7		
			総合臨床実習Ⅱ	7		
			地域作業療法実習	1		
野	作業療法研究		作業療法研究法	1		
			研究計画法演習Ⅰ	1		
			研究計画法演習Ⅱ	1		
			卒業研究	2		
	(小計)	(57)		<b>67</b>	<b>8</b>	
	合計	101		<b>119</b>	<b>53</b>	

表 2 - 1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
基 礎 分 野	科学的思考の基盤・ 人間と生活	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、18単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
新・文明の旅特講 b				2		
新・文明の旅総合講義				2		
地球環境論 I				2		
地球環境論 II				2		
心理学概論			2			
物理学			2			
化学			2			
生物学			2			
生命科学 (生命倫理)			2			
統計学			2			
保健体育学				2		
保健体育実習				1		
医療経済学		1				
人間関係論		2				
人間関係論実習		1				
	学部共通留学関係科目		英語 I	1		
			英語 II	1		
			海外短期フィールドワーク I (北米)		2	
			海外短期フィールドワーク II (アジア)		2	
			情報科学	2		
			社会学		2	
			哲学		2	
			海外個人フィールドワーク (日本語) I a		2	
			海外個人フィールドワーク (日本語) I b		2	
			海外semester語学研修 I		4	
			海外個人フィールドワーク (日本語) II a		2	
			海外個人フィールドワーク (日本語) II b		2	
			海外個人フィールドワーク (英語) I a		2	
			海外個人フィールドワーク (英語) I b		2	
海外個人フィールドワーク (英語) II a		2				
海外個人フィールドワーク (英語) II b		2				
海外semester語学研修 II		4				
海外語学 (英語) 研修 I		2				
海外語学 (英語) 研修 II		2				
海外語学 (該当英語外) 研修 I		2				
海外語学 (該当英語外) 研修 II		2				
海外語学 (中国語) 研修 I		2				
海外語学 (中国語) 研修 II		2				
(小 計)	(14)		<b>18</b>	<b>61</b>		
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 及び心身の発達	12	解剖学 I	2		専門基礎分野において、必修科目33単位修得すること。
			解剖学 II	1		
			解剖学 III	1		
			解剖学 IV	1		
			解剖学実習	1		
			生理学 I A	1		
			生理学 I B	1		
			生理学 II	1		
			生理学実習	1		
			生化学	1		
			運動学	2		
			人間発達学	1		

作業療法学科

国家試験受験資格の授業科目履修方法



• 2014（平成26）～2019（令和元）年度の入学者用 •

表 2 - 1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考	
				必修	選択		
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	1 2	運動学実習	1		専門基礎分野において、必修科目 33 単位修得すること。	
			病理学	1			
			リハビリテーション医学	1			
			臨床医学内科 I	1			
			臨床医学内科 II	1			
			臨床医学整形外科 I	1			
			臨床医学整形外科 II	1			
			臨床医学神経内科 I	1			
			臨床医学神経内科 II	1			
			臨床医学小児科	1			
			臨床医学精神科 I	1			
			臨床医学精神科 II	1			
	臨床心理学	1					
薬理学	1						
専 門 分 野	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	2	チーム医療論 I	1			
			リハビリテーション概論	1			
			医療リスクマネジメント	1			
			社会福祉概論	1			
			公衆衛生学	1			
(小 計)	(26)		<b>33</b>	<b>0</b>			
専 門 分 野	基礎作業療法学	6	コミュニケーションスキルズ	1		専門分野において、必修科目を含め、66 単位以上修得すること。 (基礎作業療法学からは必修単位を含め 9 単位以上修得すること)	
			作業療法概論 I	1			
			作業療法概論 II	1			
			作業療法研究法	1			
			管理運営学	1			
			基礎作業学演習 A		1		
			基礎作業学演習 B		1		
			基礎作業学演習 C		1		
			基礎作業学演習 D		1		
			作業科学	1			
	作業分析学	1					
	専 門 分 野	作業療法評価学	5	作業療法評価学概論	1		
				運動器障害作業療法評価学 I	1		
運動器障害作業療法評価学 II				1			
			神経障害作業療法評価学	1			
			発達障害作業療法評価学	1			
			精神障害作業療法評価学	1			
			老年期作業療法評価学	1			
			動作分析学演習		2		

• 2014 (平成26) ~ 2019 (令和元) 年度の入学者用 •

表 2 - 1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	作業療法治療学	20	作業療法治療学原論	1		専門分野において、必修科目を含め、66単位以上修得すること。 (基礎作業療法学からは必修単位を含め9単位以上修得すること)
			人間工学	1		
			作業療法理論	1		
			日常生活活動学	1		
			作業療法総論	2		
			運動器障害作業療法学演習	1		
			精神障害作業療法学演習 I	1		
			精神障害作業療法学演習 II	1		
			発達障害作業療法学演習	2		
			神経障害作業療法学演習 I	1		
			神経障害作業療法学演習 II	1		
			老年期作業療法学演習	1		
			義肢装具学	1		
			就労援助学演習	1		
	作業療法学総合演習		2			
	臨床技術演習	1				
	作業療法特講 A		1			
	作業療法特講 B		1			
	作業療法特講 C		1			
	作業療法特講 D		1			
			作業療法学演習		1	
			研究計画法演習 I	1		
			研究計画法演習 II	1		
			卒業研究	2		
野	地域作業療法学	4	地域作業療法学演習 I	1		
			地域作業療法学演習 II	1		
			地域作業療法学	2		
			ヘルスプロモーション論	2		
	臨床実習	18	臨床基礎実習 I	3		
			臨床基礎実習 II	4		
			総合臨床実習 I	8		
			総合臨床実習 II	8		
	(小 計)	(53)		<b>64</b>	<b>13</b>	
	合 計	93		<b>115</b>	<b>74</b>	

作業療法学科

国家試験受験資格の授業科目履修方法

# 文京学院大学保健医療技術学部作業療法学科卒業研究要綱

## 1. 卒業研究の目的

### 【一般目標】

本学科で学んだ知識・技術・態度をもとに自らの知識と問題探求の姿勢を土台に作業療法研究を自ら行える力を養うこと。

### 【行動目標】

- ① 問題意識を持ち課題を探求することができる。
- ② 先行研究を分析し、自らの研究に活用することができる。
- ③ 計画性をもって研究に臨むことができる。
- ④ 課題解決のための創造性を身につけることができる。

## 2. 卒業研究の内容

研究内容は教員の指導のもとで興味・関心に基づき、先行研究を展望し、適切な研究テーマを選択して課題を設定する。調査または実験・観察などにより解明し、論文の形にまとめ、口頭発表を行なうことである。

## 3. 卒業研究の指導方法

教員が複数の学生を担当するゼミナール形式で行う。学生は卒業研究に必要な知識を深め、担当教員の指導に基づき研究を進める。

## 4. 配当年次と単位数

4年次の必修科目であり2単位である。

## 5. 実施スケジュール

3年次の研究計画法演習Ⅰ・Ⅱを準備段階として、4年次4月より始め、11月に論文を提出し卒業研究発表会で発表する。

## 6. 卒業研究の成績評価について

行動目標①から④について、ゼミナールにおける学生の研究活動と作成された論文は担当教員が判定する（70%配分）。卒業研究発表における判定は、学科教員全員で決定する（30%配分）。



## VI 臨床検査学科

---

「臨床検査技師国家試験受験資格」について

取得可能な認定資格について

カリキュラムマップ

ナンバリング

カリキュラム

国家試験受験資格の授業科目履修方法

臨地実習について

卒業研究要綱



# VI 臨床検査学科

## 臨床検査学科で取得可能な資格「臨床検査技師国家試験受験資格」について

### 1. 臨床検査技師とは

『医療法等の一部を改正する法律』（平成 29 年 6 月 14 日公布）により、『臨床検査技師等に関する法律』で定められる臨床検査技師の定義は次のようになります。

この法律で、「臨床検査技師」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、臨床検査技師の名称を用いて、医師又は歯科医師の指示の下に、人体から排出され、又は採取された検体の検査として厚生労働省令で定めるもの（以下「検体検査」という。）及び厚生労働省令で定める生理学的検査を行うことを業とする者をいう。

### 2. 臨床検査技師の免許

臨床検査技師の免許は、臨床検査技師国家試験に合格した者に与えられます。試験は検査に必要な知識及び技能（採血及び検体採取に必要な知識及び技能を含む）について、厚生労働大臣が毎年少なくとも 1 回行います。

### 3. 臨床検査技師国家試験受験資格の取得要件

『臨床検査技師等に関する法律施行令』で、臨床検査技師国家試験を受けることができる要件の一つとして、以下の場合が定められています。

学校教育法に基づく大学において保健衛生学の正規の課程を修めて卒業した者で、生理学的検査並びに採血及び検体採取に関する科目で厚生労働大臣の指定するものを修めたもの。

本学臨床検査学科の科目は、厚生労働大臣が指定した科目に該当することが厚生労働省との協議において承認されています。したがって、卒業が認められれば臨床検査技師国家試験受験資格が得られます。

### 4. 臨床検査技師国家試験

臨床検査技師国家試験は例年 2 月第 3 水曜日に行われています。卒業見込み者は受験の手続きを進めます。

臨床検査技師国家試験の内容を具体的な項目に拠って示しているのが国家試験出題基準です。これにより妥当な範囲が示され、適切なレベルが確保されます。試験科目は以下の 10 科目から構成されています。

臨床検査総論、臨床検査医学総論、臨床生理学、臨床化学、病理組織細胞学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学、公衆衛生学、医用工学概論
--

合格基準は次のように定められています。

配点を 1 問 1 点、合計 200 点満点とし、次の基準を満たした者を合格とする。 総得点 120 点以上 / 200 点
---

合格発表は例年 3 月下旬に行われています。臨床検査技師国家試験問題と正答は厚生労働省によって公開されています。

## 5. 参考

厚生労働省ホームページから、以下の内容が確認できます。

臨床検査技師国家試験の施行



令和7年版臨床検査技師国家試験出題基準について



第70回臨床検査技師国家試験問題および正答について





## 臨床検査学科で取得可能な認定資格について

### 1. 健康食品管理士

健康食品管理士認定資格（日本食品安全協会）とは、健康食品に関するさまざまな問題に対し、的確な判断ができるアドバイザースタッフです。本学保健医療技術学部臨床検査学科で指定科目を修得することにより受験資格を取得し、試験に合格した者に与えられる認定資格です。

#### 1) 健康食品管理士とは

日本食品安全協会が、健康食品に関わる品質保証に基づく安全性、健康食品と薬剤との有効性の比較、当該健康食品を摂取する対象者の的確な選択、食品摂取者の健康状態などを判断できる人材を「健康食品管理士」として認定する資格です。

#### 2) 認定試験の受験資格者

協会が認めた認定校で指定教育カリキュラムすべてを履修した者。なお、本学臨床検査学科は、日本食品安全協会の認定団体となっており、2021（令和3）年度以前の入学生は必修科目のほか「健康食品総論（4年次）」、「栄養化学（1、4年次）」、「薬理学（4年次）」の各選択科目を修得することにより受験資格を得ることになります。2022（令和4）年度以降の入学生は必修科目のほか「健康食品総論」の選択科目を4年次までに修得することにより受験資格を得る予定です。

#### 3) 認定試験の受験申請

- 受験申込み 日本食品安全協会のホームページで確認すること  
<http://www.ffcci.jp/>  
受験申請は大学で一括して行います。受験申請日程は、担当教員より後日連絡いたします。

#### 4) 認定試験

①試験日：試験日程は、担当教員より後日連絡いたします。

②試験の科目および方法

##### a) 試験科目

- (1) 健康食品総論
- (2) 健康食品各論
- (3) 食品と栄養
- (4) 食品表示・食品の安全性
- (5) 疾患と栄養
- (6) 医薬品と食品の相互作用
- (7) 関係法規
- (8) 疾患と病態解析

ただし、有する資格による科目免除はありません。

##### b) 試験の方法

択一式の学科試験

## 2. 毒物劇物取扱者

毒物及び劇物取締法に基づき、毒物及び劇物を取り扱う場合には、国または各都道府県の登録、許可、届出が必要です。毒物及び劇物の製造業、輸入業又は販売業には専任の「毒物劇物取扱責任者」を置き、保健衛生上の危害の防止に当たらせなければなりません。病院検査室や衛生検査所では、試薬として使用する毒物及び劇物を管理することが求められています。このため、毒物劇物取扱者の資格を持つ人が管理責任者に選任されることが多いです。この資格試験は都道府県知事が実施しています。本学で学ぶ化学の知識を活用して、在学中から受験することができます。

## 3. 遺伝子分析科学認定士（初級）

公益社団法人日本臨床検査同学院が認定試験を実施している資格です。この資格は、遺伝子分析科学または遺伝子関連検査に関与する者の学識、および技術の向上と検査の標準化を図り、また一般の人々における遺伝子関連検査に関する正しい知識を啓発し、遺伝子関連検査に基づく良質な医療の発展・普及に寄与することを目的として認定されています。本学在学中でも、指定科目を履修し、試験に合格することで資格を得ることが可能です。

## 4. 心電図検定

心電図を正確に判読する能力を測る検定試験で、一般社団法人日本不整脈心電学会が試験を実施しています。在学中に4級～1級の試験を受験することが可能です。急性心筋梗塞などの疾患において、心電図を正確に判読できることは生命を救う迅速な診療に繋がるため、重要な能力となります。



## 保健医療技術学部科目ナンバリング体系（臨床検査学科）

### 11桁の英数字を使用

科目グループ + 配当年次 + 単位数 + 学科番号 + 科目特定番号

サンプル **UNIV102CM01**

①                      ②                      ③                      ④                      ⑤

①科目グループ：4つのアルファベット（下記の表）

②配当年次：1：1年次・2：2年次・3：3年次・4：4年次

※配当年次1・2・3・4の場合は1で表記（履修できる最小年次で表記）

③単位数：2桁で表示

④学科番号：PT：理学療法学科・OT：作業療法学科・CM：臨床検査学科・NS：看護学科

⑤科目特定番号：01～50までの番号は必修科目・51～99までの番号は選択科目

### 科目グループアルファベット対照表

臨床検査学科

区分	区分あるいは科目グループ	科目グループ英語名称
基本科目	大学特別科目	UNIV
	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	LIBE
	学部共通留学関係科目	ABRO
専門基礎科目	人体の構造と機能	HUMA
	臨床検査の基礎とその疾病との関連	DISE
	保健医療福祉と臨床検査	HEAL
	医療工学及び医療情報	ENGI
専門科目	病態学	CLIN
	血液学的検査	HAEM
	病理学的検査	PATH
	尿・糞便等一般検査	URIN
	生化学的検査・免疫学的検査	BIOC
	遺伝子関連・染色体検査	GENE
	輸血・移植検査	TRAN
	微生物学的検査	MICR
	生理学的検査	PHYS
	臨床検査総合管理	MANA
	医療安全管理	SAFE
	卒業研究	RESE
	臨地実習	PRAC

保健医療技術学部 臨床検査学科 ナンバリング表

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数		科目グループ	科目の特定	ナンバリング	
				必修	選択	前期	後期				
基礎分野	大学特別科目	人間共生論	講義	1	2		30	UNIV	01	UNIV102CM01	
		データサイエンス入門	講義	1	2		30	UNIV	02	UNIV102CM02	
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	UNIV	51	UNIV102CM51	
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2	30	UNIV	52	UNIV102CM52	
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	UNIV	53	UNIV102CM53	
		地球環境論 I	講義	1		2	30	UNIV	54	UNIV102CM54	
		地球環境論 II	講義	1		2	30	UNIV	55	UNIV102CM55	
	心理学概論	講義	1	2		30	LIBE	01	LIBE102CM01		
	数物科学	講義	1	2		30	LIBE	11	LIBE102CM11		
	基礎化学	講義	1		1	15	LIBE	51	LIBE101CM51		
	化学（無機・有機）	講義	1	2		30	LIBE	04	LIBE102CM04		
	化学実習（無機・有機）	実習	1	1		45	LIBE	05	LIBE101CM05		
	生物学	講義	1	2		30	LIBE	06	LIBE102CM06		
	人間関係論	講義	1		2	30	LIBE	52	LIBE102CM52		
	保健体育学	講義	1		2	30	LIBE	53	LIBE102CM53		
	保健体育学実習	実習	1		1	30	LIBE	54	LIBE101CM54		
	英語 I	演習	1	1		30	LIBE	07	LIBE101CM07		
	英語 II	演習	1	1		30	LIBE	08	LIBE101CM08		
	医療英語演習 I a	演習	2	1		30	LIBE	09	LIBE201CM09		
	医療英語演習 I b	演習	2	1		30	LIBE	10	LIBE201CM10		
	海外短期フィールドワーク I（北米）	実習	1・2・3・4		2	30	LIBE	55	LIBE102CM55		
	学部共通留学関係科目	海外セメスター語学研修 A	実習	1・2・3・4		1		ABRO	67	ABRO101CM62	
		海外セメスター語学研修 B	実習	1・2・3・4		2		ABRO	68	ABRO102CM63	
		海外セメスター語学研修 C	実習	1・2・3・4		4		ABRO	69	ABRO104CM64	
		海外セメスター語学研修 D	実習	1・2・3・4		5		ABRO	70	ABRO105CM65	
		海外語学研修 A	実習	1・2・3・4		2		ABRO	71	ABRO102CM66	
		海外語学研修 B	実習	1・2・3・4		2		ABRO	72	ABRO102CM67	
		海外語学研修 C	実習	1・2・3・4		2		ABRO	73	ABRO102CM68	
		海外語学研修 D	実習	1・2・3・4		2		ABRO	74	ABRO102CM69	
	専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学 I	講義	1	1		30	HUMA	01	HUMA101CM01
			解剖学 II	講義	1	1		30	HUMA	02	HUMA101CM02
			解剖学実習	実習	1	1		30	HUMA	03	HUMA101CM03
			生理学 I	講義	1	1		30	HUMA	04	HUMA101CM04
生理学 II			講義	1	1		30	HUMA	05	HUMA101CM05	
生化学 I			講義	1	1		30	HUMA	06	HUMA101CM06	
生化学 II			講義	2	1		30	HUMA	07	HUMA201CM07	
生化学実習			実習	2	1		45	HUMA	08	HUMA201CM08	
臨床検査の基礎とその疾病との関連		病理学	講義	1	2		30	DISE	01	DISE102CM01	
		栄養と薬理	講義	4	1		30	DISE	02	DISE401CM02	
		チーム医療概論	講義	3	2		30	DISE	03	DISE302CM03	
		健康食品総論	講義	4		2	30	DISE	51	DISE202CM51	
保健医療福祉と臨床検査		公衆衛生学 I	講義	1	1		30	HEAL	01	HEAL101CM01	
		公衆衛生学 II	講義	1	1		30	HEAL	02	HEAL101CM02	
		公衆衛生学実習	実習	2	1		45	HEAL	03	HEAL201CM03	
		統計学	講義	2	2		30	HEAL	04	HEAL202CM04	
		保健医療福祉総論	講義	2	2		30	HEAL	05	HEAL202CM05	
医療工学及び医療情報		医用工学概論	講義	2	1		30	ENGI	01	ENGI201CM01	
		医用工学実習	実習	2	1		30	ENGI	02	ENGI201CM02	
		情報科学	講義	1	2		30	ENGI	03	ENGI102CM03	

保健医療技術学部 臨床検査学科 ナンバリング表

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数		科目グループ	科目の特定	ナンバリング	
				必修	選択	前期	後期				
専門分野	病態学	臨床化学検査学Ⅰc	講義	3	1		30		CLIN	01	CLIN301CM01
		臨床医学総論Ⅰ	講義	3	1		30		CLIN	02	CLIN301CM02
		臨床医学総論Ⅱ	講義	3	1		30		CLIN	03	CLIN301CM03
		救急総論	講義	3		2	30		CLIN	51	CLIN302CM51
		臨床病理学	講義	3	2		30		CLIN	04	CLIN302CM04
		病態解析学	講義	4	2		30		CLIN	05	CLIN302CM05
	血液学的検査	血液検査学Ⅰ	講義	2	1		30		HAEM	01	HAEM201CM01
		血液検査学Ⅱ	講義	3	1		30		HAEM	02	HAEM301CM02
		血液検査学実習Ⅰ	実習	2	1		30		HAEM	03	HAEM301CM03
		血液検査学実習Ⅱ	実習	3	1		30		HAEM	04	HAEM301CM04
	病理学的検査	臨床検査概論	講義	1	1		30		PATH	01	PATH101CM01
		病理検査学Ⅰ	講義	2	1		30		PATH	02	PATH201CM02
		病理検査学Ⅱ	講義(実習)	2	1		30		PATH	03	PATH201CM03
		病理検査学実習	実習	2	2		60		PATH	04	PATH202CM04
	一般検査等	一般検査学Ⅰ	講義	1	1		30		URIN	01	URIN101CM01
		一般検査学Ⅱ	講義	2	1		30		URIN	02	URIN201CM02
		一般検査学実習	実習	2	1		45		URIN	03	URIN201CM03
		医動物学Ⅰ	講義	2	1		30		URIN	04	URIN201CM04
		医動物学Ⅱ(含む実習)	講義(実習)	2	1		15		URIN	05	URIN201CM05
	免疫学的検査・生化学的検査	臨床化学検査学Ⅰa	講義	2	1		30		BIOC	01	BIOC201CM01
		臨床化学検査学Ⅰb	講義	2	1		30		BIOC	02	BIOC201CM02
		臨床化学検査学Ⅱ	講義	4	1		30		BIOC	03	BIOC401CM03
		臨床化学検査学実習	実習	2	2		60		BIOC	04	BIOC202CM04
		免疫学	講義	2	1		30		BIOC	05	BIOC201CM05
	遺伝子検査・染色体検査	遺伝子検査学	講義	2	1		30		GENE	01	GENE201CM01
		遺伝子検査学実習	実習	2	1		30		GENE	02	GENE201CM02
		分子生物学	講義	1	2		30		GENE	03	GENE102CM03
	移植検査	免疫検査学	講義	2	2		30		TRAN	01	TRAN202CM01
		免疫検査学実習	実習	3	2		60		TRAN	02	TRAN302CM02
	微生物学的検査	微生物学	講義	2	1		30		MICR	01	MICR201CM01
		微生物検査学	講義	3	2		30		MICR	02	MICR302CM02
		微生物検査学実習Ⅰ	実習	2	1		30		MICR	03	MICR201CM03
		微生物検査学実習Ⅱ	実習	3	2		60		MICR	04	MICR302CM04
生理学的検査	生理・画像検査学Ⅰ	講義	2	3		60		PHYS	01	PHYS203CM01	
	生理・画像検査学Ⅱ	講義	3	2		60		PHYS	02	PHYS302CM02	
	生理・画像検査学Ⅲ	講義	4	1		30		PHYS	03	PHYS401CM03	
	生理・画像検査学実習Ⅰ	実習	2	2		60		PHYS	04	PHYS202CM04	
	生理・画像検査学実習Ⅱ	実習	3	1		30		PHYS	05	PHYS301CM05	
	医療心理学	講義	3	1		30		PHYS	06	PHYS301CM06	
臨床検査総合管理	検査管理総論	講義	3	2		30		MANA	01	MANA302CM01	
	総合臨床検査学Ⅰ	講義	4	1		30		MANA	02	MANA401CM02	
	総合臨床検査学Ⅱ	講義	4	1		60		MANA	03	MANA401CM03	
	医療情報処理演習	演習	4	1		30		MANA	04	MANA401CM04	
	検査機器総論(含む実習)	講義(実習)	1	1		30		MANA	05	MANA401CM05	
	チーム医療論Ⅰ	講義	4	1		15		MANA	06	MANA401CM06	
医療安全管理	実験動物学	講義	3		2	30		MANA	51	MANA401CM51	
	医療リスクマネジメント	講義	3	2		30		SAFE	01	SAFE302CM01	
卒業研究	生命科学(生命倫理)	講義	1	2		30		SAFE	02	SAFE102CM02	
	卒業研究	演習	4	10		450		RESE	01	RESE410CM01	
臨地実習	臨地実習前技能実習	実習	3	1		30		PRAC	01	PRAC301CM01	
	臨地実習	実習	3	11		440		PRAC	02	PRAC311CM02	

• 2023 (令和5) 年度以降の入学用 •

表 1-1 保健医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラム

授業科目の名称			形態	配当年次	単位数		時間数	
					必修	選択	前期	後期
基 礎 分 野	科学的思考の 基盤・人間と生活・ 社会の理解	大学特別科目	人間共生論	講義	1	2		30
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2		30
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2		30
		地球環境論 I	講義	1		2		30
		地球環境論 II	講義	1		2		30
		データサイエンス入門	講義	1	2			30
		心理学概論	講義	1	2			30
		数物科学	講義	1	2			30
		基礎化学	講義	1		1		15
		化学(無機・有機)	講義	1	2			30
		化学実習(無機・有機)	実習	1	1			45
		生物学	講義	1	2			30
		人間関係論	講義	1		2		30
	保健体育学	講義	1		2		30	
	保健体育学実習	実習	1		1		30	
	英語 I	演習	1	1			30	
	英語 II	演習	1	1			30	
	医療英語演習 I a	演習	2	1			30	
	医療英語演習 I b	演習	2	1			30	
	海外短期フィールドワーク I (北米)	実習	1・2・3・4		2		30	
	学部共通留学 関係科目	海外セメスター語学研修 A	実習	2・3・4		1		
		海外セメスター語学研修 B	実習	2・3・4		2		
		海外セメスター語学研修 C	実習	2・3・4		4		
		海外セメスター語学研修 D	実習	2・3・4		5		
		海外語学研修 A	実習	2・3・4		2		
		海外語学研修 B	実習	2・3・4		2		
		海外語学研修 C	実習	2・3・4		2		
海外語学研修 D		実習	2・3・4		2			
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能	解剖学 I	講義	1	1		30	
		解剖学 II	講義	1	1		30	
		解剖学実習	実習	1	1		15	
		生理学 I	講義	1	1		30	
		生理学 II	講義	1	1		30	
		生化学 I	講義	1	1		30	
		生化学 II	講義	2	1		30	
		生化学実習	実習	2	1		45	
	臨床検査の基礎と その疾病との関連	病理学	講義	1	2		30	
		栄養と薬理	講義	4	1		30	
		チーム医療概論	講義	3	2		30	
		健康食品総論	講義	4		2	30	
	保健医療福祉と 臨床検査	公衆衛生学 I	講義	1	1		30	
		公衆衛生学 II	講義	1	1		30	
		公衆衛生学実習	実習	2	1		45	
		統計学	講義	2	2		30	
		保健医療福祉総論	講義	2	2		30	
	医療工学及び 医療情報	医用工学概論	講義	2	1		30	
		医用工学実習	実習	2	1		30	
		情報科学	講義	1	2		30	

● 2023 (令和5) 年度以降の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数	
				必修	選択	前期	後期
専 門 分 野	病態学	臨床化学検査学 I c	講義	3	1		30
		臨床医学総論 I	講義	3	1		30
		臨床医学総論 II	講義	3	1		30
		救急総論	講義	3		2	30
		臨床病理学	講義	3	2		30
		病態解析学	講義	4	2		30
	血液学的検査	血液検査学 I	講義	2	1		30
		血液検査学 II	講義	3	1		30
		血液検査学実習 I	実習	2	1		30
		血液検査学実習 II	実習	3	1		30
	病理学的検査	臨床検査概論	講義	1	1		30
		病理検査学 I	講義	2	1		30
		病理検査学 II	講義	2	1		30
		病理検査学実習	実習	2	2		60
	尿・糞便等一般検査	一般検査学 I	講義	1	1		30
		一般検査学 II	講義	2	1		30
		一般検査学実習	実習	2	1		45
		医動物学 I	講義	2	1		30
		医動物学 II (含む実習)	講義(実習)	2	1		15
	生化学的検査・免疫学的検査	臨床化学検査学 I a	講義	2	1		30
		臨床化学検査学 I b	講義	2	1		30
		臨床化学検査学 II	講義	4	1		30
		臨床化学検査学実習	実習	2	2		60
		免疫学	講義	2	1		30
	遺伝子検査・染色体検査	遺伝子検査学	講義	2	1		30
		遺伝子検査学実習	実習	2	1		30
		分子生物学	講義	1	2		30
	輸血・移植検査	免疫検査学	講義	2	2		30
		免疫検査学実習	実習	3	2		60
	微生物学的検査	微生物学	講義	2	1		30
		微生物検査学	講義	3	2		30
		微生物検査学実習 I	実習	2	1		30
		微生物検査学実習 II	実習	3	2		60
	生理学的検査	生理・画像検査学 I	講義	2	3		60
		生理・画像検査学 II	講義	3	2		60
		生理・画像検査学実習 I	実習	2	2		60
生理・画像検査学実習 II		実習	3	1		30	
生理・画像検査学 III		講義	4	1		30	
医療心理学		講義	3	1		30	
臨床検査総合管理	検査管理総論	講義	3	2		30	
	総合臨床検査学 I	講義	4	1		30	
	総合臨床検査学 II	講義	4	1		60	
	医療情報処理演習	演習	4	1		30	
	検査機器総論 (含む実習)	講義(実習)	1	1		30	
	チーム医療論 I	講義	4	1		15	
	実験動物学	講義	3		2	30	
医療安全管理	医療リスクマネジメント	講義	3	2		30	
	生命科学 (生命倫理)	講義	1	2		30	
卒業研究	卒業研究	演習	4	10		450	
臨地実習	臨地実習前技能実習	実習	3	1		30	
	臨地実習	実習	3	11		440	

履修の方法及び卒業の要件

1. 保健医療技術学部臨床検査学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野科目、専門基礎分野科目、専門分野科目の中から必修を含め128単位以上を修得しなければならない。
2. 各分野の履修方法については別に定める。
3. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活科目の領域として扱う。



• 2022 (令和4) 年度の入学者用 •

表 1-2 保健医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラム

授業科目の名称			形態	配当年次	単位数		時間数	
					必修	選択	前期	後期
基 礎 分 野	科学的思考の 基盤・人間と生活・ 社会の理解	大学特別科目	人間共生論	講義	1	2		30
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
		地球環境論 I	講義	1		2	30	
		地球環境論 II	講義	1		2		30
		心理学概論	講義	1	2			30
		数学	講義	1	2		30	
		物理学	講義	1	2		30	
		基礎化学	講義	1		1	15	
		化学(無機・有機)	講義	1	2		30	
		化学実習(無機・有機)	実習	1	1			45
		生物学	講義	1	2		30	
		人間関係論	講義	1		2		30
		保健体育学	講義	1		2	30	
		保健体育学実習	実習	1		1		30
	英語 I	演習	1	1		30		
	英語 II	演習	1	1		30		
	医療英語演習 I a	演習	2	1		30		
	医療英語演習 I b	演習	2	1		30		
	海外短期フィールドワーク I (北米)	実習	1・2・3・4		2	30		
	学部共通留学 関係科目	海外個人フィールドワーク(日本語) I a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク(日本語) I b	実習	2・3・4		2	90	
		海外セメスター語学研修 I	実習	2・3・4		4	180	
		海外個人フィールドワーク(英語) I a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク(英語) I b	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学(英語)研修 I	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学(英語)研修 II	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学(該当英語外)研修 I	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学(該当英語外)研修 II	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学(中国語)研修 I	実習	2・3・4		2	90	
	海外語学(中国語)研修 II	実習	2・3・4		2	90		
	専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能	解剖学 I	講義	1	1		30
解剖学 II			講義	1	1		30	
解剖学実習			実習	1	1		30	
生理学 I			講義	1	1		30	
生理学 II			講義	1	1		30	
生化学 I			講義	1	1		30	
生化学 II			講義	2	1		30	
生化学実習			実習	2	1		45	
その疾病との関連		病理学	講義	1	2		30	
		栄養と薬理	講義	4	1		30	
		チーム医療概論	講義	3	2		30	
		健康食品総論	講義	4		2	30	
保健医療福祉と 臨床検査		公衆衛生学 I	講義	1	1		30	
		公衆衛生学 II	講義	1	1		30	
		公衆衛生学実習	実習	2	1		45	
		統計学	講義	2	2		30	
		保健医療福祉総論	講義	2	2		30	
医療工学及び 医療情報		医用工学概論	講義	2	1		30	
		医用工学実習	実習	2	1		30	
		情報科学	講義	1	2		30	

• 2022 (令和4) 年度の入学用 •

表 1-2 保健医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数	
				必修	選択	前期	後期
専 門 分 野	病態学	臨床化学検査学 I c	講義	3	1		30
		臨床医学総論 I	講義	3	1		30
		臨床医学総論 II	講義	3	1		30
		救急総論	講義	3		2	30
		臨床病理学	講義	3	2		30
		病態解析学	講義	4	2		30
	血液学的検査	血液検査学 I	講義	2	1		30
		血液検査学 II	講義	3	1		30
		血液検査学実習 I	実習	2	1		30
		血液検査学実習 II	実習	3	1		30
	病理学的検査	臨床検査概論	講義	1	1		30
		病理検査学 I	講義	2	1		30
		病理検査学 II	講義	2	1		30
		病理検査学実習	実習	2	2		60
	一般検査等	一般検査学 I	講義	1	1		30
		一般検査学 II	講義	2	1		30
		一般検査学実習	実習	2	1		45
		医動物学 I	講義	2	1		30
		医動物学 II (含む実習)	講義(実習)	2	1		15
	生化学的検査・免疫学的検査	臨床化学検査学 I a	講義	2	1		30
		臨床化学検査学 I b	講義	2	1		30
		臨床化学検査学 II	講義	4	1		30
		臨床化学検査学実習	実習	2	2		60
		免疫学	講義	2	1		30
	遺伝子検査	遺伝子検査学	講義	2	1		30
		遺伝子検査学実習	実習	2	1		30
		分子生物学	講義	1	2		30
	輸血・移植検査	免疫検査学	講義	2	2		30
		免疫検査学実習	実習	3	2		60
	微生物学的検査	微生物学	講義	2	1		30
		微生物検査学	講義	3	2		30
		微生物検査学実習 I	実習	2	1		30
		微生物検査学実習 II	実習	3	2		60
	生理学的検査	生理・画像検査学 I	講義	2	3		60
		生理・画像検査学 II	講義	3	2		60
		生理・画像検査学実習 I	実習	2	2		60
生理・画像検査学実習 II		実習	3	1		30	
生理・画像検査学 III		講義	4	1		30	
医療心理学		講義	3	1		30	
臨床検査総合管理	検査管理総論	講義	3	2		30	
	総合臨床検査学 I	講義	4	1		30	
	総合臨床検査学 II	講義	4	1		60	
	医療情報処理演習	演習	4	1		30	
	検査機器総論 (含む実習)	講義(実習)	1	1		30	
	チーム医療論 I	講義	4	1		15	
	実験動物学	講義	3		2	30	
医療安全管理	医療リスクマネジメント	講義	3	2		30	
	生命科学 (生命倫理)	講義	1	2		30	
卒業研究	卒業研究	演習	4	10		450	
臨地実習	臨地実習前技能実習	実習	3	1		30	
	臨地実習	実習	3	11		440	

履修の方法及び卒業の要件

1. 保健医療技術学部臨床検査学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野科目、専門基礎分野科目、専門分野科目の中から必修を含め128単位以上を修得しなければならない。
2. 各分野の履修方法については別に定める。
3. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活科目の領域として扱う。

● 2018 (平成30) ~ 2021 (令和3) 年度の入学用 ●

表 1-3 保健医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラム

授業科目の名称			形態	配当年次	単位数		時間数	
					必修	選択	前期	後期
基礎分野	大学特別科目	人間共生論	講義	1	2		30	
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
		地球環境論 I	講義	1		2	30	
		地球環境論 II	講義	1		2		30
	科学的思考の基礎・人間と生活	心理学概論	講義	1	2			30
		生命科学 (生命倫理)	講義	1	2			30
		数学	講義	1	2		30	
		統計学	講義	2	2			30
		物理学	講義	1	2		30	
		基礎化学	講義	1		1	15	
		化学 (無機・有機)	講義	1	2		30	
		化学実習 (無機・有機)	実習	1	1			45
		生物学	講義	1	2		30	
		分子生物学	講義	1	2			30
		医療心理学	講義	3	1			30
		人間関係論	講義	1		2	30	
		保健体育学	講義	1		2	30	
		保健体育学実習	実習	1		1		30
		臨床検査概論	講義	1	1		30	
		英語 I	演習	1	1		30	
		英語 II	演習	1	1			30
	医療英語演習 I a	演習	2	1		30		
	医療英語演習 I b	演習	2	1			30	
	医療英語演習 II	演習	3・4		1	30		
	医療英語演習 III	演習	3・4		1		30	
	海外短期フィールドワーク I (北米)	実習	1・2・3・4		2	30		
	学部共通留学関係科目	海外個人フィールドワーク (日本語) I a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク (日本語) I b	実習	2・3・4		2	90	
		海外セメスター語学研修 I	実習	2・3・4		4	180	
		海外個人フィールドワーク (日本語) II a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク (日本語) II b	実習	2・3・4		2	90	
海外個人フィールドワーク (英語) I a		実習	2・3・4		2	90		
海外個人フィールドワーク (英語) I b		実習	2・3・4		2	90		
海外個人フィールドワーク (英語) II a		実習	2・3・4		2	90		
海外個人フィールドワーク (英語) II b		実習	2・3・4		2	90		
海外セメスター語学研修 II		実習	2・3・4		4	180		
海外語学 (英語) 研修 I		実習	2・3・4		2	90		
海外語学 (英語) 研修 II		実習	2・3・4		2	90		
海外語学 (該当英語外) 研修 I		実習	2・3・4		2	90		
海外語学 (該当英語外) 研修 II		実習	2・3・4		2	90		
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学 I	講義	1	1		30	
		解剖学 II	講義	1	1			30
		解剖学実習	実習	1	1		15	15
		生理学 I	講義	1	1		30	
		生理学 II	講義	1	1			30
		生化学 I	講義	1	1			30
		生化学 II	講義	2	1		30	
		生化学実習	実習	2	1			45
	その疾病との関連	病理学	講義	1	2			30
		微生物学	講義	2	1			30
		血液学	講義	2	1		30	
		免疫学	講義	2	1		30	
	保健医療福祉と医学検査	公衆衛生学 I	講義	1	1		30	
		公衆衛生学 II	講義	1	1			30
		公衆衛生学実習	実習	2	1			45
		医学概論	講義	1	1			30
		保健医療福祉総論	講義	2	2		30	

● 2018 (平成30) ~ 2021 (令和3) 年度の入学者用 ●

表 1-3 保健医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称			形態	配当年次	単位数		時間数	
					必修	選択	前期	後期
専門基礎分野	医療工学及び情報科学	医用工学概論	講義	2	1		30	
		医用工学実習	実習	2	1			30
		情報科学	講義	1	2		30	
		情報科学演習	演習	1	1		15	15
専門分野	臨床病態学	臨床医学総論 I	講義	3	1		30	
		臨床医学総論 II	講義	3	1			30
		臨床病理学	講義	3	2			30
		病態解析学	講義	4	2		30	
	形態検査学	病理検査学 I	講義	2	1		30	
		病理検査学 II	講義	2	1			30
		病理検査学実習	実習	2	2			60
		血液検査学	講義	3	1		30	
		血液検査学実習 I	実習	2	1			30
		血液検査学実習 II	実習	3	1		30	
		医動物学 I	講義	2	1		30	
		医動物学 II (含む実習)	講義(実習)	2	1			15
	生物化学分析検査学	臨床化学検査学 I a	講義	2	1		30	
		臨床化学検査学 I b	講義	2	1			30
		臨床化学検査学 II	講義	4	2			30
		臨床化学検査学実習	実習	2	2			60
		核医学検査学	講義	3	2		30	
		一般検査学 I	講義	1	1			30
		一般検査学 II	講義	2	1		30	
		一般検査学実習	実習	2	1		45	
	病因・生体防御検査学	微生物検査学	講義	3	2		30	
		微生物検査学実習 I	実習	2	1			30
		微生物検査学実習 II	実習	3	2		60	
		免疫検査学	講義	2	2			30
		免疫検査学実習	実習	3	2		60	
		遺伝子検査学	講義	2	1		30	
		遺伝子検査学実習	実習	2	1			30
	生理機能検査学	生理・画像検査学 I	講義	2	3		60	
生理・画像検査学 II		講義	3	2		60		
生理・画像検査学実習 I		実習	2	2			60	
生理・画像検査学実習 II		実習	3	1		30		
心電図学		講義	4	1			30	
検査総合管理学	検査管理総論	講義	3	2		30		
	総合臨床検査学 I	講義	4	1		30		
	総合臨床検査学 II	講義	4	1			60	
	医療情報処理演習 I	演習	2	1		30		
	医療情報処理演習 II	演習	4	1		30		
	検査機器総論 (含む実習)	講義(実習)	1	1			30	
	チーム医療論 I	講義	4	1		15		
	チーム医療概論	講義	3		2	30		
	救急総論	講義	3		2	30		
	健康食品総論	講義	4		2	30		
	栄養化学	講義	1		2		30	
	薬理学	講義	4		2		30	
	実験動物学	講義	3		2	30		
	医療安全管理学	医療リスクマネジメント	講義	3	2		30	
卒業研究	卒業研究	演習	4	10		450		
臨地実習	臨地実習	実習	3	10			450	

履修の方法及び卒業の要件

1. 保健医療技術学部臨床検査学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野科目、専門基礎分野科目、専門分野科目の中から必修を含め126単位以上を修得しなければならない。
2. 各分野の履修方法については別に定める。
3. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活科目の領域として扱う。

• 2023 (令和5) 年度以降の入学用 •

表 2-1 臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会理解	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、17単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論 I		2	
			地球環境論 II		2	
			データサイエンス入門	2		
			心理学概論	2		
			数物科学	2		
			基礎化学		1	
	化学（無機・有機）	2				
	化学実習（無機・有機）	1				
	生物学	2				
	人間関係論		2			
保健体育学		2				
保健体育学実習		1				
野	学部共通留学関係科目		英語 I	1		
			英語 II	1		
			医療英語演習 I a	1		
			医療英語演習 I b	1		
			海外短期フィールドワーク I（北米）		2	
			海外セメスター語学研修 A		1	
			海外セメスター語学研修 B		2	
			海外セメスター語学研修 C		4	
			海外セメスター語学研修 D		5	
			海外語学研修 A		2	
海外語学研修 B		2				
海外語学研修 C		2				
海外語学研修 D		2				
	(小 計)	(14)		<b>17</b>	<b>38</b>	
専門基礎分野	人体の構造と機能	8	解剖学 I	1		専門基礎分野において、必修科目 24 単位修得すること。
			解剖学 II	1		
			解剖学実習	1		
			生理学 I	1		
	生理学 II	1				
	生化学 I	1				
	生化学 II	1				
	生化学実習	1				
臨床検査の基礎とその疾病との関連	5		病理学	2		
			栄養と薬理	1		
			チーム医療概論	2		
健康食品総論		2				
保健医療福祉と臨床検査	4		公衆衛生学 I	1		
			公衆衛生学 II	1		
			公衆衛生学実習	1		
			統計学	2		
保健医療福祉総論		2				
医療工学及び情報科学	4		医用工学概論	1		
			医用工学実習	1		
			情報科学	2		
	(小 計)	(21)		<b>24</b>	<b>2</b>	

• 2023 (令和5) 年度以降の入学用 •

表 2-1 臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	病態学	7	臨床化学検査学 I c	1	2	専門分野において、必修科目を含め、84 単位以上修得すること。
			臨床医学総論 I	1		
			臨床医学総論 II	1		
			救急総論	2		
			臨床病理学	2		
	血液学的検査	4	血液検査学 I	1		
			血液検査学 II	1		
			血液検査学実習 I	1		
			血液検査学実習 II	1		
	病理学的検査	5	臨床検査概論	1		
			病理検査学 I	1		
			病理検査学 II	1		
	尿・糞便等一般検査	3	一般検査学 I	1		
一般検査学 II			1			
一般検査学実習			1			
生化学的検査・免疫学的検査	6	医動物学 I	1			
		医動物学 II (含む実習)	1			
		臨床化学検査学 I a	1			
遺伝子関連・染色体検査	2	臨床化学検査学 I b	1			
		臨床化学検査学 II	1			
		臨床化学検査学実習	2			
輸血・移植検査	4	免疫検査学	2			
		免疫検査学実習	2			
		分子生物学	2			
微生物学的検査	6	微生物学	1			
		微生物検査学	2			
		微生物検査学実習 I	1			
生理学的検査	10	微生物検査学実習 II	2			
		生理・画像検査学 I	3			
		生理・画像検査学 II	2			
臨床検査総合管理	6	生理・画像検査学実習 I	2			
		生理・画像検査学実習 II	1			
		生理・画像検査学 III	1			
医療安全管理	2	医療心理学	1			
		検査管理総論	2			
		総合臨床検査学 I	1			
卒業研究		総合臨床検査学 II	1			
		医療情報処理演習	1			
		検査機器総論 (含む実習)	1			
臨地実習	12	チーム医療論 I	1			
		実験動物学	2			
		医療リスクマネジメント	2			
(小 計)	(67)	生命科学 (生命倫理)	2			
		卒業研究	10			
合 計	102	臨地実習前技能実習	1			
		臨地実習	11			
			<b>84</b>	<b>4</b>		
			<b>125</b>	<b>44</b>		

• 2022 (令和4) 年度の入学者用 •

表 2-2 臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考	
				必修	選択		
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会理解	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、17単位以上修得すること。	
			新・文明の旅特講 a		2		
			新・文明の旅特講 b		2		
			新・文明の旅総合講義		2		
			地球環境論 I		2		
			地球環境論 II		2		
			心理学概論	2			
			数学	2			
			物理学	2			
			基礎化学		1		
			化学（無機・有機）	2			
			化学実習（無機・有機）	1			
			生物学	2			
			人間関係論		2		
保健体育学		2					
保健体育学実習		1					
野	学部共通留学関係科目		英語 I	1			
			英語 II	1			
			医療英語演習 I a	1			
			医療英語演習 I b	1			
			海外短期フィールドワーク I（北米）		2		
			海外個人フィールドワーク（日本語） I a		2		
			海外個人フィールドワーク（日本語） I b		2		
			海外セメスター語学研修 I		4		
			海外個人フィールドワーク（英語） I a		2		
			海外個人フィールドワーク（英語） I b		2		
			海外語学（英語）研修 I		2		
			海外語学（英語）研修 II		2		
			海外語学（該当英語外）研修 I		2		
			海外語学（該当英語外）研修 II		2		
海外語学（中国語）研修 I		2					
海外語学（中国語）研修 II		2					
(小 計)	(14)		<b>17</b>	<b>42</b>			
専門基礎分野	人体の構造と機能	8	解剖学 I	1		専門基礎分野において、必修科目 24 単位修得すること。	
			解剖学 II	1			
			解剖学実習	1			
			生理学 I	1			
			生理学 II	1			
			生化学 I	1			
			生化学 II	1			
			生化学実習	1			
	臨床検査の基礎とその疾病との関連	5		病理学	2		
				栄養と薬理	1		
保健医療福祉と臨床検査	4		チーム医療概論	2			
			健康食品総論		2		
			公衆衛生学 I	1			
			公衆衛生学 II	1			
			公衆衛生学実習	1			
医療工学及び情報科学	4		統計学	2			
			保健医療福祉総論	2			
			医用工学概論	1			
(小 計)	(21)		医用工学実習	1			
			情報科学	2			
			<b>24</b>	<b>2</b>			

• 2022 (令和4) 年度の入学者用 •

表 2-2 臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	病態学	7	臨床化学検査学 I c	1	2	専門分野において、必修科目を含め、84 単位以上修得すること。
			臨床医学総論 I	1		
			臨床医学総論 II	1		
			救急総論			
			臨床病理学	2		
			病態解析学	2		
	血液学的検査	4	血液検査学 I	1		
			血液検査学 II	1		
			血液検査学実習 I	1		
			血液検査学実習 II	1		
	病理学的検査	5	臨床検査概論	1		
			病理検査学 I	1		
			病理検査学 II	1		
			病理検査学実習	2		
尿・糞便等一般検査	3	一般検査学 I	1			
		一般検査学 II	1			
		一般検査学実習	1			
		医動物学 I	1			
		医動物学 II (含む実習)	1			
生化学的検査・ 免疫学的検査	6	臨床化学検査学 I a	1			
		臨床化学検査学 I b	1			
		臨床化学検査学 II	1			
		臨床化学検査学実習	2			
		免疫学	1			
遺伝子関連・染色体検査	2	遺伝子検査学	1			
		遺伝子検査学実習	1			
		分子生物学	2			
輸血・移植検査	4	免疫検査学	2			
		免疫検査学実習	2			
微生物学的検査	6	微生物学	1			
		微生物検査学	2			
		微生物検査学実習 I	1			
		微生物検査学実習 II	2			
		生理・画像検査学 I	3			
生理・画像検査学 II	2					
生理・画像検査学実習 I	2					
生理・画像検査学実習 II	1					
生理・画像検査学 III	1					
臨床検査総合管理	6	検査管理総論	2	2		
		総合臨床検査学 I	1			
		総合臨床検査学 II	1			
		医療情報処理演習	1			
		検査機器総論 (含む実習)	1			
		チーム医療論 I	1			
		実験動物学				
		医療リスクマネジメント	2			
		生命科学 (生命倫理)	2			
卒業研究	10					
臨地実習	12	臨地実習前技能実習	1			
		臨地実習	11			
(小 計)	(67)		<b>84</b>	<b>4</b>		
合 計	102		<b>125</b>	<b>48</b>		



表 2-3 臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考	
				必修	選択		
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、25単位以上修得すること。	
			大学特別科目 新・文明の旅特講 a		2		
			新・文明の旅特講 b		2		
			新・文明の旅総合講義		2		
			地球環境論 I		2		
			地球環境論 II		2		
			心理学概論	2			
			生命科学 (生命倫理)	2			
			数学	2			
			統計学	2			
			物理学	2			
			基礎化学		1		
			化学 (無機・有機)	2			
			化学実習 (無機・有機)	1			
			生物学	2			
			分子生物学	2			
			医療心理学	1			
			人間関係論		2		
			保健体育学		2		
			保健体育学実習		1		
			臨床検査概論	1			
			英語 I	1			
			英語 II	1			
			医療英語演習 I a	1			
			医療英語演習 I b	1			
医療英語演習 II		1					
医療英語演習 III		1					
海外短期フィールドワーク I (北米)		2					
海外個人フィールドワーク (日本語) I a		2					
海外個人フィールドワーク (日本語) I b		2					
海外セメスター語学研修 I		4					
海外個人フィールドワーク (日本語) II a		2					
海外個人フィールドワーク (日本語) II b		2					
海外個人フィールドワーク (英語) I a		2					
海外個人フィールドワーク (英語) I b		2					
海外個人フィールドワーク (英語) II a		2					
海外個人フィールドワーク (英語) II b		2					
海外セメスター語学研修 II		4					
海外語学 (英語) 研修 I		2					
海外語学 (英語) 研修 II		2					
海外語学 (該当英語外) 研修 I		2					
海外語学 (該当英語外) 研修 II		2					
海外語学 (中国語) 研修 I		2					
海外語学 (中国語) 研修 II		2					
(小 計)	(14)		<b>25</b>	<b>56</b>			
専門基礎分野	人体の構造と機能	8	解剖学 I	1		専門基礎分野において、必修科目24単位修得すること。	
			解剖学 II	1			
			解剖学実習	1			
			生理学 I	1			
			生理学 II	1			
			生化学 I	1			
			生化学 II	1			
			生化学実習	1			
	医学検査の基礎とその疾病との関連	5		病理学	2		
				微生物学	1		
				血液学	1		
	保健医療福祉と医学検査	4		免疫学	1		
				公衆衛生学 I	1		
公衆衛生学 II	1						
公衆衛生学実習	1						
医学概論	1						
保健医療福祉総論	2						

• 2018 (平成30) ~ 2021 (令和3) 年度の入学者用 •

表 2-3 臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専門基礎分野	医療工学及び情報科学	4	医用工学概論 医用工学実習 情報科学 情報科学演習	1 1 2 1		
	(小 計)	(21)		<b>24</b>	<b>0</b>	
専 門 分 野	臨床病態学	6	臨床医学総論 I 臨床医学総論 II 臨床病理学 病態解析学	1 1 2 2		専門分野において、必修科目を含め、76単位以上修得すること。
	形態検査学	9	病理検査学 I 病理検査学 II 病理検査学実習 血液検査学 血液検査学実習 I 血液検査学実習 II 医動物学 I 医動物学 II (含む実習)	1 1 2 1 1 1 1 1		
	生物化学分析検査学	11	臨床化学検査学 I a 臨床化学検査学 I b 臨床化学検査学 II 臨床化学検査学実習 核医学検査学 一般検査学 I 一般検査学 II 一般検査学実習	1 1 2 2 2 1 1 1		
	病因・生体防御検査学	10	微生物検査学 微生物検査学実習 I 微生物検査学実習 II 免疫検査学 免疫検査学実習 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習	2 1 2 2 2 1 1		
	生理機能検査学	9	生理・画像検査学 I 生理・画像検査学 II 生理・画像検査学実習 I 生理・画像検査学実習 II 心電図学	3 2 2 1 1		
	検査総合管理学	7	検査管理総論 総合臨床検査学 I 総合臨床検査学 II 医療情報処理演習 I 医療情報処理演習 II 検査機器総論 (含む実習)	2 1 1 1 1 1		
			チーム医療論 I チーム医療概論 救急総論 健康食品総論 栄養化学 薬理学 実験動物学	1	2 2 2 2 2 2	
	卒業研究		卒業研究	10		
	医療安全管理学	1	医療リスクマネジメント	2		
	臨地実習	7	臨地実習	10		
(小 計)	(60)			<b>76</b>	<b>12</b>	
合 計	95			<b>125</b>	<b>68</b>	

臨床検査学科

国家試験受験資格の授業科目履修方法

## 臨地実習について【2022(令和4)年度以降の入学用】

### 1. 概要

臨地実習は、専門科目の総合的な実践技術、医療現場の管理・運営に関する基礎知識・態度、ならびに倫理観・人間性、医療チームの一員としての自覚と責任感を獲得するために保健学系教育の中で広く行われるものです。臨床検査学科では、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県ならびに静岡県で臨地実習を依頼しています。

### 2. 目標

病院検査部の各部門を回る中で、次の6項目を達成することを目標とします。

- 1) 臨床検査の基本的実践技術を習得する。
- 2) 精度管理の必要性を認識する。
- 3) 検査情報から病態解析へのアプローチを習得する。
- 4) 病院・検査部の組織、運営を理解する。
- 5) コミュニケーション能力を身に付ける。
- 6) 医療人としての自覚を持つ。

### 3. 配当年次、期間、単位

3年次、後期、11単位。別に3年次、前期、1単位の「臨地実習前技能実習」が設けられています。

### 4. 指導方法

学生は医療施設に割り振られ、そこで55日の実習を行います。実施に先立って、担当教員とともに施設を訪問してご挨拶します。実習初日にオリエンテーションを受け、各施設の実習計画に従って各部門を回ります。学生は検査部の技師長、実習指導係、各部門のチーフならびにスタッフの指導・指示に従って行動します。

実習にあたり、各施設の規則に従うことが求められます。医療の現場であるとともに、一般社会の組織の中にいることをふまえ、常識と法を守る義務があります。

学生は登校日(月曜日)に、『臨地実習ノート』(教科書指定)を担当教員に提出します。教員は内容のチェックをするとともに、連絡と相談を受けます。実習の途中で教員は実習施設に伺い、学生の様子について確認します。

### 5. 臨地実習の前後に大学で行うこと

臨地実習では、医療施設の患者の身体・検体の複数種類の検査を学生が直接実施します。そこで「臨地実習前技能実習」の接遇・実技指導および接遇・実技試験(含、筆記試験)を通じて、臨地実習先医療施設の医療の質と安全を確保するに十分な接遇態度と手技を備えていることを確認します。実習後にも到達度確認筆記試験(アセスメント試験)を行い、専門知識の定着度を評価します。

臨地実習終了後、報告会を行い、各施設での体験を共有します。また、実習指導者会議を2回催します。出席する実習施設の担当者と情報交換する機会になります。

### 6. 成績評価法

実習施設の評価と学内評価の合計で判定します。学内評価は臨地実習後の到達度確認試験、レポートなどで総合的に行います。

# 臨地実習について【2021(令和3)年度以前の入学者用】

## 1. 概要

臨地実習は、専門科目の総合的な実践技術、医療現場の管理・運営に関する基礎知識・態度、ならびに倫理観・人間性、医療チームの一員としての自覚と責任感を獲得するために保健学系教育の中で広く行われるものです。臨床検査学科では、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県ならびに静岡県で臨地実習を依頼しています。

## 2. 目標

病院検査部の各部門を回る中で、次の6項目を達成することを目標とします。

- 1) 臨床検査の基本的実践技術を習得する。
- 2) 精度管理の必要性を認識する。
- 3) 検査情報から病態解析へのアプローチを習得する。
- 4) 病院・検査部の組織、運営を理解する。
- 5) コミュニケーション能力を身に付ける。
- 6) 医療人としての自覚を持つ。

## 3. 配当年次、期間、単位

3年次、後期、10単位

## 4. 指導方法

学生は病院に割り振られ、そこで56日の実習を行います。一部の学生は病院で52日、検査施設で4日の実習を行います。実施に先立って、担当教員とともに施設を訪問してご挨拶します。実習初日にオリエンテーションを受け、各施設の実習計画に従って各部門を回ります。学生は検査部の技師長、実習指導係、各部門のチーフならびにスタッフの指導・指示に従って行動します。

実習にあたり、各施設の規則に従うことが求められます。医療の現場であるとともに、一般社会の組織の中にいることをふまえ、常識と法を守る義務があります。

学生は登校日(月曜日)に、『臨地実習の手引き』(教科書指定)を担当教員に提出します。教員は内容のチェックをするとともに、連絡と相談を受けます。実習の中間で教員は実習施設に伺い、学生の様子について確認します。

## 5. 臨地実習の前後に大学で行うこと

臨地実習に先立って、マナー講座と模擬患者(simulation patient, SP)実習を行います。患者と接する練習になります。

実習の前後に関門試験を行い、専門知識の定着度を評価します。また、実習指導者会議を2回催します。出席する実習施設の担当者との情報交換する機会になります。

臨地実習終了後、報告会を行い、各施設での体験を共有します。

## 6. 成績評価法

実習施設の評価と学内評価の合計で判定します。学内評価は臨地実習前・後の関門試験、SP実習、臨地実習後のレポートなどで総合的に行います。

# 文京学院大学保健医療技術学部臨床検査学科卒業研究要綱

## 1. 概要

卒業研究は、臨床検査学科の教育において、創造的な能力を養成するものとして重要な位置づけにあります。本研究では、学生は担当指導教員の下でテーマを設定し、自ら研究目的や方法を定め、実際に実験・調査し、結果をまとめ、考察し、その成果を卒業研究発表会において口頭発表します。また、定められた期日までに卒業研究論文を提出します。

## 2. 目標

講義あるいは関連実習で得た知識を有機的に結合させ、臨床検査学および関連分野に関わる研究をすすめることによって、研究の進め方、関連論文の読み方、研究報告のまとめ方、口頭発表の仕方などを学び、研究できる能力を身につけることを目標とします。

## 3. 配当年次、期間、単位

4年次、前期、10単位

## 4. 指導方法

学生は教員の所属する研究室に割り振られます。教員が窓口となって外部施設に指導を委託する場合があります。学生は、配属された研究室の担当教員の指導に基づいて研究を行います。その際、以下の注意事項に留意しなければなりません。

- 1) 実習と同様に4/5以上の出席がない場合、卒業研究単位は修得できない。
- 2) 外部機関の研究室を含め、所属研究室の約束事を遵守する。
- 3) 指導教員や所属研究員の意見をとりいれながら積極的に研究に取り組む。
- 4) 緊急連絡先は各研究室の担当者とする。但し、担当者と連絡が取れない場合には本郷キャンパス教務グループに連絡する。

## 5. 成績評価法

担当指導教員による評価（80点）と研究発表会における評価委員（臨床検査学科助手以上の教員）による評価（20点）を合わせて総合評価を行います。

## 6. 日程

論文提出日・口頭発表会日程については、後日配布する資料を参照してください。



## VII 看護学科

---

「看護師国家試験受験資格」ならびに  
「保健師国家試験受験資格」について

カリキュラムマップ

ナンバリング

カリキュラム

国家試験受験資格の授業科目履修方法

統合実習要綱





## VII 看護学科

### 看護学科で取得可能な「看護師国家試験受験資格」ならびに「保健師国家試験受験資格」について

#### 1. 看護職とは

看護職には、保健師、助産師、看護師、准看護師の4つの職種があります。  
本学科において国家試験受験資格を取得できる職種は、保健師と看護師です。

##### 1) 看護師とは

「保健師助産師看護師法」において、次のように定義されています。

この法律において、「看護師」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者もしくははじよく婦に対する療養上の世話又は診療の補助を行うことを業とする者をいう。

すなわち、看護師は、病気やけがをかかえて生活している人の日常性が損なわれないように援助する専門職です。

##### 2) 保健師とは

「保健師助産師看護師法」において、次のように定義されています。

この法律において、「保健師」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、保健師の名称を用いて、保健指導に従事することを業とする者をいう。

すなわち、保健師は、人々が健康な生活を送ることを目指して、人々が自分の健康問題を認識し、望ましい対処行動をとれるように、健康に関することや生活に関すること等について知識や技術、方法を教えたり、支援したりする専門職です。

看護師として、保健師として働くためには、厚生労働大臣の免許が必要であり、これには看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格をそれぞれ取得し、該当する国家試験を受験して合格しなければなりません。

#### 2. 看護師国家試験受験資格・保健師国家試験受験資格の取得条件

##### 1) 看護師国家試験受験資格

文部科学大臣が指定した学校または厚生労働大臣が指定した看護師養成所において、3年以上看護師になるために必要な学科を修めた者に与えられます。国家試験受験年の3月31日までに修業した者、または修業する見込みの者となります。

従って、本学科は文部科学大臣からの指定を受けていますので、本学科の学生は看護師の受験資格に必要な履修単位(P147～155参照)を修得し、4年次に卒業見込みとなれば、受験資格を満たし、国家試験を受験することができます。

## 2) 保健師国家試験受験資格

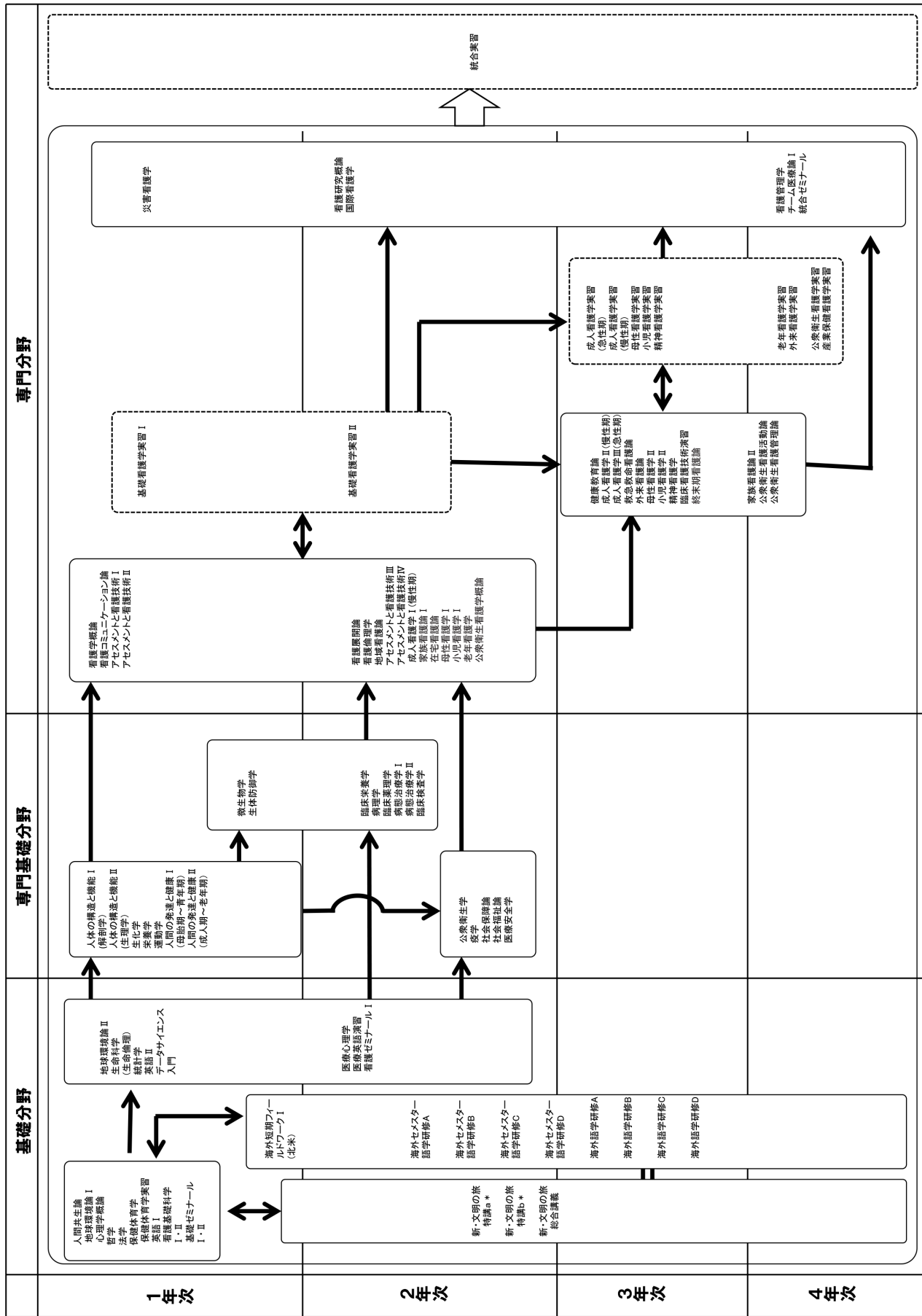
文部科学大臣が指定した学校または厚生労働大臣が指定した保健師養成所において、1年以上保健師になるために必要な学科を修めた者に与えられます。国家試験受験年の3月31日までに修業した者、または修業する見込みの者となります。

従って、本学科は文部科学大臣からの指定を受けていますので、本学科の学生は保健師の受験資格に必要な履修単位(P156～164参照)を修得し、4年次に卒業見込みとなれば、受験資格を満たし、国家試験を受験することができます。ただし、受験資格取得に必要な履修科目である「公衆衛生看護学実習」と「産業保健看護学実習」は履修人数の制限があるため選抜制となります。

## 3. 国家試験受験資格取得に必要な授業科目

看護師ならびに保健師の国家試験受験資格を取得するためには、「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」という法律に定められた内容に応じた必要単位数を修得しなければなりません。また保健師の基礎資格として看護師免許を取得していることが条件となっています。そのため、看護師国家試験を受験して不合格であれば、保健師国家試験を受験して合格であっても保健師免許を得ることはできません。「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」では、必要な教育内容について看護師は102単位以上(内、臨地実習は23単位以上)、保健師は31単位以上(内、臨地実習は5単位以上)を修学することが定められています。本学科においては、指定規則に定められた内容と単位数を担保した上で、さらにより高い質の看護職育成を目指した教育内容を組み入れ、卒業単位数としています。特に臨地実習は、講義や演習(学内実習)により学修した知識・技能の統合を図りながら実際に対象の人々に実践を提供する重要な授業科目であるため、履修するにあたり保健医療技術学部臨床実習・臨地実習履修規程第6条に定める実習の要件を満たさなければなりません。日々の学修を大切にして、一つひとつの知識と技能を自分のものにして下さい。

# 文京学院大学 保健医療技術学部 看護学科 カリキュラムマップ



2023.12.18 作成

\*新・文明の旅特講a・bについては、1～3年の配当

## 保健医療技術学部科目ナンバリング体系（看護学科）

### 11桁の英数字を使用

科目グループ + 配当年次 + 単位数 + 学科番号 + 科目特定番号

サンプル **UNIV102NS01**

①                      ②                      ③                      ④                      ⑤

①科目グループ：4つのアルファベット（下記の表）

②配当年次：1：1年次・2：2年次・3：3年次・4：4年次

※配当年次1・2・3・4の場合は1で表記（履修できる最小年次で表記）

③単位数：2桁で表示

④学科番号：PT：理学療法学科・OT：作業療法学科・CM：臨床検査学科・NS：看護学科

⑤科目特定番号：01～50までの番号は必修科目・51～99までの番号は選択科目

### 科目グループアルファベット対照表

看護学科

区分	区分あるいは科目グループ	科目グループ英語名称	
基本科目	大学特別科目	UNIV	University
	人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤	SCIE	Science
	学部共通留学関係科目	ABRO	Abroad
専門基礎科目	人体の構造と機能および心身の発達	HUMA	Human
	疾病の成り立ちと健康回復の促進	DISE	Disease
	健康の保持・増進と社会保障	HEAL	Health
専門科目	看護の基本	FUND	Fundamental Nursing
	看護の実践	PRAC	Practice in Nursing
	看護の統合	INTE	Integrated Nursing

保健医療技術学部 看護学科（看護師） ナンバリング表

授業科目の名称		単位数		科目グループ	配当年次	単位数	学科	科目の特定	ナンバリング		
		必修	選択								
基礎分野	人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤	大学特別科目	人間共生論	2		UNIV	1	02	NS	01	UNIV102NS01
			データサイエンス入門	2		UNIV	1	02	NS	02	UNIV102NS02
			新・文明の旅特講 a		2	UNIV	1	02	NS	51	UNIV102NS51
			新・文明の旅特講 b		2	UNIV	1	02	NS	52	UNIV102NS52
			新・文明の旅総合講義		2	UNIV	1	02	NS	53	UNIV102NS53
			地球環境論 I		2	UNIV	1	02	NS	54	UNIV102NS54
			地球環境論 II		2	UNIV	1	02	NS	55	UNIV102NS55
		心理学概論	2		SCIE	1	02	NS	01	SCIE102NS01	
		生命科学（生命倫理）	2		SCIE	1	02	NS	02	SCIE102NS02	
		哲学		2	SCIE	1	02	NS	51	SCIE102NS51	
		法学		2	SCIE	1	02	NS	52	SCIE102NS52	
		医療心理学		2	SCIE	2	02	NS	53	SCIE202NS53	
		保健体育学		2	SCIE	1	02	NS	54	SCIE102NS54	
		保健体育学実習		1	SCIE	1	01	NS	55	SCIE101NS55	
		英語 I	1		SCIE	1	01	NS	03	SCIE101NS03	
		英語 II	1		SCIE	1	01	NS	04	SCIE101NS04	
		医療英語演習	1		SCIE	2	01	NS	05	SCIE201NS05	
		統計学（保健統計学含む）	2		SCIE	1	02	NS	06	SCIE102NS06	
	看護基礎科学 I	2		SCIE	1	02	NS	07	SCIE102NS07		
	看護基礎科学 II	2		SCIE	1	02	NS	08	SCIE102NS08		
	基礎ゼミナール I	1		SCIE	1	01	NS	09	SCIE101NS09		
	基礎ゼミナール II	1		SCIE	1	01	NS	10	SCIE101NS10		
	看護ゼミナール I	1		SCIE	2	01	NS	11	SCIE201NS11		
	海外短期フィールドワーク I（北米）		2	SCIE	1	02	NS	56	SCIE102NS56		
	学部共通留学関係科目	海外セメスター語学研修A		1	ABRO	1	01	NS	67	ABRO101NS62	
		海外セメスター語学研修B		2	ABRO	1	02	NS	68	ABRO102NS63	
		海外セメスター語学研修C		4	ABRO	1	04	NS	69	ABRO104NS64	
		海外セメスター語学研修D		5	ABRO	1	05	NS	70	ABRO105NS65	
海外語学研修A			2	ABRO	1	02	NS	71	ABRO102NS66		
海外語学研修B			2	ABRO	1	02	NS	72	ABRO102NS67		
海外語学研修C			2	ABRO	1	02	NS	73	ABRO102NS68		
海外語学研修D			2	ABRO	1	02	NS	74	ABRO102NS69		
専門基礎分野	人々の心身の発達	人体の構造と機能 I（解剖学）	3		HUMA	1	03	NS	01	HUMA103NS01	
		人体の構造と機能 II（生理学）	3		HUMA	1	03	NS	02	HUMA103NS02	
		生化学	2		HUMA	1	02	NS	03	HUMA102NS03	
		栄養学	1		HUMA	1	01	NS	04	HUMA101NS04	
		臨床栄養学	1		HUMA	2	01	NS	05	HUMA201NS05	
		運動学		1	HUMA	1	01	NS	51	HUMA101NS51	
		人間の発達と健康 I（母胎期～青年期）	2		HUMA	1	02	NS	06	HUMA102NS06	
		人間の発達と健康 II（成人期～老年期）	2		HUMA	1	02	NS	07	HUMA102NS07	
		疾病の成り立ちと健康回復の促進	病理学	2		DISE	2	02	NS	01	DISE202NS01
			微生物学	2		DISE	1	02	NS	02	DISE102NS02
	生体防御学		1		DISE	1	01	NS	03	DISE101NS03	
	臨床薬理学		2		DISE	2	02	NS	04	DISE202NS04	
	病態治療学 I		2		DISE	2	02	NS	05	DISE202NS05	
	病態治療学 II		2		DISE	2	02	NS	06	DISE202NS06	
	臨床検査学		2		DISE	2	02	NS	07	DISE202NS07	
	増進と社会保障		公衆衛生学	1		HEAL	2	01	NS	01	HEAL201NS01
			疫学	2		HEAL	2	02	NS	02	HEAL202NS02
			社会保障論	2		HEAL	2	02	NS	03	HEAL202NS03
			社会福祉論 ※		2	HEAL	2	02	NS	51	HEAL202NS51
	医療安全学		1		HEAL	2	01	NS	04	HEAL201NS04	

保健医療技術学部 看護学科（看護師） ナンバリング表

授業科目の名称		単位数		科目グループ	配当年次	単位数	学科	科目の特定	ナンバリング	
		必修	選択							
看護の基本	看護学概論	2		FUND	1	02	NS	01	FUND102NS01	
	看護コミュニケーション論	1		FUND	1	01	NS	02	FUND101NS02	
	看護展開論	1		FUND	2	01	NS	03	FUND201NS03	
	看護倫理学	1		FUND	2	01	NS	04	FUND201NS04	
	アセスメントと看護技術Ⅰ	1		FUND	1	01	NS	05	FUND101NS05	
	アセスメントと看護技術Ⅱ	2		FUND	1	02	NS	06	FUND102NS06	
	アセスメントと看護技術Ⅲ	2		FUND	2	02	NS	07	FUND202NS07	
	アセスメントと看護技術Ⅳ	2		FUND	2	02	NS	08	FUND202NS08	
	地域看護論	2		FUND	2	02	NS	09	FUND202NS09	
	健康教育論	1		FUND	3	01	NS	10	FUND301NS10	
	基礎看護学実習Ⅰ	1		FUND	1	01	NS	11	FUND101NS11	
	基礎看護学実習Ⅱ	2		FUND	2	02	NS	12	FUND202NS12	
	専門分野	看護の実践	成人看護学Ⅰ（慢性期）	1		PRAC	2	01	NS	01
成人看護学Ⅱ（慢性期）			2		PRAC	3	02	NS	02	PRAC302NS02
成人看護学Ⅲ（急性期）			3		PRAC	3	03	NS	03	PRAC303NS03
終末期看護論			1		PRAC	3	01	NS	04	PRAC301NS04
救急救命看護論				1	PRAC	3	01	NS	51	PRAC301NS51
家族看護論Ⅰ			1		PRAC	2	01	NS	05	PRAC201NS05
家族看護論Ⅱ			1		PRAC	4	01	NS	06	PRAC401NS06
在宅看護論			2		PRAC	2	02	NS	07	PRAC202NS07
外来看護論			1		PRAC	3	01	NS	08	PRAC301NS08
母性看護学Ⅰ			1		PRAC	2	01	NS	09	PRAC201NS09
母性看護学Ⅱ			2		PRAC	3	02	NS	10	PRAC302NS10
小児看護学Ⅰ			1		PRAC	2	01	NS	11	PRAC201NS11
小児看護学Ⅱ			2		PRAC	3	02	NS	12	PRAC302NS12
精神看護学		3		PRAC	3	03	NS	13	PRAC303NS13	
老年看護学		3		PRAC	2	03	NS	14	PRAC203NS14	
臨床看護技術演習		1		PRAC	3	01	NS	15	PRAC301NS15	
公衆衛生看護学概論		2		PRAC	2	02	NS	16	PRAC202NS16	
公衆衛生看護学活動論 ※			2	PRAC	4	02	NS	52	PRAC402NS52	
公衆衛生看護学管理論 ※			2	PRAC	4	02	NS	53	PRAC402NS53	
成人看護学実習（急性期）		3		PRAC	3	03	NS	17	PRAC303NS17	
成人看護学実習（慢性期）		3		PRAC	3	03	NS	18	PRAC303NS18	
老年看護学実習		3		PRAC	4	03	NS	19	PRAC403NS19	
外来看護実習		1		PRAC	4	01	NS	20	PRAC401NS20	
母性看護学実習		2		PRAC	3	02	NS	21	PRAC302NS21	
小児看護学実習		2		PRAC	3	02	NS	22	PRAC302NS22	
精神看護学実習		2		PRAC	3	02	NS	23	PRAC302NS23	
公衆衛生看護学実習 ※			4	PRAC	4	04	NS	54	PRAC404NS54	
産業保健看護学実習 ※			1	PRAC	4	01	NS	55	PRAC401NS55	
看護の統合	看護研究概論	1		INTE	2	01	NS	01	INTE201NS01	
	看護管理学	2		INTE	4	02	NS	02	INTE402NS02	
	チーム医療論Ⅰ	1		INTE	4	01	NS	03	INTE401NS03	
	国際看護学		1	INTE	2	01	NS	51	INTE201NS51	
	災害看護学		1	INTE	1	01	NS	52	INTE101NS52	
	統合ゼミナール	1		INTE	4	01	NS	04	INTE401NS04	
統合実習	4		INTE	4	04	NS	05	INTE404NS05		

保健医療技術学部 看護学科（保健師） ナンバリング表

授業科目の名称		単位数		科目グループ	配当年次	単位数	学科	科目の特定	ナンバリング		
		必修	選択								
基礎分野	人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤	大学特別科目	人間共生論	2		UNIV	1	02	NS	01	UNIV102NS01
			データサイエンス入門	2		UNIV	1	02	NS	02	UNIV102NS02
			新・文明の旅特講 a		2	UNIV	1	02	NS	51	UNIV102NS51
			新・文明の旅特講 b		2	UNIV	1	02	NS	52	UNIV102NS52
			新・文明の旅総合講義		2	UNIV	1	02	NS	53	UNIV102NS53
			地球環境論 I		2	UNIV	1	02	NS	54	UNIV102NS54
			地球環境論 II		2	UNIV	1	02	NS	55	UNIV102NS55
		心理学概論	2		SCIE	1	02	NS	01	SCIE102NS01	
		生命科学（生命倫理）	2		SCIE	1	02	NS	02	SCIE102NS02	
		哲学		2	SCIE	1	02	NS	51	SCIE102NS51	
		法学		2	SCIE	1	02	NS	52	SCIE102NS52	
		医療心理学		2	SCIE	2	02	NS	53	SCIE202NS53	
		保健体育学		2	SCIE	1	02	NS	54	SCIE102NS54	
		保健体育学実習		1	SCIE	1	01	NS	55	SCIE101NS55	
		英語 I	1		SCIE	1	01	NS	03	SCIE101NS03	
		英語 II	1		SCIE	1	01	NS	04	SCIE101NS04	
		医療英語演習	1		SCIE	2	01	NS	05	SCIE201NS05	
		統計学（保健統計学含む）	2		SCIE	1	02	NS	06	SCIE102NS06	
	看護基礎科学 I	2		SCIE	1	02	NS	07	SCIE102NS07		
	看護基礎科学 II	2		SCIE	1	02	NS	08	SCIE102NS08		
	基礎ゼミナール I	1		SCIE	1	01	NS	09	SCIE101NS09		
	基礎ゼミナール II	1		SCIE	1	01	NS	10	SCIE101NS10		
	看護ゼミナール I	1		SCIE	2	01	NS	11	SCIE201NS11		
	海外短期フィールドワーク I（北米）		2	SCIE	1	02	NS	56	SCIE102NS56		
	学部共通留学関係科目	海外セメスター語学研修 A		1	ABRO	1	01	NS	67	ABRO101NS62	
		海外セメスター語学研修 B		2	ABRO	1	02	NS	68	ABRO102NS63	
		海外セメスター語学研修 C		4	ABRO	1	04	NS	69	ABRO104NS64	
		海外セメスター語学研修 D		5	ABRO	1	05	NS	70	ABRO105NS65	
海外語学研修 A			2	ABRO	1	02	NS	71	ABRO102NS66		
海外語学研修 B			2	ABRO	1	02	NS	72	ABRO102NS67		
海外語学研修 C			2	ABRO	1	02	NS	73	ABRO102NS68		
海外語学研修 D			2	ABRO	1	02	NS	74	ABRO102NS69		
専門基礎分野	人々の心身の発達	人体の構造と機能 I（解剖学）	3		HUMA	1	03	NS	01	HUMA103NS01	
		人体の構造と機能 II（生理学）	3		HUMA	1	03	NS	02	HUMA103NS02	
		生化学	2		HUMA	1	02	NS	03	HUMA102NS03	
		栄養学	1		HUMA	1	01	NS	04	HUMA101NS04	
		臨床栄養学	1		HUMA	2	01	NS	05	HUMA201NS05	
		運動学		1	HUMA	1	01	NS	51	HUMA101NS51	
		人間の発達と健康 I（母胎期～青年期）	2		HUMA	1	02	NS	06	HUMA102NS06	
		人間の発達と健康 II（成人期～老年期）	2		HUMA	1	02	NS	07	HUMA102NS07	
		病理学	2		DISE	2	02	NS	01	DISE202NS01	
		微生物学	2		DISE	1	02	NS	02	DISE102NS02	
	疾病の成り立ちと健康回復の促進	生体防御学	1		DISE	1	01	NS	03	DISE101NS03	
		臨床薬理学	2		DISE	2	02	NS	04	DISE202NS04	
		病態治療学 I	2		DISE	2	02	NS	05	DISE202NS05	
		病態治療学 II	2		DISE	2	02	NS	06	DISE202NS06	
		臨床検査学	2		DISE	2	02	NS	07	DISE202NS07	
		増進と社会保障	公衆衛生学	1		HEAL	2	01	NS	01	HEAL201NS01
			疫学	2		HEAL	2	02	NS	02	HEAL202NS02
			社会保障論	2		HEAL	2	02	NS	03	HEAL202NS03
			社会福祉論	2		HEAL	2	02	NS	04	HEAL202NS04
			医療安全学	1		HEAL	2	01	NS	05	HEAL201NS05

保健医療技術学部 看護学科（保健師） ナンバリング表

授業科目の名称		単位数		科目グループ	配当年次	単位数	学科	科目の特定	ナンバリング	
		必修	選択							
看護の基本	看護学概論	2		FUND	1	02	NS	01	FUND102NS01	
	看護コミュニケーション論	1		FUND	1	01	NS	02	FUND101NS02	
	看護展開論	1		FUND	2	01	NS	03	FUND201NS03	
	看護倫理学	1		FUND	2	01	NS	04	FUND201NS04	
	アセスメントと看護技術Ⅰ	1		FUND	1	01	NS	05	FUND101NS05	
	アセスメントと看護技術Ⅱ	2		FUND	1	02	NS	06	FUND102NS06	
	アセスメントと看護技術Ⅲ	2		FUND	2	02	NS	07	FUND202NS07	
	アセスメントと看護技術Ⅳ	2		FUND	2	02	NS	08	FUND202NS08	
	地域看護論	2		FUND	2	02	NS	09	FUND202NS09	
	健康教育論	1		FUND	3	01	NS	10	FUND301NS10	
	基礎看護学実習Ⅰ	1		FUND	1	01	NS	11	FUND101NS11	
	基礎看護学実習Ⅱ	2		FUND	2	02	NS	12	FUND202NS12	
	専門分野	看護の実践	成人看護学Ⅰ（慢性期）	1		PRAC	2	01	NS	01
成人看護学Ⅱ（慢性期）			2		PRAC	3	02	NS	02	PRAC302NS02
成人看護学Ⅲ（急性期）			3		PRAC	3	03	NS	03	PRAC303NS03
終末期看護論			1		PRAC	3	01	NS	04	PRAC301NS04
救急救命看護論				1	PRAC	3	01	NS	51	PRAC301NS51
家族看護論Ⅰ			1		PRAC	2	01	NS	05	PRAC201NS05
家族看護論Ⅱ			1		PRAC	4	01	NS	06	PRAC401NS06
在宅看護論			2		PRAC	2	02	NS	07	PRAC202NS07
外来看護論			1		PRAC	3	01	NS	08	PRAC301NS08
母性看護学Ⅰ			1		PRAC	2	01	NS	09	PRAC201NS09
母性看護学Ⅱ			2		PRAC	3	02	NS	10	PRAC302NS10
小児看護学Ⅰ			1		PRAC	2	01	NS	11	PRAC201NS11
小児看護学Ⅱ			2		PRAC	3	02	NS	12	PRAC302NS12
精神看護学		3		PRAC	3	03	NS	13	PRAC303NS13	
老年看護学		3		PRAC	2	03	NS	14	PRAC203NS14	
臨床看護技術演習		1		PRAC	3	01	NS	15	PRAC301NS15	
公衆衛生看護学概論		2		PRAC	2	02	NS	16	PRAC202NS16	
公衆衛生看護学活動論		2		PRAC	4	02	NS	17	PRAC402NS17	
公衆衛生看護学管理論		2		PRAC	4	02	NS	18	PRAC402NS18	
成人看護学実習（急性期）		3		PRAC	3	03	NS	19	PRAC303NS19	
成人看護学実習（慢性期）		3		PRAC	3	03	NS	20	PRAC303NS20	
老年看護学実習		3		PRAC	4	03	NS	21	PRAC403NS21	
外来看護実習		1		PRAC	4	01	NS	22	PRAC401NS22	
母性看護学実習		2		PRAC	3	02	NS	23	PRAC302NS23	
小児看護学実習		2		PRAC	3	02	NS	24	PRAC302NS24	
精神看護学実習		2		PRAC	3	02	NS	25	PRAC302NS25	
公衆衛生看護学実習		4		PRAC	4	04	NS	26	PRAC404NS26	
産業保健看護学実習		1		PRAC	4	01	NS	27	PRAC401NS27	
看護の統合		看護研究概論	1		INTE	2	01	NS	01	INTE201NS01
		看護管理学	2		INTE	4	02	NS	02	INTE402NS02
	チーム医療論Ⅰ	1		INTE	4	01	NS	03	INTE401NS03	
	国際看護学		1	INTE	2	01	NS	51	INTE201NS51	
	災害看護学		1	INTE	1	01	NS	52	INTE101NS52	
	統合ゼミナール	1		INTE	4	01	NS	04	INTE401NS04	
統合実習	4		INTE	4	04	NS	05	INTE404NS05		



• 2023 (令和5) 年度以降の入学用 •

表 1-1 保健医療技術学部 看護学科 カリキュラム

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数	
				必修	選択	前期	後期
基 礎 分 野	大学特別科目	人間共生論	講義	1	2		30
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2	30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30
		地球環境論Ⅰ	講義	1		2	30
		地球環境論Ⅱ	講義	1		2	30
		データサイエンス入門	講義	1	2		30
	人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤	心理学概論	講義	1	2		30
		生命科学 (生命倫理)	講義	1	2		30
		哲学	講義	1		2	30
		法学	講義	1		2	30
		医療心理学	講義	2		2	30
		保健体育学	講義	1		2	30
		保健体育学実習	実習	1		1	30
		英語Ⅰ	演習	1	1		30
		英語Ⅱ	演習	1	1		30
		医療英語演習	演習	2	1		30
		統計学 (保健統計学含む)	講義(演習含む)	1	2		45
		看護基礎科学Ⅰ	講義	1	2		30
		看護基礎科学Ⅱ	講義	1	2		30
		基礎ゼミナールⅠ	講義	1	1		15
	基礎ゼミナールⅡ	演習	1	1		15	
	看護ゼミナールⅠ	演習	2	1		30	
	海外短期フィールドワークⅠ (北米)	演習	1・2・3・4		2	60	
	学部共通留学関係科目	海外セメスター語学研修A	実習	2・3・4		1	
		海外セメスター語学研修B	実習	2・3・4		2	
		海外セメスター語学研修C	実習	2・3・4		4	
		海外セメスター語学研修D	実習	2・3・4		5	
海外語学研修A		実習	2・3・4		2		
海外語学研修B		実習	2・3・4		2		
海外語学研修C		実習	2・3・4		2		
海外語学研修D		実習	2・3・4		2		
専 門 基 礎 分 野	および心身の発達	人体の構造と機能Ⅰ (解剖学)	講義(演習含む)	1	3		60
		人体の構造と機能Ⅱ (生理学)	講義(演習含む)	1	3		60
		生化学	講義	1	2		30
		栄養学	講義	1	1		15
		臨床栄養学	講義	2	1		15
		運動学	講義	1		1	15
		人間の発達と健康Ⅰ (母胎期～青年期)	講義	1	2		30
	人間の発達と健康Ⅱ (成人期～老年期)	講義	1	2		15	
	疾病の成り立ちと健康回復の促進	病理学	講義	2	2		30
		微生物学	講義	1	2		30
		生体防御学	講義	1	1		15
		臨床薬理学	講義	2	2		30
		病態治療学Ⅰ	講義	2	2		30
		病態治療学Ⅱ	講義	2	2		30
		臨床検査学	講義	2	2		30
	増進と社会保	公衆衛生学	講義	2	1		15
		疫学	講義	2	2		30
社会保障論		講義	2	2		30	
社会福祉論		講義	2		2	30	
医療安全学		講義	2	1		30	

● 2023 (令和5) 年度以降の入学者用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 看護学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数				
				必修	選択	前期	後期			
専	基本	看護学概論	講義	1	2		30			
		看護コミュニケーション論	演習	1	1		30			
		看護展開論	講義	2	1		15			
		看護倫理学	講義	2	1		30			
		アセスメントと看護技術Ⅰ	演習	1	1		30			
		アセスメントと看護技術Ⅱ	演習	1	2			60		
		アセスメントと看護技術Ⅲ	演習	2	2		60			
		アセスメントと看護技術Ⅳ	演習	2	2			60		
		地域看護論	講義	2	2		15	15		
		健康教育論	演習	3	1		30			
		基礎看護学実習Ⅰ	実習	1	1			45		
		基礎看護学実習Ⅱ	実習	2	2		45	45		
門	看護の 実践	成人看護学Ⅰ (慢性期)	演習	2	1		30			
		成人看護学Ⅱ (慢性期)	演習	3	2		60			
		成人看護学Ⅲ (急性期)	講義(演習含む)	3	3		45			
		終末期看護論	講義	3	1		15			
		救急救命看護論	講義	3		1	15			
		家族看護論Ⅰ	講義	2	1		7.5	7.5		
		家族看護論Ⅱ	講義	4	1		15			
		在宅看護論	講義	2	2		15	15		
		外来看護論	講義	3	1		15			
		母性看護学Ⅰ	講義	2	1		15			
		母性看護学Ⅱ	講義(演習含む)	3	2		60			
		小児看護学Ⅰ	講義(演習含む)	2	1		15			
		小児看護学Ⅱ	講義(演習含む)	3	2		60			
		精神看護学	講義(演習含む)	3	3		60			
		老年看護学	講義(演習含む)	2	3			60		
		臨床看護技術演習	演習	3	1		15	15		
		公衆衛生看護学概論	講義(演習含む)	2	2			45		
		公衆衛生看護活動論	講義(演習含む)	4		2	45			
		公衆衛生看護管理論	講義	4		2		30		
		成人看護学実習 (急性期)	実習	3	3			135		
		成人看護学実習 (慢性期)	実習	3	3			135		
		老年看護学実習	実習	4	3		70	65		
		外来看護実習	実習	4	1		45			
		母性看護学実習	実習	3	2			90		
		小児看護学実習	実習	3	2			90		
		精神看護学実習	実習	3	2			90		
		公衆衛生看護学実習	実習	4		4	180			
		産業保健看護学実習	実習	4		1	25	20		
		野	看護の 統合	看護研究概論	講義	2	1		7.5	7.5
				看護管理学	講義	4	2			30
				チーム医療論Ⅰ	講義	4	1		15	
				国際看護学	講義	2		1		15
災害看護学	講義			1		1		15		
統合ゼミナール	演習			4	1			30		
統合実習	実習			4	4		90	90		

履修の方法及び卒業の要件

1. 保健医療技術学部看護学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野科目、専門基礎分野科目、専門分野科目の中から必修を含め128単位以上を修得しなければならない。
2. 各分野の履修方法については別に定める。
3. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤の領域として扱う。

• 2022 (令和4) 年度の入学者用 •

表 1-2 保健医療技術学部 看護学科 カリキュラム

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数		
				必修	選択	前期	後期	
基礎分野	大学特別科目	人間共生論	講義	1	2		30	
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2	30	
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
		地球環境論Ⅰ	講義	1		2	30	
		地球環境論Ⅱ	講義	1		2	30	
	人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤	心理学概論	講義	1	2		30	
		生命科学 (生命倫理)	講義	1	2		30	
		哲学	講義	1		2	30	
		法学	講義	1		2	30	
		医療心理学	講義	2		2	30	
		保健体育学	講義	1		2	30	
		保健体育学実習	実習	1		1	30	
		英語Ⅰ	演習	1	1		30	
		英語Ⅱ	演習	1	1		30	
		医療英語演習	演習	2	1		30	
		統計学 (保健統計学含む)	講義 (演習含む)	1	2		45	
		看護基礎科学Ⅰ	講義	1	2		30	
		看護基礎科学Ⅱ	講義	1	2		30	
		基礎ゼミナールⅠ	講義	1	1		15	
	基礎ゼミナールⅡ	演習	1	1		15		
	看護ゼミナールⅠ	演習	2	1		30		
	海外短期フィールドワークⅠ (北米)	演習	1・2・3・4		2	60		
	学部共通留学関係科目	海外個人フィールドワーク (日本語)Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク (日本語)Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90	
		海外セメスター語学研修Ⅰ	実習	2・3・4		4	180	
		海外個人フィールドワーク (英語)Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク (英語)Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク (英語)Ⅱ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク (英語)Ⅱ b	実習	2・3・4		2	90	
		海外セメスター語学研修Ⅱ	実習	2・3・4		4	180	
		海外語学 (英語) 研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学 (英語) 研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学 (該当英語外) 研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学 (該当英語外) 研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学 (中国語) 研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90	
海外語学 (中国語) 研修Ⅱ		実習	2・3・4		2	90		
専門基礎分野		および心身の発達	人体の構造と機能Ⅰ (解剖学)	講義 (演習含む)	1	3		60
			人体の構造と機能Ⅱ (生理学)	講義 (演習含む)	1	3		60
	生化学		講義	1	2		30	
	栄養学		講義	1	1		15	
	臨床栄養学		講義	2	1		15	
	運動学		講義	1		1	15	
	人間の発達と健康Ⅰ (母胎期～青年期)		講義	1	2		30	
	人間の発達と健康Ⅱ (成人期～老年期)		講義	1	2		15	
	疾病の成り立ちと健康回復の促進	病理学	講義	2	2		30	
		微生物学	講義	1	2		30	
		生体防御学	講義	1	1		15	
		臨床薬理学	講義	2	2		30	
		病態治療学Ⅰ	講義	2	2		30	
		病態治療学Ⅱ	講義	2	2		30	
		臨床検査学	講義	2	2		30	
		増進と社会保障	公衆衛生学	講義	2	1		15
	疫学		講義	2	2		30	
	社会保障論		講義	2	2		30	
社会福祉論	講義		2		2	30		
医療安全学	講義		2	1		30		

● 2022 (令和4) 年度の入学者用 ●

表 1-2 保健医療技術学部 看護学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数		
				必修	選択	前期	後期	
専	基本	看護学概論	講義	1	2		30	
		看護コミュニケーション論	演習	1	1		30	
		看護展開論	講義	2	1		15	
		看護倫理学	講義	2	1		30	
		アセスメントと看護技術Ⅰ	演習	1	1		30	
		アセスメントと看護技術Ⅱ	演習	1	2			60
		アセスメントと看護技術Ⅲ	演習	2	2		60	
		アセスメントと看護技術Ⅳ	演習	2	2			60
		地域看護論	講義	2	2		15	15
		健康教育論	演習	3	1		30	
		基礎看護学実習Ⅰ	実習	1	1			45
基礎看護学実習Ⅱ	実習	2	2		45	45		
門	看護の 実践	成人看護学Ⅰ (慢性期)	演習	2	1		30	
		成人看護学Ⅱ (慢性期)	演習	3	2		60	
		成人看護学Ⅲ (急性期)	講義(演習含む)	3	3		45	
		終末期看護論	講義	3	1		15	
		救急救命看護論	講義	3		1	15	
		家族看護論Ⅰ	講義	2	1		7.5	7.5
		家族看護論Ⅱ	講義	4	1		15	
		在宅看護論	講義	2	2		15	15
		外来看護論	講義	3	1		15	
		母性看護学Ⅰ	講義	2	1		15	
		母性看護学Ⅱ	講義(演習含む)	3	2		60	
野	看護の 実践	小児看護学Ⅰ	講義(演習含む)	2	1		15	
		小児看護学Ⅱ	講義(演習含む)	3	2		60	
		精神看護学	講義(演習含む)	3	3		60	
		老年看護学	講義(演習含む)	2	3			60
		臨床看護技術演習	演習	3	1		15	15
		公衆衛生看護学概論	講義(演習含む)	2	2			45
		公衆衛生看護活動論	講義(演習含む)	4		2	45	
		公衆衛生看護管理論	講義	4		2		30
		成人看護学実習 (急性期)	実習	3	3			135
		成人看護学実習 (慢性期)	実習	3	3			135
		老年看護学実習	実習	4	3		70	65
野	看護の 統合	外来看護実習	実習	4	1		45	
		母性看護学実習	実習	3	2			90
		小児看護学実習	実習	3	2			90
		精神看護学実習	実習	3	2			90
		公衆衛生看護学実習	実習	4		4	180	
		産業保健看護学実習	実習	4		1	25	20
		看護研究概論	講義	2	1		7.5	7.5
		看護管理学	講義	4	2			30
		チーム医療論Ⅰ	講義	4	1		15	
		国際看護学	講義	2		1		15
		災害看護学	講義	1		1		15
統合ゼミナール	演習	4	1			30		
統合実習	実習	4	4		90	90		

履修の方法及び卒業の要件

1. 保健医療技術学部看護学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野科目、専門基礎分野科目、専門分野科目の中から必修を含め126単位以上を修得しなければならない。
2. 各分野の履修方法については別に定める。
3. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤の領域として扱う。

● 2018 (平成30) ~ 2021 (令和3) 年度の入学者用 ●

表 1-3 保健医療技術学部 看護学科 カリキュラム

		授業科目の名称	形態	配当年次	単位数		時間数	
					必修	選択	前期	後期
基礎分野	大学特別科目	人間共生論	講義	1	2		30	
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
		地球環境論Ⅰ	講義	1		2	30	
		地球環境論Ⅱ	講義	1		2		30
	人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤	心理学概論	講義	1	2		30	
		生命科学 (生命倫理)	講義	1	2			30
		哲学	講義	1		2		30
		法学	講義	1		2	30	
		医療心理学	講義	2		2		30
		保健体育学	講義	1		2	30	
		保健体育学実習	実習	1		1	30	
		英語Ⅰ	演習	1	1		30	
		英語Ⅱ	演習	1	1			30
		医療英語演習	演習	2	1		30	
		統計学 (保健統計学含む)	講義 (演習含む)	1	2			45
		看護基礎科学Ⅰ	講義	1	2		30	
		看護基礎科学Ⅱ	講義	1	2		30	
		基礎ゼミナールⅠ	講義	1	1		15	
		基礎ゼミナールⅡ	演習	1	1		15	15
	看護ゼミナールⅠ	演習	2	1		30		
	看護ゼミナールⅡ	演習	3	1		30		
	海外短期フィールドワークⅠ (北米)	演習	1・2・3・4		2	60		
	学部共通留学関係科目	海外個人フィールドワーク (日本語)Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク (日本語)Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90	
		海外セメスター語学研修Ⅰ	実習	2・3・4		4	180	
		海外個人フィールドワーク (日本語)Ⅱ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク (日本語)Ⅱ b	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク (英語)Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク (英語)Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク (英語)Ⅱ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク (英語)Ⅱ b	実習	2・3・4		2	90	
海外セメスター語学研修Ⅱ		実習	2・3・4		4	180		
海外語学 (英語) 研修Ⅰ		実習	2・3・4		2	90		
海外語学 (英語) 研修Ⅱ		実習	2・3・4		2	90		
専門基礎分野	および心身の発達	人体の構造と機能Ⅰ (解剖学)	講義 (演習含む)	1	3		60	
		人体の構造と機能Ⅱ (生理学)	講義 (演習含む)	1	3			60
		生化学	講義	1	2			30
		栄養学	講義	1	1			15
		臨床栄養学	講義	2	1			15
		運動学	講義	1		1		15
		人間の発達と健康Ⅰ (母胎期~青年期)	講義	1	2		30	
		人間の発達と健康Ⅱ (成人期~老年期)	講義	1	2			30
	疾病の成り立ちと健康回復の促進	病理学	講義	2	2		30	
		微生物学	講義	1	2			30
		生体防御学	講義	1	1			15
		臨床薬理学	講義	2	2		30	
		病態治療学Ⅰ	講義	2	2		30	
		病態治療学Ⅱ	講義	2	2		30	
		臨床検査学	講義	2	2			30
増進と社会保障	公衆衛生学	講義	2	1		15		
	疫学	講義	2	2			30	
	社会保障論	講義	2	2			30	
	社会福祉論	講義	2		2		30	
	医療安全学	講義	2	1			30	

● 2018 (平成30) ~ 2021 (令和3) 年度の入学用 ●

表 1-3 保健医療技術学部 看護学科 カリキュラム (続き)

授業科目の名称		形態	配当年次	単位数		時間数			
				必修	選択	前期	後期		
専	基 本	看護学概論	講義	1	2		30		
		看護コミュニケーション論	演習	1	1		30		
		看護展開論	講義	2	1		15		
		看護倫理学	講義	2	1		30		
		アセスメントと看護技術Ⅰ	演習	1	1		30		
		アセスメントと看護技術Ⅱ	演習	1	2		60		
		アセスメントと看護技術Ⅲ	演習	2	2		60		
		アセスメントと看護技術Ⅳ	演習	2	2		60		
		地域看護論	講義	2	2		30		
		健康教育論	演習	3	1		30		
		基礎看護学実習Ⅰ	実習	1	1		45		
		基礎看護学実習Ⅱ	実習	2	1		45		
		基礎看護学実習Ⅲ	実習	2	2		90		
門	実 践	成人看護学Ⅰ (慢性期)	演習	2	1		30		
		成人看護学Ⅱ (慢性期)	演習	3	2		60		
		成人看護学Ⅲ (急性期)	講義 (演習含む)	3	3		45		
		終末期看護論	講義	2	1		15		
		救急救命看護論	講義	3	1	1	15		
		家族看護論Ⅰ	講義	2	1		7.5		
		家族看護論Ⅱ	講義	4	1		15		
		在宅看護論	講義	2	2		15		
		外来看護論	講義	3	1		15		
		母性看護学Ⅰ	講義	2	1		15		
		母性看護学Ⅱ	講義 (演習含む)	3	2		60		
		小児看護学Ⅰ	講義 (演習含む)	2	1		15		
		小児看護学Ⅱ	講義 (演習含む)	3	2		60		
		精神看護学	講義 (演習含む)	3	3		60		
		老年看護学	講義 (演習含む)	2	3		60		
		臨床看護技術演習	演習	3	1		30		
		公衆衛生看護学概論	講義 (演習含む)	2	2		45		
		公衆衛生看護活動論	講義 (演習含む)	4		2	45		
		公衆衛生看護管理論	講義	4		2	30		
		成人看護学実習 (急性期)	実習	3	3		135		
		成人看護学実習 (慢性期)	実習	3	3		135		
		老年看護学実習	実習	4	3		135		
		外来看護実習	実習	4	1		45		
		母性看護学実習	実習	3	2		90		
		小児看護学実習	実習	3	2		90		
		精神看護学実習	実習	3	2		90		
		公衆衛生看護学実習	実習	4		4	180		
		産業保健看護学実習	実習	4		1	45		
		野	統 合	看護研究概論	講義	2	1		7.5
				看護管理学	講義	4	2		30
				チーム医療論Ⅰ	講義	4	1		15
				国際看護学	講義	2		1	15
				災害看護学	講義	1		1	15
統合ゼミナール	演習			4	1		30		
統合実習	実習	4	3		135				

履修の方法及び卒業の要件

1. 保健医療技術学部看護学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野科目、専門基礎分野科目、専門分野科目の中から必修を含め126単位以上を修得しなければならない。
2. 各分野の履修方法については別に定める。
3. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤の領域として扱う。

• 2023（令和5）年度以降の入学者用 •

表 2 - 1 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
基 礎 分 野	人間と生活・社会の理解 および科学的思考の基盤	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、20単位以上修得すること。
			大学特別科目			
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論 I		2	
			地球環境論 II		2	
			データサイエンス入門	2		
			心理学概論	2		
			生命科学（生命倫理）	2		
			哲学		2	
			法学		2	
			医療心理学		2	
			保健体育学		2	
			保健体育学実習		1	
			英語 I	1		
			英語 II	1		
			医療英語演習	1		
			統計学（保健統計学含む）	2		
			看護基礎科学 I	2		
看護基礎科学 II	2					
基礎ゼミナール I	1					
基礎ゼミナール II	1					
看護ゼミナール I	1					
海外短期フィールドワーク I（北米）		2				
海外 Semester 語学研修 A		1				
海外 Semester 語学研修 B		2				
海外 Semester 語学研修 C		4				
海外 Semester 語学研修 D		5				
海外語学研修 A		2				
海外語学研修 B		2				
海外語学研修 C		2				
海外語学研修 D		2				
(小 計)	(14)		<b>20</b>	<b>41</b>		

● 2023 (令和5) 年度以降の入学者用 ●

表 2-1 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 および心身の発達	22	人体の構造と機能Ⅰ (解剖学)	3	1	専 門 基 礎 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 33 単 位 以 上 修 得 す る こ と。
	疾病の成り立ちと 健康回復の促進		人体の構造と機能Ⅱ (生理学)	3		
			生化学	2		
			栄養学	1		
臨床栄養学		1				
運動学						
人間の発達と健康Ⅰ (母胎期～青年期)		2				
人間の発達と健康Ⅱ (成人期～老年期)	2					
健康の保持・増進と 社会保障	病理学	2	2			
	微生物学	2				
	生体防御学	1				
	臨床薬理学	2				
	病態治療学Ⅰ	2				
	病態治療学Ⅱ	2				
(小 計)	公衆衛生学	1	2			
	疫学	2				
	社会保障論	2				
	社会福祉論 ※					
	医療安全学	1				
		<b>33</b>	<b>3</b>			
専 門 分 野	看護の基本	66 (うち臨地 実習 23)	看護学概論	2	専 門 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 70 単 位 以 上 修 得 す る こ と。	
	看護実践の基盤		看護コミュニケーション論	1		
看護展開論		1				
看護倫理学		1				
アセスメントと看護技術Ⅰ		1				
アセスメントと看護技術Ⅱ		2				
アセスメントと看護技術Ⅲ		2				
アセスメントと看護技術Ⅳ		2				
地域看護論		2				
健康教育論		1				
基礎看護学実習Ⅰ		1				
基礎看護学実習Ⅱ		2				
成人看護学Ⅰ (慢性期)		1				
成人看護学Ⅱ (慢性期)		2				
成人看護学Ⅲ (急性期)		3				
終末期看護論		1				
救急救命看護論						
家族看護論Ⅰ		1				
家族看護論Ⅱ		1				
在宅看護論		2				
外来看護論		1				
母性看護学Ⅰ		1				
母性看護学Ⅱ		2				
小児看護学Ⅰ		1				
小児看護学Ⅱ		2				
精神看護学		3				
老年看護学		3				
臨床看護技術演習	1					
公衆衛生看護学概論	2					
公衆衛生看護活動論 ※		2				
公衆衛生看護管理論 ※		2				



● 2023（令和5）年度以降の入学者用 ●

表 2-1 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	看護の 実践		成人看護学実習（急性期）	3		
			成人看護学実習（慢性期）	3		
			老年看護学実習	3		
			外来看護実習	1		
			母性看護学実習	2		
			小児看護学実習	2		
			精神看護学実習	2		
			公衆衛生看護学実習 ※		4	
			産業保健看護学実習 ※		1	
	看護の 統合			看護研究概論	1	
看護管理学				2		
チーム医療論Ⅰ				1		
国際看護学					1	
災害看護学					1	
統合ゼミナール				1		
統合実習				4		
	(小 計)	(66)		<b>70</b>	<b>12</b>	
	合 計	102		<b>123</b>	<b>56</b>	

※注意事項

保健師国家試験受験資格の資格要件を満たすためには、専門基礎分野において次の選択科目「社会福祉論」、および専門分野において次の選択科目「公衆衛生看護活動論」「公衆衛生看護管理論」「公衆衛生看護学実習」「産業保健看護学実習」は、必ず履修し修得すること。

• 2022 (令和4) 年度の入学者用 •

表 2-2 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目		単 位 数		備 考
					必修	選択	
基 礎 分 野	人間と生活・社会の理解 および科学的思考の基盤	14	大学 特 別 科 目	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、18単位以上修得すること。
				新・文明の旅特講 a		2	
				新・文明の旅特講 b		2	
				新・文明の旅総合講義		2	
				地球環境論 I		2	
				地球環境論 II		2	
				心理学概論	2		
				生命科学 (生命倫理)	2		
				哲学		2	
				法学		2	
				医療心理学		2	
				保健体育学		2	
				保健体育学実習		1	
				英語 I	1		
				英語 II	1		
				医療英語演習	1		
				統計学 (保健統計学含む)	2		
				看護基礎科学 I	2		
				看護基礎科学 II	2		
				基礎ゼミナール I	1		
				基礎ゼミナール II	1		
				看護ゼミナール I	1		
				海外短期フィールドワーク I (北米)		2	
				海外個人フィールドワーク (日本語) I a		2	
				海外個人フィールドワーク (日本語) I b		2	
				海外 Semester 語学研修 I		4	
				海外個人フィールドワーク (英語) I a		2	
	海外個人フィールドワーク (英語) I b		2				
	海外語学 (英語) 研修 I		2				
	海外語学 (英語) 研修 II		2				
	海外語学 (該当英語外) 研修 I		2				
	海外語学 (該当英語外) 研修 II		2				
	海外語学 (中国語) 研修 I		2				
	海外語学 (中国語) 研修 II		2				
	(小 計)	(14)		<b>18</b>	<b>45</b>		

• 2022 (令和4) 年度の入学者用 •

表 2-2 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 および心身の発達	22	人体の構造と機能Ⅰ (解剖学)	3	1	専 門 基 礎 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 33 単 位 以 上 修 得 す る こ と。
			人体の構造と機能Ⅱ (生理学)	3		
			生化学	2		
			栄養学	1		
	臨床栄養学	1				
	運動学					
	人間の発達と健康Ⅰ (母胎期～青年期)	2				
	人間の発達と健康Ⅱ (成人期～老年期)	2				
	病理学	2	2			
疾病の成り立ちと 健康回復の促進	微生物学	2				
	生体防御学	1				
	臨床薬理学	2				
	病態治療学Ⅰ	2				
	病態治療学Ⅱ	2				
	臨床検査学	2				
健 康 の 保 持 ・ 増 進 と 社 会 保 障	公衆衛生学	1	2			
	疫学	2				
	社会保障論	2				
	社会福祉論 ※					
	医療安全学	1				
(小 計)	(22)		<b>33</b>	<b>3</b>		
専 門 分 野	看護の基本	66 (うち臨地 実習 23)	看護学概論	2	1	専 門 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 70 単 位 以 上 修 得 す る こ と。
			看護コミュニケーション論	1		
	看護展開論		1			
	看護倫理学		1			
	アセスメントと看護技術Ⅰ		1			
	アセスメントと看護技術Ⅱ		2			
	アセスメントと看護技術Ⅲ		2			
	アセスメントと看護技術Ⅳ		2			
	地域看護論		2			
	健康教育論		1			
	基礎看護学実習Ⅰ		1			
	基礎看護学実習Ⅱ		2			
	成人看護学Ⅰ (慢性期)		1			
	成人看護学Ⅱ (慢性期)		2			
	成人看護学Ⅲ (急性期)		3			
	終末期看護論		1			
	救急救命看護論					
	家族看護論Ⅰ		1			
	家族看護論Ⅱ		1			
	在宅看護論		2			
	外来看護論		1			
	母性看護学Ⅰ		1			
	母性看護学Ⅱ		2			
	小児看護学Ⅰ		1			
	小児看護学Ⅱ		2			
	精神看護学		3			
	老年看護学	3				
	臨床看護技術演習	1				
	公衆衛生看護学概論	2				
	公衆衛生看護活動論 ※		2			
	公衆衛生看護管理論 ※		2			

• 2022 (令和4) 年度の入学者用 •

表 2-2 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	看護の 実践	(66)	成人看護学実習 (急性期)	3		
			成人看護学実習 (慢性期)	3		
			老年看護学実習	3		
			外来看護実習	1		
			母性看護学実習	2		
			小児看護学実習	2		
			精神看護学実習	2		
			公衆衛生看護学実習 ※		4	
			産業保健看護学実習 ※		1	
	看護の 統合		看護研究概論	1		
			看護管理学	2		
			チーム医療論 I	1		
			国際看護学		1	
			災害看護学		1	
統合ゼミナール 統合実習		1 4				
(小 計)	(66)		<b>70</b>	<b>12</b>		
合 計	102		<b>121</b>	<b>60</b>		

※注意事項

保健師国家試験受験資格の資格要件を満たすためには、専門基礎分野において次の選択科目「社会福祉論」、および専門分野において次の選択科目「公衆衛生看護活動論」「公衆衛生看護管理論」「公衆衛生看護学実習」「産業保健看護学実習」は、必ず履修し修得すること。

• 2018 (平成30) 年度以降の入学者用 •

表 2 - 3 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目		単 位 数		備 考
					必修	選択	
基 礎 分 野	人間と生活・社会の理解 および科学的思考の基盤	13	大学 特 別 科 目	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、19単 位以上修得す ること。
				新・文明の旅特講 a		2	
				新・文明の旅特講 b		2	
				新・文明の旅総合講義		2	
				地球環境論 I		2	
				地球環境論 II		2	
				心理学概論	2		
				生命科学 (生命倫理)	2		
				哲学		2	
				法学		2	
				医療心理学		2	
				保健体育学		2	
				保健体育学実習		1	
				英語 I	1		
				英語 II	1		
				医療英語演習	1		
				統計学 (保健統計学含む)	2		
				看護基礎科学 I	2		
				看護基礎科学 II	2		
				基礎ゼミナール I	1		
				基礎ゼミナール II	1		
				看護ゼミナール I	1		
				看護ゼミナール II	1		
				海外短期フィールドワーク I (北米)		2	
				海外個人フィールドワーク (日本語) I a		2	
				海外個人フィールドワーク (日本語) I b		2	
				海外 Semester 語学研修 I		4	
				海外個人フィールドワーク (日本語) II a		2	
				海外個人フィールドワーク (日本語) II b		2	
				海外個人フィールドワーク (英語) I a		2	
				海外個人フィールドワーク (英語) I b		2	
				海外個人フィールドワーク (英語) II a		2	
				海外個人フィールドワーク (英語) II b		2	
	海外 Semester 語学研修 II		4				
	海外語学 (英語) 研修 I		2				
	海外語学 (英語) 研修 II		2				
	海外語学 (該当英語外) 研修 I		2				
	海外語学 (該当英語外) 研修 II		2				
	海外語学 (中国語) 研修 I		2				
	海外語学 (中国語) 研修 II		2				
	(小 計)	(13)		<b>19</b>	<b>57</b>		

● 2018 (平成30) 年度以降の入学者用 ●

表 2-3 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 および心身の発達	21	人体の構造と機能Ⅰ (解剖学)	3	1	専 門 基 礎 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 33 単 位 以 上 修 得 す る こ と。
			人体の構造と機能Ⅱ (生理学)	3		
			生化学	2		
			栄養学	1		
	臨床栄養学	1				
	運動学					
	人間の発達と健康Ⅰ (母胎期～青年期)	2				
	人間の発達と健康Ⅱ (成人期～老年期)	2				
	疾病の成り立ちと 健康回復の促進		病理学	2		
			微生物学	2		
			生体防御学	1		
			臨床薬理学	2		
			病態治療学Ⅰ	2		
			病態治療学Ⅱ	2		
			臨床検査学	2		
	健康の保持・増進と 社会保障		公衆衛生学	1	2	
			疫学	2		
			社会保障論	2		
			社会福祉論 ※			
			医療安全学	1		
	(小 計)	(21)		<b>33</b>	<b>3</b>	
専 門 分 野	看護の基本	63 (うち臨地 実習 23)	看護学概論	2	1	専 門 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 70 単 位 以 上 修 得 す る こ と。
			看護コミュニケーション論	1		
	看護展開論		1			
	看護倫理学		1			
	アセスメントと看護技術Ⅰ		1			
	アセスメントと看護技術Ⅱ		2			
	アセスメントと看護技術Ⅲ		2			
	アセスメントと看護技術Ⅳ		2			
	地域看護論		2			
	健康教育論		1			
	基礎看護学実習Ⅰ		1			
	基礎看護学実習Ⅱ		1			
	基礎看護学実習Ⅲ		2			
	成人看護学Ⅰ (慢性期)		1			
	成人看護学Ⅱ (慢性期)		2			
	成人看護学Ⅲ (急性期)		3			
	終末期看護論		1			
	救急救命看護論					
	家族看護論Ⅰ		1			
	家族看護論Ⅱ		1			
	在宅看護論		2			
	外来看護論		1			
	母性看護学Ⅰ		1			
	母性看護学Ⅱ	2				
	小児看護学Ⅰ	1				
	小児看護学Ⅱ	2				
	精神看護学	3				
	老年看護学	3				
	臨床看護技術演習	1				
	公衆衛生看護学概論	2				
	公衆衛生看護活動論 ※		2			
	公衆衛生看護管理論 ※		2			

• 2018 (平成30) 年度以降の入学者用 •

表 2-3 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	看護の 実践		成人看護学実習 (急性期)	3		
			成人看護学実習 (慢性期)	3		
			老年看護学実習	3		
			外来看護実習	1		
			母性看護学実習	2		
			小児看護学実習	2		
			精神看護学実習	2		
			公衆衛生看護学実習 ※		4	
			産業保健看護学実習 ※		1	
	看護の 統合		看護研究概論	1		
			看護管理学	2		
			チーム医療論 I	1		
			国際看護学		1	
			災害看護学		1	
統合ゼミナール 統合実習		1 3				
(小 計)	(63)		<b>70</b>	<b>12</b>		
合 計	97		<b>122</b>	<b>72</b>		

※注意事項

保健師国家試験受験資格の資格要件を満たすためには、専門基礎分野において次の選択科目「社会福祉論」、および専門分野において次の選択科目「公衆衛生看護活動論」「公衆衛生看護管理論」「公衆衛生看護学実習」「産業保健看護学実習」は、必ず履修し修得すること。

• 2023 (令和5) 年度以降の入学者用 •

表 3 - 1 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
基 礎 分 野	人間と生活・社会の理解 および科学的思考の基盤	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、20単位以上修得すること。
			大学特別科目			
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論 I		2	
			地球環境論 II		2	
			データサイエンス入門	2		
			心理学概論	2		
			生命科学 (生命倫理)	2		
			哲学		2	
			法学		2	
			医療心理学		2	
			保健体育学		2	
			保健体育学実習		1	
			英語 I	1		
			英語 II	1		
			医療英語演習	1		
			統計学 (保健統計学含む)	2		
			看護基礎科学 I	2		
看護基礎科学 II	2					
基礎ゼミナール I	1					
基礎ゼミナール II	1					
看護ゼミナール I	1					
海外短期フィールドワーク I (北米)		2				
海外 Semester 語学研修 A		1				
海外 Semester 語学研修 B		2				
海外 Semester 語学研修 C		4				
海外 Semester 語学研修 D		5				
海外語学研修 A		2				
海外語学研修 B		2				
海外語学研修 C		2				
海外語学研修 D		2				
(小 計)	(14)		<b>20</b>	<b>41</b>		



● 2023 (令和5) 年度以降の入学者用 ●

表 3 - 1 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 および心身の発達	29	人体の構造と機能Ⅰ (解剖学)	3	1	専 門 基 礎 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 35 単 位 以 上 修 得 す る こ と。
			人体の構造と機能Ⅱ (生理学)	3		
			生化学	2		
			栄養学	1		
	臨床栄養学	1				
	運動学					
	人間の発達と健康Ⅰ (母胎期～青年期)	2				
	人間の発達と健康Ⅱ (成人期～老年期)	2				
	病理学	2				
	微生物学	2				
	生体防御学	1				
	臨床薬理学	2				
	病態治療学Ⅰ	2				
	病態治療学Ⅱ	2				
	臨床検査学	2				
	健康の保持・増進と 社会保障		公衆衛生学	1		
			疫学	2		
			社会保障論	2		
			社会福祉論	2		
			医療安全学	1		
	(小 計)	(29)		<b>35</b>	<b>1</b>	
専 門 分 野	看護の基本	85 (うち臨地 実習 28)	看護学概論	2	1	専 門 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 79 単 位 以 上 修 得 す る こ と。
			看護コミュニケーション論	1		
	看護展開論		1			
	看護倫理学		1			
	アセスメントと看護技術Ⅰ		1			
	アセスメントと看護技術Ⅱ		2			
	アセスメントと看護技術Ⅲ		2			
	アセスメントと看護技術Ⅳ		2			
	地域看護論		2			
	健康教育論		1			
	基礎看護学実習Ⅰ		1			
	基礎看護学実習Ⅱ		2			
	成人看護学Ⅰ (慢性期)		1			
	成人看護学Ⅱ (慢性期)		2			
	成人看護学Ⅲ (急性期)		3			
	終末期看護論		1			
	救急救命看護論					
	家族看護論Ⅰ		1			
	家族看護論Ⅱ		1			
	在宅看護論		2			
	外来看護論	1				
	母性看護学Ⅰ	1				
	母性看護学Ⅱ	2				
	小児看護学Ⅰ	1				
	小児看護学Ⅱ	2				
	精神看護学	3				
	老年看護学	3				
	臨床看護技術演習	1				
	公衆衛生看護学概論	2				
	公衆衛生看護活動論	2				
	公衆衛生看護管理論	2				

• 2023（令和5）年度以降の入学者用 •

表 3 - 1 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	看護の 実践		成人看護学実習（急性期）	3		
			成人看護学実習（慢性期）	3		
			老年看護学実習	3		
			外来看護実習	1		
			母性看護学実習	2		
			小児看護学実習	2		
			精神看護学実習	2		
			公衆衛生看護学実習	4		
			産業保健看護学実習	1		
			看護の 統合			
看護管理学	2					
チーム医療論Ⅰ	1					
国際看護学		1				
災害看護学		1				
統合ゼミナール	1					
統合実習	4					
	(小 計)	(85)		<b>79</b>	<b>3</b>	
	合 計	128		<b>134</b>	<b>45</b>	

※注意事項

保健師免許取得後に養護教諭2種免許の申請をする場合には、次の選択科目「法学」「保健体育学」「保健体育学実習」を履修し修得すること。

• 2022 (令和4) 年度の入学者用 •

表 3 - 2 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目		単 位 数		備 考
					必修	選択	
基 礎 分 野	人間と生活・社会の理解 および科学的思考の基盤	14	大学 特 別 科 目	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、18単 位以上修得す ること。
				新・文明の旅特講 a		2	
				新・文明の旅特講 b		2	
				新・文明の旅総合講義		2	
				地球環境論 I		2	
				地球環境論 II		2	
				心理学概論	2		
				生命科学 (生命倫理)	2		
				哲学		2	
				法学		2	
				医療心理学		2	
				保健体育学		2	
				保健体育学実習		1	
				英語 I	1		
				英語 II	1		
				医療英語演習	1		
				統計学 (保健統計学含む)	2		
				看護基礎科学 I	2		
				看護基礎科学 II	2		
				基礎ゼミナール I	1		
				基礎ゼミナール II	1		
				看護ゼミナール I	1		
				海外短期フィールドワーク I (北米)		2	
				海外個人フィールドワーク (日本語) I a		2	
				海外個人フィールドワーク (日本語) I b		2	
				海外 Semester 語学研修 I		4	
				海外個人フィールドワーク (英語) I a		2	
	海外個人フィールドワーク (英語) I b		2				
	海外語学 (英語) 研修 I		2				
	海外語学 (英語) 研修 II		2				
	海外語学 (該当英語外) 研修 I		2				
	海外語学 (該当英語外) 研修 II		2				
	海外語学 (中国語) 研修 I		2				
	海外語学 (中国語) 研修 II		2				
	(小 計)	(14)		<b>18</b>	<b>45</b>		

● 2022 (令和4) 年度の入学者用 ●

表 3-2 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 および心身の発達	29	人体の構造と機能Ⅰ (解剖学)	3	1	専 門 基 礎 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 35 単 位 以 上 修 得 す る こ と。
			人体の構造と機能Ⅱ (生理学)	3		
			生化学	2		
			栄養学	1		
	臨床栄養学	1				
	運動学					
	人間の発達と健康Ⅰ (母胎期～青年期)	2				
	人間の発達と健康Ⅱ (成人期～老年期)	2				
	疾病の成り立ちと 健康回復の促進		病理学	2		
			微生物学	2		
			生体防御学	1		
			臨床薬理学	2		
			病態治療学Ⅰ	2		
			病態治療学Ⅱ	2		
			臨床検査学	2		
	健康の保持・増進と 社会保障		公衆衛生学	1		
			疫学	2		
			社会保障論	2		
			社会福祉論	2		
			医療安全学	1		
	(小 計)	(29)		<b>35</b>	<b>1</b>	
専 門 分 野	看護の基本	85 (うち臨地 実習 28)	看護学概論	2	1	専 門 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 79 単 位 以 上 修 得 す る こ と。
			看護コミュニケーション論	1		
	看護展開論		1			
	看護倫理学		1			
	アセスメントと看護技術Ⅰ		1			
	アセスメントと看護技術Ⅱ		2			
	アセスメントと看護技術Ⅲ		2			
	アセスメントと看護技術Ⅳ		2			
	地域看護論		2			
	健康教育論		1			
	基礎看護学実習Ⅰ		1			
	基礎看護学実習Ⅱ		2			
	成人看護学Ⅰ (慢性期)		1			
	成人看護学Ⅱ (慢性期)		2			
	成人看護学Ⅲ (急性期)		3			
	終末期看護論		1			
	救急救命看護論					
	家族看護論Ⅰ		1			
	家族看護論Ⅱ		1			
	在宅看護論		2			
	外来看護論	1				
	母性看護学Ⅰ	1				
	母性看護学Ⅱ	2				
	小児看護学Ⅰ	1				
	小児看護学Ⅱ	2				
	精神看護学	3				
	老年看護学	3				
	臨床看護技術演習	1				
	公衆衛生看護学概論	2				
	公衆衛生看護活動論	2				
	公衆衛生看護管理論	2				

• 2022 (令和4) 年度の入学用 •

表 3-2 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	看護の 実践		成人看護学実習 (急性期)	3		
			成人看護学実習 (慢性期)	3		
			老年看護学実習	3		
			外来看護実習	1		
			母性看護学実習	2		
			小児看護学実習	2		
			精神看護学実習	2		
			公衆衛生看護学実習	4		
			産業保健看護学実習	1		
			看護の 統合			
看護管理学	2					
チーム医療論 I	1					
国際看護学		1				
災害看護学		1				
統合ゼミナール	1					
統合実習	4					
(小 計)	(85)		<b>79</b>	<b>3</b>		
合 計	128		<b>132</b>	<b>49</b>		

※注意事項

保健師免許取得後に養護教諭2種免許の申請をする場合には、次の選択科目「法学」「保健体育学」「保健体育学実習」を履修し修得すること。

• 2018 (平成30) 年度以降の入学者用 •

表 3-3 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目		単 位 数		備 考
					必修	選択	
基 礎 分 野	人間と生活・社会の理解 および科学的思考の基盤	13	大学 特 別 科 目	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、19単 位以上修得す ること。
				新・文明の旅特講 a		2	
				新・文明の旅特講 b		2	
新・文明の旅総合講義		2					
地球環境論 I		2					
地球環境論 II		2					
				心理学概論	2		
				生命科学 (生命倫理)	2		
				哲学		2	
				法学		2	
				医療心理学		2	
				保健体育学		2	
				保健体育学実習		1	
				英語 I	1		
				英語 II	1		
				医療英語演習	1		
				統計学 (保健統計学含む)	2		
				看護基礎科学 I	2		
				看護基礎科学 II	2		
				基礎ゼミナール I	1		
				基礎ゼミナール II	1		
				看護ゼミナール I	1		
				看護ゼミナール II	1		
				海外短期フィールドワーク I (北米)		2	
				海外個人フィールドワーク (日本語) I a		2	
				海外個人フィールドワーク (日本語) I b		2	
				海外 Semester 語学研修 I		4	
				海外個人フィールドワーク (日本語) II a		2	
				海外個人フィールドワーク (日本語) II b		2	
				海外個人フィールドワーク (英語) I a		2	
				海外個人フィールドワーク (英語) I b		2	
				海外個人フィールドワーク (英語) II a		2	
				海外個人フィールドワーク (英語) II b		2	
				海外 Semester 語学研修 II		4	
				海外語学 (英語) 研修 I		2	
				海外語学 (英語) 研修 II		2	
				海外語学 (該当英語外) 研修 I		2	
				海外語学 (該当英語外) 研修 II		2	
				海外語学 (中国語) 研修 I		2	
				海外語学 (中国語) 研修 II		2	
	(小 計)	(13)			<b>19</b>	<b>57</b>	

● 2018 (平成30) 年度以降の入学者用 ●

表 3-3 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法 (続き)

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 および心身の発達	27	人体の構造と機能Ⅰ (解剖学)	3	1	専門基礎分野 において、必修科目を含め、 35単位以上修得すること。
			人体の構造と機能Ⅱ (生理学)	3		
			生化学	2		
			栄養学	1		
	臨床栄養学		1			
	運動学					
	人間の発達と健康Ⅰ (母胎期～青年期)		2			
	人間の発達と健康Ⅱ (成人期～老年期)		2			
疾病の成り立ちと 健康回復の促進	病理学		2			
	微生物学		2			
	生体防御学		1			
	臨床薬理学		2			
	病態治療学Ⅰ		2			
	病態治療学Ⅱ	2				
健康の保持・増進と 社会保障	公衆衛生学	1				
	疫学	2				
	社会保障論	2				
	社会福祉論	2				
	医療安全学	1				
(小 計)	(27)		<b>35</b>	<b>1</b>		
専 門 分 野	看護の基本	82 (うち臨地 実習 28)	看護学概論	2	1	専門分野において、必修科目を 含め、79単位以上 修得すること。
			看護コミュニケーション論	1		
	看護展開論		1			
	看護倫理学		1			
	アセスメントと看護技術Ⅰ		1			
	アセスメントと看護技術Ⅱ		2			
	アセスメントと看護技術Ⅲ		2			
	アセスメントと看護技術Ⅳ		2			
	地域看護論		2			
	健康教育論		1			
	基礎看護学実習Ⅰ		1			
	基礎看護学実習Ⅱ		1			
	基礎看護学実習Ⅲ		2			
看護実践の基盤	成人看護学Ⅰ (慢性期)		1			
	成人看護学Ⅱ (慢性期)		2			
	成人看護学Ⅲ (急性期)		3			
	終末期看護論		1			
	救急救命看護論					
	家族看護論Ⅰ		1			
	家族看護論Ⅱ		1			
	在宅看護論		2			
	外来看護論		1			
	母性看護学Ⅰ		1			
	母性看護学Ⅱ		2			
	小児看護学Ⅰ		1			
	小児看護学Ⅱ		2			
	精神看護学		3			
	老年看護学		3			
臨床看護技術演習	1					
公衆衛生看護学概論	2					
公衆衛生看護活動論	2					
公衆衛生看護管理論	2					

• 2018（平成30）年度以降の入学者用 •

表 3-3 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	看護の 実践		成人看護学実習（急性期）	3		
			成人看護学実習（慢性期）	3		
			老年看護学実習	3		
			外来看護実習	1		
			母性看護学実習	2		
			小児看護学実習	2		
			精神看護学実習	2		
			公衆衛生看護学実習	4		
			産業保健看護学実習	1		
			看護の 統合			
看護管理学	2					
チーム医療論Ⅰ	1					
国際看護学		1				
災害看護学		1				
統合ゼミナール	1					
統合実習	3					
(小 計)	(82)		<b>79</b>	<b>3</b>		
合 計	122		<b>133</b>	<b>61</b>		

※注意事項

保健師免許取得後に養護教諭2種免許の申請をする場合には、次の選択科目「法学」「保健体育学」「保健体育学実習」を履修し修得すること。



## I. 統合実習の概要

### 1. 実習目的

- 1) これまでの実習における学修をふまえながら自己の看護実践の中で取り組むべき課題を見出し、課題達成に向けて主体的ならびに自律的に実習を展開する力を修得する。
- 2) 対象のニーズに即した看護を実践できるように必要とされる基礎能力の修得を確かなものとし、看護専門職として自身の実践力を研鑽していく姿勢を身につける。

### 2. 実習目標

- 1) これまでの実習における学修をふまえながら自己の看護実践の中で取り組むべき課題を見出す。
  - (1) これまでの実習における達成度を適切に自己評価でき、達成できていない内容を認識できる。
  - (2) これまでの実習の自己評価をもとに看護を実践していく上で卒業までに取り組むべき課題を見出すことができる。
- 2) 課題達成に向けて主体的ならびに自律的に実習を展開する力を培う。
  - (1) 自己が取り組むべき課題の達成に向けて実習展開するに相応しい領域を選択できる。
  - (2) 指導教員の助言を受けながら課題を達成するための実習内容を考え、実習計画を立案できる。
  - (3) 実習計画に沿いながら主体的に実習に取り組み、対象者にとって必要な看護を提供するための看護過程を展開できる。
- 3) 対象のニーズに即した看護を実践できるように必要とされる基礎能力の修得を確かなものとし、看護専門職として自身の実践力を研鑽していく姿勢を身につける。
  - (1) 自身の看護技術力（思考的技術・援助的技術・手技的技術）の修得状況を客観的に自己評価できる。
  - (2) 自己評価の内容をふまえて、卒業までに修得すべき看護技術に関して自己研鑽できる。
  - (3) 統合実習での到達状況を自己評価し、今後の課題を見出せる。

### 3. 実習内容

- 1) 自己の看護実践の中で取り組むべき課題の把握
  - (1) これまでに履修した各実習の目標を見直し、自己の到達状況を客観的に評価して、到達できていない内容を明確にする。
  - (2) 到達できていない内容をふまえて、卒業までに解決を図るべき優先的課題を明らかにする。
- 2) 課題達成に向けて主体的ならびに自律的実習の展開
  - (1) 課題に取り組むために実習展開するに相応しい領域を明確にして、選択する。
  - (2) 指導教員に相談しながら見出した課題について、文献検討やグループディスカッションを実施しながら洗練させる。
  - (3) 課題を達成するためには、どのような実習を展開すべきかを考え、実現可能で効果的な実習計画を立案する。

- (4) 実習計画に沿って着実に主体的に実習を実施する。
- (5) 対象者のニーズに応じた看護実践を提供する場合には、適切な看護過程を展開する。
- (6) 実習の進捗状況は、随時、指導教員に報告し、指導・助言を受けながらより効果的な実習になるよう改善を図る。

3) 確かな看護実践に繋がる基礎能力の修得

- (1) 実習を通して、自己の看護技術力を見直して、自己評価する。
- (2) 修得が不十分な技術に関しては、実習前・実習中はもちろんのこと、実習後においても自己学習を積み、研鑽する。

設側のスタッフへの依頼、テーマ設定、開催時間などを予め検討し、主体的に進める。これまでのカンファレンスで学修したことを活かし、効果的なカンファレンスとなるように努める。

4. 統合実習成績評価

- (1) 課題に関する文献検討のまとめ (10%)
- (2) 課題達成をふまえた実習目標および実習計画の作成への取り組み (20%)
- (3) 実習全体の取り組み (30%)
- (4) 実習中の記録物 (10%)
- (5) 課題に関連した事例のまとめ (30%)

## VIII 教務グループの取扱事務など

---

証明書の発行

実習準備室の使用

授業以外での施設見学・訪問

卒業研究等用コピー機および印刷機の利用



## VIII- i 証明書の発行

本学では証明書自動発行機を導入しています。証明書自動発行機は、ふじみ野キャンパスでは「東館1階アトリウム内」、本郷キャンパスでは「島田依史子記念館2階」に設置しています。証明書の発行手順は以下の通りです。

### 証明書自動発行機の手順

発行には学生証とパスワードが必要です。パスワードはB's LINKにログインする時のパスワードと同じです。自動発行機の音声ガイダンスと画面に従って発行して下さい。

尚、パスワードを忘れた場合、情報教育研究センターに学生証を持参の上、お問い合わせください。

緊急の場合など、事務窓口で証明書を発行いたします。証明書の種類・用途により担当する事務窓口が異なります。詳細は、「キャンパスガイド」を参照してください。

- (1) 在学証明書
- (2) 成績証明書
- (3) 卒業（見込）証明書
- (4) 健康診断証明書
- (5) 卒業（修了）証明書
- (6) 単位修得（見込）証明書

保健医療技術学部教務グループが担当する証明書を発行する場合は、証明書自動発行機にて該当の証明書申込書を発行し、保健医療技術学部教務グループにて申込手続きを行ってください。交付は、申請日の2日後となります（休日、祝日を除く）。また、以下の事項に注意してください。

- ・本人による申し込み、受け取りが原則です。
- ・発行後の受け取りには、学生証の提示が必要です。
- ・時期により申し込み件数が増え、発行日に日数を要しますので、早めに申し込みをしてください。

（保健医療技術学部） 証明書等発行願（納入書）				在学生 卒業生共通	
在学生・卒業生（ 年度学）		申請年月日		年	月 日
理学療法学科・作業療法学科・臨床検査学科・看護学科 さいずねLINC@RI					
学年	身 学籍番号	（卒業生は卒業時）連絡先			
フリガナ		生年		大正	昭和 平成
氏 名		月 日	年	月	日
※各種英文証明書申請時のみローマ字氏名					
提出先		用途			
	証 明 書 名	金額(円)	相 文	英 文	申請回数
1	在学証明書	300	900		
2	成績証明書	300	900		
3	卒業(見込)証明書	300	900		
4	健康診断証明書	300	900		
5	卒業(修了)証明書	300	900		
6	単位修得(見込)証明書	300	900		
7	その他(下記は該当項目記入)				
合 計					通 円
証明書発行年月日		年	月	日	作成者
種別番号					
発行番号					
期 印					
種別番号					
発行番号					
期 印					
証 紙 貼 付 欄					
証明書発行手数料の合計金額相当分の貼紙（校内専用）をこの枠内に貼付すること。 ※金額の過不足は認めない。					
<small>※記入していない項目は記入欄に記入してください。申請時の学生証・学生生活部の交付印及び署名欄の記入も必要です。 (167) 2 (1/2017)</small>					

## VIII- ii 実習準備室の使用

---

保健医療技術学部では、実習着の着替え、保管を目的として、ロッカーを設置しております。使用する際は、以下の点に注意して、各自割り当てられたロッカーを使用してください。

### ロッカー使用の注意点

- ① ロッカー室内に私物等を放置しないこと。放置した物は予告なく処分します。
- ② 万が一破損した時は使用者にその損害を弁償してもらいますので、丁寧に取り扱ってください。
- ③ ロッカー内には、危険物などを入れないでください。
- ④ 貴重品はロッカー内に置かないようにし、各自で管理してください。
- ⑤ ロッカー室は、整理整頓し、きれいに使用しましょう。

※場所はキャンパスガイド施設案内図を参照してください。

ふじみ野キャンパス…東館3階（理学療法学科・作業療法学科・臨床検査学科）

本郷東キャンパス……管理棟2階（臨床検査学科）

本郷西キャンパス……S館10階（看護学科）

## VIII- iii 授業以外での施設見学・訪問

授業以外で施設見学・訪問を希望する場合には、大学の許可が必要となります。許可なく個人で実施することがないように、以下の手順に従って申請手続きをしてください。

### 申請手続きの手順

- ① 保健医療技術学部教務グループ備え付けの「授業以外での施設見学・訪問届」に所定事項を記入し、クラスアドバイザーに提出する。
- ② 提出された書類は、クラスアドバイザー、学科長の承認を得なければならない。
- ③ 学生は届出が承認された後、希望する施設の許可を得ること。また許可を得る際、依頼状の必要性について確認を行うこと。なお、見学日が「授業以外での見学・訪問届」と異なる場合は、クラスアドバイザーに報告すること。
- ④ 「授業以外での施設見学・訪問届」申請は、原則として前期・後期の授業期間内とする。

保健医療技術学部	年 月 日	
学科学科長 殿	学籍番号 _____	
	申込者名 _____ 印	
<b>授業以外での施設見学・訪問届</b>		
申込者連絡先 住所・TEL	TEL - -	
見学予定日	年 月 日 ( )	
見学施設名 (正式名称)		
見学施設の連絡 住所・TEL	TEL - -	
見学目的		
公文書	不要 ・ 必要 必要時は公文書の宛先を記載	
特記事項・備考		
※提出先：クラスアドバイザー		
教務グループ	学科長	クラス アドバイザー
/	/	/

## 許可について

- ① 見学期間は、原則、長期休暇中で1日といたします。

## 施設見学・訪問後の報告書について

- ① 見学後、「授業以外での施設見学・訪問報告書」を作成してください。
- ② 報告書は、クラスアドバイザーへ速やかに提出してください。

年 月 日		
保健医療技術学部		
学科学科長 殿		
学籍番号 _____		
申込者名 _____ ㊞		
<b>授業以外での施設見学・訪問報告書</b>		
申込者連絡先 住所・TEL	TEL - -	
見学日	年 月 日 ( )	
見学施設名		
報告		
※提出先：クラスアドバイザー		
教務グループ	学科長	クラス アドバイザー
/	/	/

## 保険の適応について

- ① 施設への移動中および見学中の事故には十分注意してください。万が一、事故にあった場合には速やかに大学へ連絡をしてください。
- ② 状況に応じては、保険が適用される場合があります。

## その他

- ① 止むを得ない理由により遅刻・欠席となる場合には、見学担当者ならびに大学へ速やかに連絡をしてください。
- ② 見学後、見学担当者への礼状を作成し、送付してください。見学後、2～3日以内に送付するように心がけてください。

詳細は、クラスアドバイザーまでお問い合わせください。



## VIII-iv 卒業研究等用コピー機および印刷機の利用

卒業研究（もしくは担当教員より特別の指示があった授業）に限り、大学内設置のコピー機および印刷機を利用することが出来ます。以下の手順に従って申請手続きをしてください。

### 申請手続きの手順

- ① コピー機および印刷機の利用を希望する学生は、保健医療技術学部教務グループ備え付けの「卒業研究など教材印刷（コピー）許可票」を記載し、担当教員へ提出してください。
- ② 担当教員より許可を受けた後、「コピー機および印刷機利用カード」と「コピー（印刷）用紙」を担当教員から受け取ってください。
- ③ コピー（印刷）用紙は、卒業研究ならびに統合実習・アドバンス実習用にて学生1人あたり総計1,000枚までの利用上限となります。利用カードカウンター枚数と「卒業研究など教材印刷（コピー）許可票」の使用枚数欄を基に集計しておりますので、上限枚数を超えることのないように計画的に利用してください。
- ④ コピー機および印刷機にてコピー（印刷）を実施してください。  
1原稿15枚以内の場合はコピー機、1原稿16枚以上の場合は印刷機を利用してください。
- ⑤ コピー機および印刷機にてコピー（印刷）終了後、「コピー機および印刷機利用カード」と「残部コピー（印刷）用紙」を担当教員へ渡してください。

卒業研究など教材印刷（コピー）許可票			
20 年 月 日			
学科 学年	PT・OT・CM・NS 科 年	氏 名	
科目名		担 当 教員名	
目的	<input type="checkbox"/> ①学生が授業（ゼミ）で配布する資料 <input type="checkbox"/> ②教員が配布する資料 <input type="checkbox"/> ③卒業研究のため		
予定 枚数	B5 ( ) 種類 × ( ) 人分 (枚) =		
	【印刷原稿】: A4 ( ) 種類 × ( ) 人分 (枚) =		
	B4 ( ) 種類 × ( ) 人分 (枚) =		
使用 枚数	印刷・コピー	枚	金額 (必要な時に学校が記入) 円
その他	※		許可者印 (依頼者印)

※その他：ホチキスの貸し出しなど、許可者（依頼者）が記入のこと。  
 \* 原稿1枚につき、40枚以上は原則として印刷機使用

### コピー機および印刷機の設置場所

ふじみ野キャンパス：東館3階東南角（E-303教室近く）

本郷キャンパス：共同研究棟1階、S館11階

詳細は、担当教員および保健医療技術学部教務グループまでお問い合わせください。



## IX 規程

---

履修規程

臨床実習・臨地実習履修規程



## IX- i 履修規程

### (履修の基本事項)

- 第1条 この規程は、学則第15条に基づき、本学部の教育課程及び履修について必要な事項を定める。ただし、学則第15条第13項に定めるGCIに関わる科目（以下、GCI科目）の履修方法等については、GCI履修規程によるものとする。

### (履修登録)

- 第2条 学生は、学期始めの履修登録期間内に、所定の方法で履修登録をしなければならない。
- 2 履修登録した科目の変更は、原則として認めない。
  - 3 履修しようとする科目は、原則として所属学年および下の学年に配当されている中から選択すること。
  - 4 履修登録した科目は、途中で放棄することなく履修し試験を受けること。
  - 5 一旦、単位を取得した科目の再履修はできない。ただし、聴講することができる。
  - 6 単位が認定されなかった科目は、次年度、履修登録しなければ受講できない。

### (授業の出欠について)

- 第3条 学生は、授業に出席しなければならない。
- 2 公認欠席（以下「公欠」という。）の取り扱いについては、「学生事務取扱規程」の定めるところによる。内容は以下の通りである。  
次の場合は、公欠とし出席すべき時数には数えない。  
ア．別に定めた慶弔に出席するために欠席する場合。  
イ．出身高校等の要請により、進学説明会に参加する場合。  
ウ．法律等指定された感染症に感染した場合。  
エ．クラブなどの学外活動で学生委員会の推薦があり、教務委員会が認定した場合。  
オ．その他、教務委員会が認定した場合。
  - 3 公欠は、教務グループに届け出て承認印を受けた後、担当教員に公欠届を提出すること。
  - 4 災害発生等に基づく休講は、「緊急時の対処要領」に定めるところによる。

### (単位の計算方法)

- 第4条 学則第17条により講義、演習、実習の単位を設定する。
- 講義は15時間ないし、30時間をもって1単位とする。
  - 演習は15時間ないし、30時間をもって1単位とする。
  - 実習は30時間ないし、45時間をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、別に単位を定めることができる。

### (単位の認定)

- 第5条 各科目の単位は、各科目担当教員が評価を行い、教務委員会で協議の上、教授会で認定する。

(授業科目)

- 第6条 理学療法学科の授業科目は、学則別表に示されたとおりとする。(第15条第9項第1号)
- 2 作業療法学科の授業科目は、学則別表に示されたとおりとする。(第15条第10項第1号)
- 3 臨床検査学科の授業科目は、学則別表に示されたとおりとする。(第15条第11項第1号)
- 4 看護学科の授業科目は、学則別表に示されたとおりとする。(第15条第12項第1号)

(G C I 科目)

- 第7条 G C I 科目は、学則別表の通りとする。
- 2 G C I 科目は、入学後に許可された学生（以下、G C I special 学生）のみ、履修することができる。
- 3 前項にかかわらず、所定の要件を満たした学生は、G C I 科目の履修を認められる場合がある。
- 4 G C I 科目を履修することにより取得した単位は、基礎科目取得単位に算入する。

(1 学年で取得できる単位の限度)

- 第8条 1 学年で取得できる単位の限度は49単位を上限とする。ただし、基礎分野の選択科目、G C I 科目を除く。
- 2 本条第1項の規程にかかわらず、前学期までに履修した科目の平均がGPA3.0以上の成績を修めた学生は当該学期の単位数上限以上の科目を登録し、履修できる。

(国家試験受験資格)

- 第9条 理学療法学科に在籍する学生は、学則別表「理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法」に示された単位を履修すること。
- 2 作業療法学科に在籍する学生は、学則別表「作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法」に示された単位を履修すること。
- 3 臨床検査学科に在籍する学生は、学則別表「臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法」に示された単位を履修すること。
- 4 看護学科に在籍する学生は、学則別表「看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法」ならびに「保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法」に示された単位を履修すること。

(成績評価の方法)

- 第10条 成績評価は各授業科目の到達度を、試験、中間テスト、小テスト、課題レポートなどで総合的に行う。
- 2 臨床実習・臨地実習の成績評価は、別に定める。

(試験)

- 第11条 試験の種別には、定期試験、追試験、再試験がある。
- 2 試験の方法には、筆記試験、口答試験、実技試験、レポート試験などがある。

## (定期試験)

第 12 条 定期試験とは、定められた期間に行う試験である。なお、通常授業期間内の定められた期日に行われる試験も含まれる。

## (追試験)

第 13 条 追試験とは、正当な理由で定期試験を受験できなかった者に対する試験である。

2 前項の理由を証明するものを原則定期試験実施日より 7 日以内に提出した者には、追試験の受験を許可する。

3 追試験受験者は、指定の手続き期間内に届出用紙に記入し、教務グループに申し込まなければならない。

4 追試験の追試験は、原則として実施しない。ただし、公欠に準ずる理由で追試験を受験できなかった場合には、教務委員会で審議して追試験とは別に試験を行うことがある。

## (再試験)

第 14 条 再試験とは、定期試験期間後の成績発表において、不合格の認定を受けた科目に行う試験である。

2 再試験を受験する場合には、届出用紙に記入し、指定された受験料を納付のうえ、指定期間に教務グループに申し込まなければならない。なお、正当な理由なく定期試験を欠席した場合には、「試験欠席届」を学科長の署名を得たうえで、原則試験実施日より 7 日以内に教務グループへ提出しなければならない。

3 再試験の結果、合格した者の成績は可とする。

4 再試験の追試験は、原則として実施しない。ただし、公欠に準ずる理由で再試験を受験できなかった場合には、教務委員会で審議して追試験とは別に試験を行うことがある。

## (受験資格)

第 15 条 下記のいずれかに該当する場合は、定期試験および追・再試験を受けることができない。

(1) 学年の初めに所定の履修手続きをしていない場合。

(2) 講義科目では授業時数の 3 分の 1 を越えて欠席した場合。

(3) 演習・実習・実験科目では授業時数の 5 分の 1 を越えて欠席した場合。

(4) 所定の学納金が未納の場合。ただし、延納許可を受けている者を除く。

## (遵守事項)

第 16 条 試験場においては、すべて監督者の指示に従うこと。

2 試験場においては、常に学生証を机の上に提示すること。ただし、学生証を所持しない場合は、事前に教務グループに申し出て、入室許可証を受領すること。

3 試験場には、予め許可を得た物品以外は持ち込んではならない。

4 試験場においては、不正行為をしてはならない。この際、私語、筆記具その他の貸借等も不正行為とみなす。

5 交通機関の遅延その他やむを得ない理由と認められても、20 分以上遅刻した場合は、受験することができない。

(不正行為に対する処置)

第 17 条 試験に際し、前条第 4 項の遵守事項に違反した場合は、即時退出および受験停止を命ずる。なお、その試験期間実施全科目の単位取得を無効とする。また、学則第 5 3 条に基づいて懲戒処分とすることがある。

- 2 授業中に実施される小テストや課題などにおいて不正行為をした場合には、当該科目の取得単位を無効とする。
- 3 出席に関する不正行為をした場合についても、当該科目の取得単位を無効とする。

(成績の評点)

第 18 条 評価の基準については、以下の通りとする。

評価	評価基準	Grade Point (GP)	成績評価内容
AA (秀)	90 - 100 点	4.0	特に優れた成績
A (優)	80 - 89 点	3.0	優れた成績
B (良)	70 - 79 点	2.0	妥当と認められる成績
C (可)	60 - 69 点	1.0	合格と認められる成績
P (合格)	—	3.0	合格と認められる成績 (合格/不合格科目)
N (認定)	—	—	合格と認められる成績 (編入時単位認定等)
F (不可)	59 点以下	0.0	合格と認められる成績に達していない
F - (不可)	試験欠席	0.0	成績評価試験等を欠席
F * (不可)	失格	0.0	出席回数が基準を満たしていない

- 2 ただし、外国留学等に際して必要となる成績証明書については、成績評価の表記の方法は、留学に関する諸規程による。規程がない場合は、留学先である外国の通常の事情等を考慮して教務委員会が決定する。
- 3 GP より算出される GPA (Grade Point Average) については、別に定める。

(成績発表)

第 19 条 成績通知表は、本人または委任を受けた代理人に対してのみ交付する。学生は、指定された成績発表の日時に、成績通知表を受領するものとする。

- 2 本人または委任を受けた代理人以外には成績通知表を提示しない。

(休学)

第 20 条 学則第 3 7 条により疾病その他やむを得ない理由により、3 ヶ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て、休学することができる。

- 2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者について、学長は、休学を命ずることができる。
- 3 休学の期間は 1 ヶ年以内とする。ただし、特別の事由があるときは、引き続きさらに 1 ヶ年以内の休学を許可することがある。また、休学の期間は、通算して 4 年を超えることができない。
- 4 休学期間満了の場合または休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。
- 5 休学の期間は、学則第 1 1 条第 2 項の在学年限に算入しない。



## (復学の場合の在籍)

- 第 21 条 学則第 3 7 条により学年初めから学年末までの 1 年間にわたって休学をしていた者が許可された場合には、当該学年に復学する。
- 2 学則第 3 7 条により年度の途中で休学が許可された者が、学年末までに復学を許可された場合は、当該学年に復学する。

## (進 級)

- 第 22 条 当該年度において、必修科目に不合格科目がある者は、翌年度に次学年に進級することができない。ただし、1 年次において、必修科目に不合格科目があり単位認定されなかった場合でも、仮進級の申請が認められた場合には 2 年次に進級することができる。なお、各年次終了後の GPA が 1.0 未満の場合は、進級・卒業判定の審議対象となる。
- 2 1 年次において不合格となった必修科目が 2 科目以内であった場合には、2 年次への仮進級の申請をすることができる。なお、失格ならびに単位取得が無効となった必修科目がある者には、仮進級の申請を認めない。
- 3 仮進級の申請は、指定の手続き期間内に申請用紙に記入し、教務グループに申し込まなければならない。仮進級の諾否は、教務委員会で協議のうえ、教授会で承認される。
- 4 仮進級を認められた者は、次年度に不合格となった必修科目を再履修する。再履修にあたっては規定授業時数を超えて欠席した場合においても、定期試験および追・再試験の受験を認めることがある。

## (卒業資格)

- 第 23 条 次の要件を満たした者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。
- (1) 本学に 4 ヶ年以上在学し、理学療法学科においては、学則第 2 4 条の 9 を満たした者 (必修科目を含めて 1 2 5 単位以上)、作業療法学科においては、学則第 2 4 条の 1 0 を満たした者 (必修科目を含めて 1 2 7 単位以上)、臨床検査学科においては、学則 2 4 条の 1 1 を満たした者 (必修科目を含めて 1 2 8 単位以上)、看護学科においては、学則第 2 4 条の 1 2 を満たした者 (必修科目を含めて 1 2 8 単位以上) を取得していること。
- (2) 授業料等の学納金等が完納されていること。

## (卒業見込証明書の発行)

- 第 24 条 4 年次の 4 月 1 日には、卒業見込証明者の発行を行う。ただし、3 年次終了までに 9 0 単位以上取得できない者には、卒業見込証明書の発行を行わない。

## (改 正)

- 第 25 条 本規程の改正は、保健医療技術学部教授会および大学運営会議の議を経て理事会が決定するものとする。

## 附 則

- 1 この規程は、平成 1 8 年 4 月 1 日より施行する。
- 2 平成 2 0 年度以前の入学者については、入学年度の規程による。

- 3 この規程は、平成21年4月1日より施行する。
- 4 平成21年度以前の入学者については、入学年度の規程による。
- 5 この規程は、平成22年4月1日より施行する。
- 6 この規程は、平成24年4月1日より施行する。
- 7 第16条の規程は、平成23年度以前の入学者についても適用する。
- 8 この規程は、平成25年4月1日より施行する。
- 9 この規程は、平成26年4月1日より施行する。
- 10 この規程は、平成27年4月1日より施行する。
- 11 第23条の規程は、平成26年度以前の入学者についても適用する。
- 12 この規程は、平成29年4月1日より施行する。
- 13 第11条、第12条、第13条、第21条の規程は、平成28年度以前の入学者についても適用する。
- 14 この規程は、平成30年4月1日より施行する。
- 15 この規程は、令和2年4月1日より施行する。
- 16 この規程は、令和4年4月1日より施行する。(令和3年度以前入学者は入学年度の規程による。)
- 17 この規程は、令和5年4月1日より施行する。
- 18 この規程は、令和6年4月1日より施行する。

### (趣 旨)

第1条 本規程は、「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」「臨床検査技師学校養成施設指定規則」ならびに「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に基づく実習を実施するに当たり、各法律・制度の趣旨にそった専門職養成の目的の達成及び履修方法について定めるものである。

### (目 的)

第2条 本学保健医療技術学部が掲げている人間共生理念を基礎として、第1条の法律・制度の定めに基づいて、理学療法・作業療法・臨床検査ならびに看護の実践領域における専門的人材を育成するため、実習を行うものとする。

### (実習先の確保)

第3条 「理学療法士作業療法士養成施設指導要領」「臨床検査技師養成施設指導要領」ならびに「看護師等養成所の運営に関する指導要領」に基づき、実習施設としての条件を満たし、かつ本学学生の実習受け入れについて協力的である施設等を確保するものとする。

### (実習先への配属)

第4条 学生の実習先への配属は、各学科で決定する。

- 2 学生自身による実習先の選択は、就職活動等の特別の事情がある場合に限るが、この場合にも各学科の承認を得なければならない。

### (感染症対応)

第5条 感染症対応は、各学科の実習の手引き・要項に従う。

### (実習の要件)

第6条 本学保健医療技術学部の臨床実習、臨地実習を履修するには、原則として以下の要件を満たしていなければならない。

#### (1) 理学療法学科

1. 「見学実習」(2年前期)を履修するには、1年後期までに開講されている必修科目のすべてを履修済みであること。
2. 「評価実習Ⅰ」(2年後期)を履修するには、2年前期までに開講されている必修科目のすべての単位を修得済みであること。
3. 「臨床実習アセスメントⅠ」(3年後期)を履修するには、3年前期までに開講されている必修科目のすべての単位を修得済みであること。
4. 「評価実習Ⅱ」(3年後期)を履修するには、3年後期までに開講されている「評価実習Ⅱ」「臨床実習アセスメントⅠ」以外の必修科目のすべての単位を修得済みであること。
5. 「総合臨床実習」「臨床実習アセスメントⅡ」「地域理学療法実習」(4年前期)を履修するには、1～3年次に開講されている必修科目のすべての単位を修得済みであること。

## (2) 作業療法学科

1. 「見学・評価体験実習」(2年後期)を履修するには、2年前期までに開講されている必修科目のすべての単位を修得済みであること。
2. 「評価実習」(3年後期)を履修するには、3年前期までに開講されている必修科目のすべての単位を修得済みであること。
3. 「総合臨床実習Ⅰ」「総合臨床実習Ⅱ」(4年前期)を履修するには、1～3年次に開講されている必修科目のすべての単位を修得済みであること。
4. 「地域作業療法実習」(4年後期)を履修するには、1～3年次に開講されている必修科目のすべての単位を修得済みであること。

## (3) 臨床検査学科

「臨地実習」(3年後期)を履修するには、3年前期までに開講されている専門基礎分野および専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであること。

## (4) 看護学科

1. 各学年で実施される看護学臨地実習共通オリエンテーションを毎年受けなければ、その後の臨地実習を履修することはできない。
2. 「基礎看護学実習Ⅰ」(1年後期)を履修するためには、1年前期までに開講されている専門基礎分野、専門分野における必修科目のすべてを履修済みであること。
3. 「基礎看護学実習Ⅱ」(2年通年)を履修するためには、1年後期までに開講されている専門基礎分野、専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであること。
4. 「成人看護学実習(急性期)」「成人看護学実習(慢性期)」「母性看護学実習」「小児看護学実習」「精神看護学実習」を履修するためには、3年前期までに開講されている専門基礎分野、専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであること。
5. 「老年看護学実習」「外来看護実習」「統合実習」を履修するためには、3年後期までに開講されている専門基礎分野、専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであること。
6. 「公衆衛生看護学実習」「産業保健看護学実習」を履修するためには、3年後期までに開講されている専門基礎分野、専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであり、保健師課程の履修を認められなければならない。

### (実習期間)

- 第7条 1回の実習期間は、理学療法学科においては「見学実習」1週間(40時間)、「評価実習Ⅰ」3週間(120時間)、「評価実習Ⅱ」5週間(200時間)、「臨床実習アセスメントⅠ・Ⅱ」各1週間(80時間)、「総合臨床実習」8週間(320時間)、「地域理学療法実習」1週間(40時間)、作業療法学科においては「見学・評価体験実習」4週間(160時間)、「評価実習」5週間(200時間)、「総合臨床実習Ⅰ」8週間(320時間)、「総合臨床実習Ⅱ」

7 週間（280 時間）、「地域作業療法実習」1 週間（40 時間）とする。臨床検査学科における「臨地実習」は、1 日 8 時間の実習を 5 5 日間（440 時間）とする。また、看護学科においては「基礎看護学実習Ⅰ」「外来看護実習」「産業保健看護学実習」1 週間（45 時間）以上、「基礎看護学実習Ⅱ」「母性看護学実習」「小児看護学実習」「精神看護学実習」2 週間（90 時間）以上、「成人看護学実習（急性期）」「成人看護学実習（慢性期）」「老年看護学実習」3 週間（135 時間）以上、「統合実習」「公衆衛生看護学実習」4 週間（180 時間）以上とする。

- 2 実習期間は、原則として授業期間中に連結・集中して実施するものとするが、やむを得ない場合は、分散して実施することができるものとする。
- 3 実習期間の 5 分の 1 を越えて欠席がある者は単位の取得ができない。

（実習修了の要件）

第 8 条 実習修了については、学科で審議、決定する。

- 2 期の途中で休学した時点で、既に実習が修了し、合格していて付与されなかった実習単位については、復学後に前項の決定を経て、単位修得を認定することがある。

（実習中の事故等に関する保険等）

第 9 条 実習中の事故等についての保険・見舞金の適用については、別に定める。

（改 正）

第 10 条 本規程の改正は、教授会および大学運営会議の議を経て理事会が決定するものとする。

## 附 則

- 1 この規程は、平成 18 年 4 月 1 日より施行する。
- 2 この規程は、平成 22 年 4 月 1 日より施行する。
- 3 この規程は、平成 26 年 4 月 1 日より施行する。
- 4 この規程は、平成 27 年 4 月 1 日より施行する。
- 5 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日より施行する。
- 6 この規程は、平成 27 年度以前の入学者についても適用する。
- 7 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日より施行する。
- 8 この規程は、平成 28 年度以前の入学者についても適用する。
- 9 この規程は、平成 30 年 4 月 1 日より施行する。
- 10 この規程は、平成 31 年 4 月 1 日より施行する。
- 11 この規程は、令和 3 年 4 月 1 日より施行する。（令和 2 年度入学者以降適用）
- 12 この規程は、令和 4 年 4 月 1 日より施行する。（令和 4 年度入学者以降適用）
- 13 この規程は、令和 5 年 4 月 1 日より施行する。
- 14 この規程は、令和 6 年 4 月 1 日より施行する。
- 15 この規程は、令和 7 年 4 月 1 日より施行する。（令和 7 年度入学者以降適用）







## Bunkyo Gakuin University

ふじみ野キャンパス(理学療法学科 作業療法学科 臨床検査学科 看護学科)  
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196 TEL049-261-6488(代)

本郷キャンパス(臨床検査学科 看護学科)  
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1 TEL03-3814-1661(代)